

は、大抵順風が吹いて望みの港へ船が着くといふ確信が相當に付いた場合である。

一九二九年九月ゼネバ國際聯盟第十回會議に於て試みられた彼の「歐洲聯盟案」の演説に耳を傾けて見よう。

「歐洲聯盟といふかゝる冒險に乗り出すことは、責任ある政治家の態度では無いともいはれよう。しかし、私は凡そ如何に賢名なる政治家と雖も、その生涯の中で愚行の一つ位はあつても良いものだと思ふ。さうした氣持で、私はこの思想の擁護に努めて來た。

歐洲に地理的に結合された一群の民族がある以上、その間に何等かの聯盟銀がなければならぬと考へる。彼等は利害の共通せる問題を相互に論議し得べき方法を講じ、やがて汎歐聯盟を結成すべきである。そして、この連銀の重要な要素は、經濟的協定である」

彼のスピーチの用語は十分に洗練されてゐる。無限の重味がある。この提案は過去に於ける如何なるものよりも、重要性を與へたものであつた。

4. アメリカの脅威

然らば、何が歐洲をして聯盟の必要を痛感せしむるに至つたか。それは、いふまでもなく、アメ

リカの經濟的脅威である。

數百千の歐洲の實業家は、現在歐洲諸國とアメリカ合衆國との經濟的情勢を、次の如く觀察してゐる。大西洋の彼方には商業的黃金郷があつて、その實業家は一個の大陸市場に於て、自分を壓倒するやうな競争者のないことを知りつゝ活動することが出来る。それは規格統一と大量生産を可能ならしめる。アメリカの實業家は、如何なる競争者よりも有利な條件で、世界市場に活躍する事ができる。

しかも、合衆國は世界中で最も高い關稅障壁を維持するのみならず、更らに、それを引上げんとしてゐる。かくして、合衆國は輸入よりも輸出が多くなり、同時に歐洲に對して、莫大なる戰時債券の現金支拂を要求する。かくして金貨のアメリカに偏在する事により、歐洲の産業は益々萎縮する。

換言すれば、アングル・サムは、結局歐洲諸國を經濟的に支配するに至るであらう。事實今や支配しつゝある。經濟的支配は、新時代の世界關係において、それは政治的支配に等しいものである。

歐洲人の眼には世界中の重要な企業が、全部アメリカの所有に歸するのではないかと恐慌する。

フランス、ドイツ及びイタリヤに於ける自働車業、ポーランドの亞鉛鑛山、チエツコ・スロバキヤの靴工場の支配權が、全部アメリカの金融投資によつて獲得し得たといふ、アメリカ新聞の誇張的報導の如きは、さなきだに恐慌におびえきつてゐる歐洲人の眼に、アメリカの歐洲金融支配と映するであらう。

今日歐洲聯盟運動を促進しつゝある感情の大部分は、アメリカの經濟的侵略に對抗する、何等かの組織を作りたいといふ、恐怖より出發せる感情に外ならない。さればこそ、フランス急進派領袖エドワール・エリオールをして「吾々は歐洲の合同か、然らずんばアメリカへの奴隸化を選らばねばならぬ」と、叫ばしめる程事態は切迫してゐるのである。

5. 不安なる歐洲政局

歐洲聯盟を熱心に主唱する主なる理由は、アメリカ産業軍の進撃による、究局の政服から逃れ得る唯一の途は、これであると彼等は確信してゐるからである。

春秋の筆法を用ゆれば、アメリカの驚異的飛躍は、歐洲をして聯盟の必要を痛感せしむるに至つたといふべきである。

が、しかしながら、靜かに冷ややかなる頭腦を以て、今日歐洲の現實の政局を眺むる者は、歐洲聯盟といふが如き理想は、一個のユートピアに過ぎない。近き將來においては到底實現し得るものでないと考へるであらう。

それは、ベルサイユ平和條約調印後、十有餘年も経過したにも拘らず、歐洲の政局は依然として不安なる空氣に包まれてゐる。彼等互ひに嫉視し、反目し、戰勝國と戰敗國とは互ひの胸中には怨恨と敵愾心とを以て相對峙してゐる。一度火を投ずれば、歐洲の天地は忽ち火焰と化する材料は、こゝかしこにも横つてゐる。

歐洲は、今二つの集團に別れて對峙してゐるといつても、敢えて過言でない。一團は、一九一九年の境界決定は神聖にして昌すべからずと主張する。他の一團は、その境界を變革をなさざる限り決定的平和は回復することはできないと反對する。前者は、英、佛、伊を始めとし、ユーゴスラビヤ、チエツコ・スロバキヤ、ベルギー等で、後者は、獨逸、埃を首めとし、トルコ、ハンガリヤ等がそれである。

事實、クーデンホーフ・カレルギ伯は、歐洲聯盟が結成されねば、大陸は遂に二個の軍團に分離れて、世界第二の大戰を招來するであらうと警告を發してゐる。

6. 踰ゆべき障碍

歐洲聯盟に一大障碍をなすものは、ソヴェート・ロシアとファツシヨ・イタリアの存在であらう。ロシアの汎歐聯盟への加入は不可能である。それはロシアの他國一切へ對する敵意である。成程ロシアは平和への熱心を表明する。それは、今後數年間もしも戦争が勃發すれば、ロシアの産業計劃は根こそぎに破壊されることを熟知してゐるからである。「資本主義世界は、共產主義世界の強大を許容するものでない」と、レーニンは警告を與へてゐることから考へても、資本主義歐洲の諸國家との協調はむづかしい。ロシアは戦争を豫期してゐる。不可避だと考へてゐる。

歐洲聯盟の底流をなす原理と、ファシスト・イタリアのそれとは全然正反對である。ムツソリーニの目標は、先づイタリアをして往年の大ローマ帝國を再建せしめんとする。「イタリアの人口は増加する。故にイタリアは膨脹の權利がある」と、侵略主義を公言する彼は、イタリアをして歐洲聯盟の局外へ立たしめることは必然である。イタリアはブリアンの提案が踰えねばならぬ障碍の一つである。

かく考へ來ると、歐洲聯盟の實現されるのは、遠き未來のことと思はれる。現實の問題としては歐洲政局は不安の雲に包まれ、經濟苦難に呻吟し、一發の銃聲を合圖に、歐洲再亂の豫想に脅威つゝあるにも拘らず、ブリアン、ストレーゼマン、ハイマン、ベンス等の政治家は熱心にこの思想を擁護して來た。

結局は、歐洲聯盟は世界經濟情勢の壓力により、實現するに違ひないであらう。歐洲があれだけの大陸を擁しながら、徒らに拱手傍觀して、アメリカ産業覇權を確立せしむる愚行は演じないであらう。歐洲諸列國が互ひに嫉視反目、相對峙するの馬鹿らしさを後悔して、何等かの形において結合の方法が発見されるであらうことは必然である。

「汎歐聯盟は、數千萬人がそれを信じてゐる間は、ユウトピアである。數百萬の人が信じてゐる限りは計劃である。然し、一億の人が信ずると同時にそれは事實となる」と、カレルギ伯は公言する。

これは大變現實的な豫言である。踰ゆべき障碍は相互の猜疑と嫌惡とである。

「パン・オイローパ」はユウトピア以外の何物でないと、誰が嘲笑し得られようか、途は既にある。あらゆる難關にも拘らず、途はある。最も賢名にして明白なる道、歐洲の指導者等が一度その危機を自覺する時この歐洲聯盟の道を辿るであらう。

産業立國確立の急務

——經濟參謀本部を設立せよ——

1. 國民生活の安定は

民政黨内閣による總選舉も終局を告げ、民政黨二百七十餘頭を獲得して政局も一先づ安定したが不景氣は更らに深刻となり、諸産業は愈々衰微して來る。そして金解禁後の對策としての、産業合理化により、諸産業の統制化、諸企業の合同化の促進により、失業者の續出も又必然であつて、國民生活の不安は益々深刻となつて來る。かく行詰まれる經濟界を、如何にして打開して行くべきかと現今の焦眉の問題でなければならぬ。

一體政治の根本目的は、言ふまでもなく國民生活の安定を圖る事にある。國民生活の安定を圖り國家の繁榮を招來するには、吾等が日頃提唱する産業立國の確立より外に良途はない。然らば産業

立國とは何ぞやと言ふ事になる。

世界各國が寄つてたかつてドイツを叩きつゝ爲に戦つた歐洲大戰は、結局各自國の經濟組織を叩き壊す爲めに戦つた様なものだつた。世に言ふ双刃の劍で、相手を倒し自分で傷ついたのである。現代の歐洲各國は尙今日に至つても生産事業の不振、食糧の不足、失業者續出等に悩まされて生活難は戦前よりも深刻となつて來た。今日各國政府の政策を見ると、それが皆な國民生活の保證を確立する事である。

生活を保證し、更らに人生を愉快に暮す爲には富を作らねばならぬ、富を作るには生産を多くし生産を多くする爲には産業を發達させねばならぬ。言ひかへれば、今の世界は産業萬能時代である。今日一切の社會生活が經濟を中心として廻轉して居るのであつて、政治も、宗教も、藝術も皆なそれを取り巻く遊星に過ぎない。國民生活を保證し、國家の獨立を維持する目的を達する最善の方法は、産業の發達を促進するにある。

今正に開催中のロンドン軍縮會議も、その根本目的は不生産的な軍備に使ふ資金を、少しでも餘計に生産事業にふり向けて、國民の租稅負擔を軽減し、その生活を安定せんとするに外ならない。現内閣も金解禁して緊縮生活を一枚看板として、産業の合理化を唱へて居るのも、すべても生産事

業を堅實の基礎の上に於て、國民生活の安定を計る趣旨には相違ないのであるが、どうも掛聲だけ大きくて實行がそれにとまはない様だ。陸軍整理が未だに放擲されて、政府の軍制調査會が何等の進行を見せてないのでわかるではないか。

2. 過剰人口をどうするか

今、焦眉の問題として金解禁後の産業合理化による、一時の失業者の増加を如何にすべきかである。國內に失業者は喰へなくてウヨウヨして居る。年々殖える八九十萬の人口、それに對する就職の捌け口並に食糧問題を如何にすべきであるか。

産業立國の根本的基調は人口問題の對策に外ならぬ。我が國の如く年々八九十萬の人間が殖えて行くとすれば、この先はどうするかこのまゝに放任して置けば生活難、就職難、失業難となつて喰へない人間が殖えて行く。氣の弱い人間は自殺するが、生に執着する人間は仕方がないから強盜して喰ふに至る。近年統計の示す如く各國は刑務所の負擔が増加してゐる。

更らに他方死亡率は増加する。生活難に伴ふ小兒の死亡率の高いのは、世界文明國中日本とチリとハンガリーだけである。今から十六年前と較べて、日本人の生命(男女平均)が二年程短かく

なつた。ドイツでも大戦前に較べて、一歳未満の赤ん坊の死亡率が二倍となつた。又自殺者が大戦前一年に千二百人位であつたのが、戦後の三年間で八萬人、七十倍の激増である。これは言ふまでもなく大部分は生活難からである。細かい統計は擧げないが、日本もドイツと同じく犯罪と死亡率が増加して來た。

かくの如く生活難の行詰りの根本は何であるかと言ふと、日本に於ける農工商の人工の振合がとれて居ない事である。職業別の不釣合は文明國中日本が一番かけ離れて居る。

今これを各國民の職業別から見ると、國によつて大分違ふが有職業者の中で農業者（林業、漁業も含む）が日本では五割五分であるのに、イギリスは七分、アメリカは二割六分、フランスは四割二分、ドイツは三割一分である。工業者（鑛業者を含む）は日本は二割一分、イギリス四割七分、アメリカ三割三分、フランス三割、ドイツ四割一分である。更らに又商業（交通業も含む）は日本一割六分、イギリス二割一分、アメリカ一割八分、フランス一割七分、ドイツ一割六分である。

以上の様な數字を見ても我が國は狭い國に據りながら主として農業に従事して居る。如何に人口を澤山包容する事の出来る商工業が振はないかどわかるではないか。勿論日本人の人口中（大正九年國勢調査による）男は六割一分二厘女は三割六分三厘で、男女共四割八分五厘が職業を持つて居

て、人口の半分が働かない者（主として老人、小供、病人）であつて、世界各国に比して相當に働いて居ると言はねばならぬ。

3. 日本の一番大きい悩み

現代の日本の一番大きい悩みは人口過剰より來る生活難である。凡ての階級、あらゆる職業を通じて經濟生活上の不安、社會組織の不平が、一種のどうにもならない自暴自棄的な氣持となつて、一般社會殊に下層階級にみなぎつて居る事である。

街頭に投げ出された失業者の群が三十有餘萬人、彼等皆な喰へなくてウヨクして居る。入學難に悩む彼等男女子弟のいぢけた、ひどく嶮しい蒼白い顔や、大學、専門學校を出た新卒業生の就職難に嘆く者が卒業者の六割有餘、ヤツト就職してもその地位の動搖不安に脅かされてピク／＼して居るサラリーマン階級の人々や、更らに中小商工業者階級の人々が狭い區域で同業者競争によつて、共倒れとなりつゝある窮狀である。

如何に適者生存、弱肉強食とはいへ餘りにむごたらしい世相ではないか。こんな經濟的行詰りに二階から眼藥式な社會政策を施したとて何の役に立つものでない。

人口過剰から来る極度の經濟生活の不安、これは日本の人口飽和點を突破して、食糧難に苦しんで居る現狀を明かに物語つて居るものでなくて何んであらう。

狭い日本の國土の耕地一割六分と未開墾地を合せても僅に二割強にしかならない。それに極度に開墾された結果、豫期の收穫を擧げる事も出来ず、多くの勞力と肥料を要する爲、毎年二億四五千萬圓の肥料を外國から買はなければならぬ狀態で、農村も失業問題が生じて来るの現狀である。

4. 人口の都會集中化

人口の増加率が高くて、その過半数を占むる農村の青年男女が、従事する職業が漸次となくなつて来る。だから彼等は都會へ職を探しに上つて来る。人口の都會集中化は近代世界の趨勢だが、都會でも都會自身の増加人口を養ふに困つて居る位だから、之を包容する力がない。その他にも色々な原因もあるだらうが、これが基となつて失職者の簇出となり、生活難が深刻となる。故に日本でも歐米先進國の例に倣つて大いに諸工業を振興して、是等が夥しい過剰人口を包容すべきである。諸工業を振興せしむるのみならず、更らに又海外移民を奨励しなければならぬが、我が國民が

毎年海外各地へ移住する者僅かに一萬人内外に過ぎない。大正七年から昭和二年に至る十年間の統計によつて見ても、歸國者数は出國者數より三千三百餘人の超過と言ふ悲觀すべき材料を吾等に示して居るのである。

更らに近くの滿洲も、是を獲得して以來二十年にもなるが、支那人が數百人の人口増加となつたのに我が國は僅かに二十餘萬人に過ぎない狀態である。是を諸外國の移民數と較べると、到底比較にならない。移民政策によつてのみ人口問題を解決しようとしても、それは不可能である。實際問題として日本人の海外進出が、到底望み得ないとすれば、勢ひ自國內で人口増殖緩和を講じなければならぬ。即ち産兒制限の必要を是認しなければならなくなつて来る。これは社會生活の不安を除く自然の要求で、不道徳でもなければ、非國民でもない。

老人はドシ／＼死んで行くからかまはないが、新たに生れる者を制限すれば人口増加を防ぎ得るのである。今日國力發展の上から産兒制限に反對する者もあるが、人口の徒らに多いのが強國と云ふなら印度や支那は人口が多いが、果して強國と言へるであらうか。決してそうではない。

5. 人口増殖緩和の急務

こゝに妊娠調節の必要が生じて来る。これには種々なる困難が伴つて来るが、過度に人口が殖え、狭い國內で互ひに職業を争つて居るのでは共喰するより外に途はない。ソビエツト・ロシアは國柄が共産主義であるから、喰へない者には國家から食糧を與へる。それで過度に人口増加を放任して居るのでは、トテもやつてゆけない。妊娠調節法のパンフレットを十錢位で、安く賣つて政府で發賣して奨励して居る。それも結局優良人種保存の爲めである。

カトリックの坊さんの様にバイブルを丸飲みにして「生めよ、殖えよ、地に満てよ」ではやつて行けない。もつともイタリーの如きは、毎年人口の増殖が多いからムツソリニは是に對して何等の制限法を講ぜず「イタリーの人口は増殖する、故にイタリーは膨脹の權利がある」と豪語してファシヨの機關紙「イデアナチヨナレ」をして「人口の激増の爲め、數年間にはイタリーは失業と困窮とで恐ろしい危機に直面するであらう。その結果は社會上政治上に於てイタリーのみならず、全ヨーロッパに最も大なる影響を與へる。これは今日イタリーの最大にして、且つ避けがたい問題である。我々は死滅を欲しない限り、我々は今の内に已むなく必要手段を講じなければならぬ。即ち地中海の地圖を書き改めなければならぬ」と揚言して、大いに侵略主義を主張して居るが、今日英佛を相手として戦争までして領土を獲る事は出来ないであらう。

今日我が國に於ても増加する人口を養ふのには、隣國を侵略して領土を擴張する事が到底出来ない事であるとするならば、結局は大いに資本を養ひ、産業を振興して、國民經濟を發達せしむるより外に途はない。

6. 超黨派内閣論の出現

我が國の經濟政策の根本は、この産業政策より外に途はないとするならば、現在の政黨内閣に是をやらせるより外はないが、しかしこれを遂行するには中々政黨内閣の力だけではやれない。僅か二年三年の壽命では眞個の國策の遂行は出来ない。

今の様に既成政黨の腐敗や無氣力であつては、國民の間に不評判であるから、昭和の今日に於ても政黨亡國論や超黨派内閣論がとび出したり、獨裁政治の出現によつて、國策を遂行させようとする論者が出て来るのも無理はない。

今のヨーロッパを見ると獨裁政治の全盛期であつて、イタリー、スペイン、ポーランド、ユーゴスラヴィア、ハンガリー、リツアニア、アルバニア、トルコ等が皆獨裁政治でやつて居る。その原因は過激派の跋扈も確かにその一因であらうが、他の一面に於ては既成政黨の腐敗墮落や、政争の頻發や、

政黨の無氣力から來たのである。

ヨーロッパの獨裁政治も國民一般の支持を得なければ出來るものでない。イタリーの如きもファツシヨ獨裁政治が出來る前には、過激派の跋扈の爲め、掠奪、殺人、強盜、放火等が公然として白晝行なはれ、國民生活の安定を脅かし、その上に政黨は無氣力で徒らに政争を事として居る際に、ムツソリニが出現して、獨裁政治を布き、「今日の政黨は公黨でなく私黨である。自黨の關係する者の利益をのみ考へ、國民一般の利害を考へない。ファツシヨは民衆の爲に盡す政黨である」と述べて國民の後援を求めた。そして國民はファツシヨを支持したからこそ、あれだけの治績を擧げる事が出來たのである。

7・經濟參謀本部を設立せよ

日本もムツソリニの様な人が出て來て、專制政治でおさへつけてやればやれない事もなからうが日本の現状ではそれは出來さうもないし又望ましくない。

して見ると國民全體の輿論を喚起して、そしてその輿論の力によつて政府にやらせるより外に方法はな。しかし現在の政黨内閣では容易に手をつけまい。十年二十年或は三十年も先の事は、

今日の政黨としては馬鹿らしくてやれないであらう。在野時代は大いに良い御題目を唱へて居るが一朝政權を採ると先の聲明した政策は容易に實行しない。いつでも國民の期待は裏切られる。もつとも政黨も自ら毛を吹いて疵を求め様な事はしたくないから、目先の見える事だけしかやらない。

産業立國の確立と云ふ様な重大事は、是非とも朝野名士の卓見を持つた人々を以つて（政黨の各首領、學者、勞資關係の代表者等）組織した經濟國策審議會をつまり今の産業審議會をもつと大きくしたものを作り、是を參謀本部の様に政争の外に置き、こゝで決定した産業國策の諸事項は、如何なる内閣になつても是が遂行の變更を許さない事にするには、即ち經濟參謀本部を設置するにある。

恰度日英同盟の存續する間は、如何なる内閣でも日本の外交方針は、日英同盟を中心としてなされた如く、又國際聯盟の一員としては、日本は如何なる内閣でも聯盟規約を守り、世界の平和を擁護しつゝ、日本の發展を圖る如くに、如何なる内閣でも、經濟參謀本部で決定した大方針だけは、變更しないようにしなければならぬ。

經濟參謀本部の設立は法理論から言へば、種々な缺陷だらけの幼稚な議論かも知れないが、兎も

政黨の無氣力から來たのである。

ヨーロッパの獨裁政治も國民一般の支持を得なければ出來るものでない。イタリーの如きもフランスヨ獨裁政治が出來る前には、過激派の跋扈の爲め、掠奪、殺人、強盜、放火等が公然として白晝行なはれ、國民生活の安定を脅かし、その上に政黨は無氣力で徒らに政争を事として居る際に、ムツソリニが出現して、獨裁政治を布き、「今日の政黨は公黨でなく私黨である。自黨の關係する者の利益をのみ考へ、國民一般の利害を考へない。ファツシヨは民衆の爲に盡す政黨である」と述べ、國民の後援を求めた。そして國民はファツシヨを支持したからこそ、あれだけの治績を擧げる事が出來たのである。

7. 經濟參謀本部を設立せよ

日本もムツソリニの様な人が出て來て、專制政治でおさへつけてやればやれない事もなからうが日本の現状ではそれは出來さうもないし又望ましくない。

して見ると國民全體の輿論を喚起して、そしてその輿論の力によつて政府にやらせるより外に方法は無い。しかし現在の政黨内閣では容易に手をつけまい。十年二十年或は三十年も先きの事は、

今日の政黨としては馬鹿らしくてやれないであらう。在野時代は大いに良い御題目を唱へて居るが一朝政權を採ると先きの聲明した政策は容易に實行しない。いつでも國民の期待は裏切られる。もつとも政黨も自ら毛を吹いて疵を求め様な事はしたくないから、目先きの見える事だけしかやらない。

産業立國の確立と云ふ様な重大事は、是非とも朝野名士の卓見を持つた人々を以つて（政黨の各首領、學者、勞資關係の代表者等）組織した經濟國策審議會つまり今の産業審議會をもつと大きくしたものを作り、是を參謀本部の様に政争の外に置き、こゝで決定した産業國策の諸事項は、如何なる内閣になつても是が遂行の變更を許さない事にするには、即ち經濟參謀本部を設置するにある。

恰度日英同盟の存續する間は、如何なる内閣でも日本の外交方針は、日英同盟を中心としてなされた如く、又國際聯盟の一員としては、日本は如何なる内閣でも聯盟規約を守り、世界の平和を擁護しつゝ、日本の發展を圖る如くに、如何なる内閣でも、經濟參謀本部で決定した大方針だけは、變更しないようにしなければならぬ。

經濟參謀本部の設立は法理論から言へば、種々な缺陷だらけの幼稚な議論かも知れないが、兎も

角國家繁榮の招來、國民生活の安定を圖る上から、一日も早く經濟參謀本部の確立されん事を祈つて止まない次第である。

英國産業組織改善論

The greatest need of British industry to-day, not (as some foolishly suppose) to weaken the power of the Trade Unions, but to foster in the minds of Trade Unionists the already dawning recognition that efficiency in production is of the first importance to them. It can only be brought about by a recognition of, an honest attack upon, the causes of industrial discontent. (P. 156)—Britains Industrial Future—

1. 汗牛充棟の經濟國策

大平記もどきではないが、政黨に祇園精舎の鐘が響き、財界に婆羅双樹の花が凋めば、國民生活は諸行無常と告げ渡るで、今は政界にも財界にも活力がなく、更らに言を換へて言へば、世界的不景氣風に巻き込まれて、今や我が國民經濟は未曾有の難局に遭遇して居るのである。

この國難經濟に直面して、我等は如何に善處すべきか、如何なる對策を講ずべきかに就いて、政界に財界に將又學界に汗牛充棟とも言ふべき名論卓説が現はれた。この傾向は從來の空疎な抽象的

政治論が排撃されて、實際的經濟問題が歓迎されるに至つたもので、こゝにも時勢の變遷が認められる。

これをアメリカ流に言へば More Business in Government and Less Government in Business 政府にビジネスをもつと多く、ビジネスには政府をもつと少くと言ふべき時代になつて來たのである。端的に言へば、經濟が政治や宗教に君臨する時代で、經濟第一主義の時代が到來したのである。従來蔭にかくれて居た經濟が第一線に乗り出して活躍するに至つたのである。

この秋に際し一流の政治家が經濟國策を、實際政治の立場から著述に刊行して、國民に訴へる所があつた。これ等の應接に遑のない程の經濟論策の出版洪水の中で、筆者は勤めて實際政治を負擔する人々の著述を敬意を拂つて讀んだものである。

曰く、井上前藏相の金融家的色彩の強い「我國の覺悟」三土忠造氏の井上氏に一矢酬めん爲に書かれた「非常時の正視」又井上氏と犬猿の間である武藤山治氏が「藏相の錯覺」で金解禁論者から再解禁論者へ豹變した氏が井上前藏相を罵倒したり、百貨店式の生産偏重の山本条太郎氏の「經濟國策の提唱」等を通讀して得た感想は、流石は實際政治を負擔する人々の蘊蓄を傾けたものだけに傾聴に値するものがあるが、西園寺公の言つた如く「何れも皆一理窟はあるわい」との感想を持た

ざるを得ない。

以上の人々の批評はとも角、我國では個人としては相當な意見は吐露して居るが、これが政黨となると、民政、政友、將又無産黨も、一般國民を首肯せしむるに足る意見書とか調査資料を發表して居ない。薄つぺらのパンフレット位でお茶を濁して居る位が關の山である。

2. 政民二黨の産業政策

何にも好んで政論を弄するのではないが、前内閣が行財政整理案で、曰く拓務省を廢し拓務院として内閣に直屬せしめ、その總裁は首相の兼任とする。曰く、農林省と商工省を合併して産業省とす。曰く、陸軍、海軍、内務、大藏、司法の五省に於ては局の廢合は行はず。曰く、何々と大規模の改革案が發表されたが、その結果農林商工兩省の合併は取止め、僅かに拓務省廢止だけでやうやく政府の面目を維持したに過ぎない「泰山鳴動して鼠一匹」の感なきを得ない。吾人の關心事は、農林、商工兩省を合併して産業省となすと言ふ様な、指先の飯つぶをこね合せて、産業政策を確立し得たかの如き涼しい顔付きをしてゐる前内閣の産業政策に飽き足らないのである。

さればと言つて與黨政友會の産業政策を謳歌するのでもない。政友會の産業計畫では五ヶ年間に

八億圓の増産をなすと言ふが、それが生産分量の増加であるか、或は生産価格の増加であるかハッキリ言明して居ない。分量の増加は価格の増加ではない。むしろ生産分量増加により價格暴落に苦しんで居る時代ではないか。だから産業計畫を具體的に表示する限り、それが分量であるか、市價の關係であるか明白にする必要があらう。もしもそれが分量の増加であるならば、さなきだに世界的生産過剩時代に、益々不景氣に拍車をかけるもので、健全なる産業の發展策とは受取れない。もしそれが價格の増加であるならば、世界不況問題や通貨對策と切離しては考へられないと思ふ。

又産業計畫の目的が輸入防遏、輸出増進にありとなし、——これは各國の政治家が妄想に耽るところである——これが實行方策を關稅政策に期待する様であるが、常識論から考へても、今日各國が互ひに保護關稅に苦しみ、その打開策が識者により叫ばれて居る際、關稅引上は果して機宜を得た方策であらうか。保護政策により輸出の増進を計るは、木に椽つて魚を求むるが如きものではないか。今此處で産業五ヶ年計畫にケチを付けんとするのが本論の目的ではない。唯政黨が莫然とした産業政策のスローガンを掲げず、實現可能な方法と理由とを説明して一般國民の納得を與ふる事が肝要であらう。

3. 自由黨の産業改善論

この點に行くと、流石はイギリスである。保守黨にしる、勞働黨にしる 將又自由黨にしる各黨の政策を微に入り細に亘り説明し、詳説し、國民の納得する様にパンフレットなりリーフレットなりで訴へる。今此處に紹介せんとする自由黨の「産業改善案」も、この納得政治の現はれである。イギリス現在の産業状態を微細に説明し、これが改善の諸方策を熱心に主張し、一般國民の納得のつくまで詳論して居るのである。

イギリスの自由黨は我が國で言へば、民政黨よりもむしろ社民黨に近い政策を持つた政黨で、今日でこそは昔の面影ない衰勢にあるが、一昔前まで保守黨と共に、交る交る國政を双肩に擔ひ、所謂「自由黨の華かなりし頃」もあつた大政黨であつた。恰度社民黨が左翼右翼兩政黨から攻撃罵倒せられて居るが如く、自由黨もかなり手厳しく罵倒せられ、日和見主義だの、筒井順慶式だの、機會主義政黨だの、鵝的政黨だのと惡口を叩かれて居るが、これを觀點を異にすれば——何にもこゝで自由黨の提燈持をする譯ではないが——イギリス政黨間中絶えず自由、進歩、光明、寛容と言つた方面を代表し、その政策は穩健中正にして、政治、經濟、社會上イギリスを明るい方面に導い

た功績を認めねばなるまい。社会主義の労働黨と資本主義の保守黨に狭撃され、日増しに衰勢に向ひつゝある自由黨が如何なる方面に進出の途を發見せんとするかは、今こゝに紹介せんとする「英國産業改善案」中に凡てを論じて居るのである。

これを一口に言つて仕舞へば「資本主義の修正」の範圍を出でてない。自由黨の言葉を借りれば——少しく手前味噌の氣味がないでもない——この改革案の内容は労働黨の如く極端に走り實際問題に外れたる理論に没却せず、さりとして保守黨の如く實際の名に隠れ保守一點張りに墮ちる事なく、中正の方途、正義に基く堅實なる産業社會を建設せんとするのである。と功能書きをならべて居る。

改善案の中に特に異彩を放つて居るのは、産業全班に涉り大策を樹立せんとするには、常設の經濟政策委員會を組織し、經濟政策實行部として經濟參謀本部 Economic General Staff を新設し、勞資問題其他廣く一般産業關係の事項を處理するため、今の勞働省を擴張して産業省——Industrial Department を設置し、國民一般の貯蓄を有利に導くために、國民投資局 Board of National Investment を設け、更に又企業合同及同業組合 Trust and Trade Association の取締りを説いたり、その他産業一般の振興に關する諸方策を説述して居る。

本篇は自由黨産業調査會の編纂になる同國産業振興策に就いて攻研した Britain's Industrial Future からの抄譯であるが、同書はエコノミスト誌主筆レートン氏を委員長とし、黨首ロイド・ジョージ氏、今自由黨院内總務で幅をきかして居るサミュエル氏、貨幣及金融問題でのオーソリテイであるケインズ教授、ミューア教授、法律の大家であるサイモン氏（印度憲法改正委員長となつた人）實業家にして社會問題の研究者として令名あるロウントリ氏や其他有名なる夫々の専門家、學者、政治家、實業家等を委員とする大調査であるから、非常に權威ある改革案と言はねばならない。大部序論が長くなつたが「英國産業の將來」の一部分の抄譯が、我が國の産業改革にも多大の參考ともなり得れば、筆者の欣快とするところである。

第一編 産業状態の鳥瞰圖

1. 英國經濟苦難の原因

イギリス現代の經濟苦難の原因は、多くは大戦前から胚胎したもので、ヨーロッパ大戦は偶々この状態を幫助したに過ぎない。されば一部の論者の如く、戦前状態を理想境視してひたすらに戦争

にその禍因を求めめるのは間違つて居る。もと／＼十九世紀は驚嘆すべき物質的進歩時代で、二十世紀の現代と比較すると、人口五倍に増加したにも拘らず、労働者の衣食住、即ち賃銀率は四倍に上つたに過ぎない。生活標準は益々高くなるばかりである。

それは石炭と鐵の時代、移住と外國投資と自由貿易の時代、スマイルズの自助論的時代、つまりブルジョア時代、自由放任主義時代であつたのだ。しかして、この時代の人々は所謂自助論、成功論に眩惑して、社會問題に無批判な態度で居たから、經濟の根本問題などについては少しも論争されなかつた。

一八四六年の穀物税廢止運動から、一八八九年のロンドン船渠ストライキに至る間は、イギリスは經濟問題では無風帶時代で、その頃の政治家は選舉權の擴張とか、アイルランド自治問題とか言つた様な問題に没頭し、社會經濟の根本組織に批判を加へる者は殆んどなかつた。ところが十九世紀の終頃からこの形勢が漸次に變化して來た。

即ち、教育の普及に伴ひ、労働階級が社會の不平等について苦情を鳴らし始めた。社會が繁榮するのに、彼等の境遇が改善されず、みじめな生活を強要されて居るのは不都合だと稱え出した。それに労働組合が發達し始めた。雇主等はこれを有用なものとなし、組合と友誼關係を結ぶ事を敢え

てせず、却つて組合を敵視し、害物視し、これと交渉を拒絶し、あらゆる手段を弄してその發達を抑壓した。

一方が拳骨を握れば他方も亦拳骨を振り廻はすもので、労働組合は漸次に戰闘的氣分が尖鋭化し、それが社會的不平等運動と一緒になつて働き出した。かくして組合は地方的のものを全國的に、全國的のものは互ひに同盟を結び、益々組織労働組合の戰闘力の擴大強化に努めた。かくして共同目的のために協力協調すべき筈の勞資双方が、互ひに敵視し、勞資兩者は永久に二つの平行線を辿るものとなし、階級闘争の思想は益々勞働組合に浸潤し來り、特に戰前十年間はこの傾向が著しくなりイギリス産業界の安定と進歩とを脅威するに至つたのである。勞資兩者の關係を融和さすべき事は既に戰前から重大問題となつて居つたのであるが、その満足なる解決を得ない内にヨーロッパ大戰となつてしまつた。

また優越地位を保持したイギリス産業の覇權が、競争諸國から挑戰され始めたのも、戰前からであつた。世界貿易總額に對するイギリスのパーセンテージは、一八七一―五年には二一・六%であつたのが、一九一三年には一五・三%に低下して居た。そこへ戰爭が勃發したため軍需工業の方面は大いに發達したが、他の非軍需工業は打撃を受け、産業活動が片輪になつた。軍需工業方面は容

易に儲けられるので濫費の風が生じ、更らに紙幣の亂發が物價騰貴を誘致しこれに伴ひ賃銀も亦大いに騰つた。

戦争も終了し、戦後の一時的な好景氣も影を没するや、イギリス産業は難關に達した。國內の諸産業は跛行者となり、國外のヨーロッパ市場は貧乏であり、信用界は亂麻の如く混沌とし、運輸交通は不頓頓、加之、ヨーロッパ大陸は勿論遠國まで極端な經濟自立政策を採り、外國輸入防遏策を採り出した。戦後の世界狀勢の變化中、特にイギリスに影響した諸點を列擧すれば左の如くである。

- (一) 戦前四十年間に四倍になつた世界の通商總額は、戦後數年間は遙かに一九一三年の總額以下に下つたから、イギリスにとつて大打撃となつた。
- (二) 今日、世界各國の通商額は、一九一三年より僅少の増加であるが、世界の商船噸數は戦前の五割増となつて居り、加之、石油燃料の使用、速力の増加、港灣設備の改善、その他の原因により輸送能力が増して居るから、船舶界は不況とならざるを得ない。従つて造船所造船職工等は打撃を受けて居る。
- (三) 戦時から戦後へかけて最も打撃を受けたのは炭業である。石炭使用法の節約、代用燃料が盛んになり、工業が盛んになつたとしても、その割に石炭の需要が増さぬ。

(四) 世界を通じて資金が不足であり、戦時中工場設備を擴張し、又増加した割合に鐵、鋼及機械の需要は少ない。

(五) 東方諸國が工業化したので、下級綿製品の產出がめつきり殖え、ランカシアは打撃を受けた。

(六) 物價が騰貴して、一九二〇年の指數が三〇〇以上となり、労働時間の短縮はまんべんとなく繰返された。その後物價は急落したが、それに適應して賃銀を改訂するに當り、外國の競争を受けない工業は、外國競争を受ける工業程に、この經濟變化の順應を見ないので、兩種工業に賃銀の差が生じ、これがため種々と經濟上の困難を惹起して居る。就中最も困難なのは輸出工業である。

(七) 經濟變化に伴ふ幾多の苦惱があり、それに戦争に對して抱いた希望は空に歸したので、戦前からの不平が勃發して、産業界は激烈なる罷業戦が演ぜられ、これが復興は容易な事でない。以上の如き狀勢であるから、イギリスの輸出工業が不振に陥つたのは當然である。しかし、イギリス商工業の全部が沈滞不振を極めて居るといふのは、頗る間違つた見解である。中には膨脹發展して居る事業も多く、また急速に發展して居る新工業もある。苦惱に喘えいで居るのは主として基礎工業である炭業、鐵鋼業及機械業等である。

2. 基礎工業の不振

然らば經濟狀態の一般は如何といふに、第一の問題は年々の生産であつて、これが國民所得となるのであるが、ポウリイ氏とスタンブ氏の統計に據れば、社會の純所得總額は、一九一一年が十九億八千八百萬磅、一九二四年が三十八億三百萬磅であるから、物價標準の騰貴率を八・五%として計算すると、結局は兩年の國民所得は同額となる譯である。しかも人口は殖えて居るのであるから、一人當りの所得は5%を減じて居る。如何に科學的に進歩發達しても、十五ヶ年後の國民所得が、今日の如き狀態では決して好成績と言ふ事は出来ない。

次に生産額から調べると、第一に石炭の消費量が標準になる。即ち國內の石炭消費額は一九〇九―一三年の五ヶ年平均一億八千百萬噸に對し、一九二二―二五年の三ヶ年平均消費額は、一億七千八百萬噸であつて、戦前の九割八分であるから、好調子とは言へない。(しかし石油燃料の使用、石炭使用の節約もうまくなつた事も計算の中に入れねばならぬ。現にアメリカに於て一九一三―二五年間に、産業活動が五割以上も増加した割合に比して、石炭消費額は僅かに四億七千九百萬噸に増加したのみである) 第二の標準は鐵道の貨物輸送量である。一九一三年の一般貨物輸送量は六千七

百八十萬噸が、一九二四年には六千九百萬噸、一九二五年には五千九百七十萬噸といふ衰退振りで一割乃至二割の減少である。もつとそのお株を自働車運送に奪はれた事は事實で、兩者を合すれば輸送量は寧ろ増して居る。この結論も國民所得の比較と同一である。

更らに賃銀は、國民の一人當り所得の數字より、労働者の收入の方が割がよくなつて居る。前掲のポウリイ、スタンブ兩氏の統計に據ると國民所得に對し、労働者の分け前は、一九一一年には四三%であつたのが、一九二四年には四四%に増加して居る。男子労働者平均一週賃銀は、一九一四年の三十二志が、一九二四年には六十志となり、男女を合すれば約九四%増である。これを労働者の生活費指數に換算すると、實賃銀は戦前よりも一%増となる。その上に労働時間は約一割減であり、それに雇主側の拂ふ保険費やら、政府の各種負擔費(老年給與等)をまともると、労働者の得る所は確かに以前よりは善くなつて居る。但し、これは全體より見た計數で、労働の種類によつては差異のある事勿論である。

パルフォア調査委員會の計算に據れば、熟練労働の賃銀は八割乃至九割増であるが、不熟練労働の方は六割乃至七割増である。また外國競争を受ける工業は、平均賃銀四割五分乃至七割五分増、平均して約六割増になる。外國競争を受けない工業は、平均賃銀は八割乃至十二割増で、平均十割

増となつて居る。これを金銭で表示すると、前者の熟練工が一週五十八志、普通労働者が四十五志、後者の熟練工は七十三志、普通労働者が五十志である。

今國際労働局の統計により、歐米諸都市を指數的に比較すれば左の如くである。

(ロンドンを一〇〇とする)

フィラデルフキア(アメリカ)	一七五—一八〇
オツタワ(カナダ)	一五〇—一五五
ロンドン(イギリス)	一〇〇
アムステルダム(オランダ)	八五—九〇
ベルリン(ドイツ)	六五—七〇
パリ(フランス)	五五—六〇
ブラッセル(ベルギー)	五〇—五五
ローマ(イタリア)	四五—五〇

以上の如くイギリスの賃銀標準は、各國との競争に於て一大負擔となる譯である。しかもこの生活標準を維持せんがため、イギリスはその貯蓄を犠牲にして居る。コルウイン財政調査委員會

に據れば、通貨價值を換算して、一九二四年には六億五千萬磅になるべき筈であるのに、一九二四年に約五億磅の貯蓄であつたから約四分の一の減額である。

要するに、イギリス經濟狀態で、最も不振を極めて居るのは、輸出業、特に基礎工業である。

3. 外國貿易の衰退

大戰後のイギリスの輸出は、戦前の八割以上を超えた事はない。一八八〇年以降、一九一三年迄毎年平均三%づゝ増進して來たものが、戦後には一向發展せず、また近き將來に於て大發展する見込みもない。輸出は減退するし、輸入は増加する一方である。食料、飲料、煙草等は一九一三年より二割方輸入増となり、減少したのは僅かに原料品のみである。特に石炭、鐵鋼、棉、羊毛、機械の五大工業は、イギリス輸出總額の半ば以上を占むるのが打撃を受けた爲に、輸出不振が著しい。左の諸統計が雄辯に是の衰勢を物語る。

4. 戰前戰後の英國外國貿易

(指數は一九一三年を二〇〇とする)

	一九一三年	一九二四年	一九二五年
一、飲食料品及煙草			
純輸入	一〇〇	一二五・二%	一二三・〇%
英國輸出	一〇〇	八五・七	八二・八
再輸出	一〇〇	一三二・七	一三八・六
二、原料品及未製品			
純輸入	一〇〇	九〇・〇	九六・九
英國輸出	一〇〇	八九・四	八〇・一
再輸出	一〇〇	九三・四	九二・〇
三、既製品及其他			
純輸入	一〇〇	一〇五・〇	一一七・九
英國輸出	一〇〇	七八・六	七九・七
再輸出	一〇〇	八〇・〇	七七・八

四、外國貿易合計

	一九二二年	一九二五年	一九二七年
純輸入	一〇〇	一〇九・二	一一三・六
英國輸出	一〇〇	八〇・一	八〇・〇
再輸出	一〇〇	九六・九	九五・一

5. 重要貿易品割合

(百分率)

	一九二二年	一九二五年	一九二七年
石炭骸炭燃料製品	一〇・二%	七・〇%	六・九%
鐵及鋼	一〇・五	八・八	九・八
棉製品	二四・一	二五・八	二二・〇
羊毛製品	六・八	七・六	八・〇
機械	六・四	六・三	七・〇
以上合計	五八・〇	五五・五	五二・七
5. 重要貿易品割合			一七九

英國産業組織改善論

其他輸出合計

總計

以上いじやうの如ごとく輸出ゆしゅつの不ふ振しんは産業さんぎやうの衰すたぶ微びとなり、從したがつて失業者しつぎやうしゃの續出ぞくしゅつとなる。左ひだりの失業統計しつぎやうけいを見よ。

一八〇
四三・〇
四四・五
四七・三

6・イギリス及北アイルランド失業計

(一九二七年調 同年十一月現在)

業種	被保險總數		失業者		割合
	男	女	男	女	
炭坑	一、一九二、一九〇		二二〇、五二〇		一八・五%
製鐵業	三二六、三九〇		六一、六八二		一八・九
機械	七〇三、一二〇		六九、七〇〇		九・九
造船	二二二、六六〇		四六、六五九		二一・九
棉業及毛織業	三一一、九五〇		三三、八〇四		一〇・八
以上合計	二、七四六、三一〇		四三二、三六五		一五・九

其他合計	六、一五二、六九〇	五七〇、七七四	九・三
總計	八、八九九、〇〇〇	一、〇〇三、一三九	一一・三

業種	被保險總數		失業者		割合
	男	女	男	女	
炭坑	六、八〇〇		一、二三四		一八・二
製鐵業	一六、九一〇		一、二九三		七・六
機械	六一、一六〇		二、二〇四		三・六
造船	三、三七〇		一六三		四・八
棉業及毛織業	五〇七、三四〇		五三、五九一		一〇・六
以上合計	五九五、五八〇		五八、四八五		九・八
其他工業	二、六三六、四三〇		一四八、〇六二		五・六
總計	三、二三二、〇〇〇		二〇六、五四七		六・四

以上いじやうの如ごとく、失業被保險總員しつぎやうほけんそうぎんの約三分の一やくさんぶんの一は五大基礎工業だいきそきそぎやうに雇はれて居る者で、失業者は男子一六%、女子九・八%である。然るに他の諸工業は男子九・三%、女子五・六%に過ぎない。また一

九二三年六月より一九二六年四月までの間、失業平均率は、造船 三四・五%、鐵鋼が 二二・三%、機械が一五%、棉業が 一二・三%、羊毛が一〇・七%となつて居る。イギリスでは最も苦難に直面して居るのは、重要基礎工業で、是等の諸都市は北部に集中して居るから、失業は南部地方より北部地方が甚だしい。【譯者註】調査日が數年前であるから、失業者が百二、三十萬であるが、今日はそんな數ではなく、遙かに前記の數字を突破して居る事勿論である。世界的失業苦難時代で、昨年七月(昭和六年)でもイギリスは二百七十萬人、ドイツは四百萬人、失業者なしと言はれるフランスでさへ四十萬人の失業者である。もつともドイツの失業原因は政治的不安が多分に影響して居るのであるが、イギリスのは純然たる經濟的事情によるのである。失業者の大部分は全國の三大産業たる鐵、石炭、紡績の勞働者である。イギリスはヨーロッパ大戦後必ずや自國の繁榮が右三大産業の復活によつて、再びもたらせられるものと漫然信じて居て、他國の同一産業の進歩を考慮に入れないかつたのが、一大失策であつた。

自由黨其他でこれ等産業組織の改善を叫んだが、何等の改善を加へず、舊態依然たるまゝ現在に推移したのであるから、競争國との大刀打は到底むづかしい。これが組織の改善を斷行するには、多大な日子と費用が要る問題であるから、全く動きのとれぬ羽目に陥つて居る譯である。失業問題である。

7. 世界貿易上の地位

次に世界貿易上のイギリスの地位は左の如き割合である。

(國際聯盟の調査)

	一九一三年	一九二四年	一九二五年
イギリス	一三・九三%	一三・〇一%	一一・四三%
アメリカ	一三・三四	一六・五四	一六・〇四
ドイツ	一三・〇九	五・七三	六・九七
フランス	七・二三	七・九八	七・二一
カナダ	一一・三五	三・九四	四・四三
日本	一・七二	二・六八	二・〇三
7. 世界貿易上の地位			一八三

支那	一・六〇	二・三〇	二・一七
ロシア	四・二二	〇・九九	〇・九七

戦前第一位であつたものが、爾後アメリカが第一位となり、イギリスの地位は下つて來る一方である。更にイギリス輸出の仕向地別に於て、自治領や植民地へ増、ヨーロッパへは居据り、その他の諸國へは減となつて居る。しかし自治領や植民地への輸出に於ては、アメリカや日本の方が、イギリスを凌ぐ増率を示して居る事に注意を要する。

次に輸出入並貿易尻も左表の如く好調子ではない。(單位百萬磅)

年次	商品輸入	商品輸出	商品入超	地金正貨入超(一)	
				同	出超(十)
一九一〇—一三年	六二	四七四	一三七	(一)	七
一九二四年	一、一三七	八〇一	三三六	(十)	二二
一九二五年	一、一六七	七七三	三九四	(十)	一〇
一九二六年	一、一一六	六五三	四六三	(一)	二二
一九二七年	一、〇九六	七〇九	三八七	(一)	四

以上の如く入超續きで、貿易外の収入は思はしからず、船舶業の不況、海外投資も戦争の影響を

受けて戦前より減じ、更に戦債の負擔がある。イギリス海外投資餘力は減少した譯である。左表の如く最近四年間に於て、イギリスの海外投資餘力は、戦前よりも一年一億磅餘も減少して居る。

8. 英國國際收支對照表 (單位百萬磅)

	一九一三年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年	一九二七年
海外投資純收入	二二〇	二〇〇	二二〇	二五〇	二七〇	二七〇
船舶純收入	九四	一三三	一四〇	一二四	一二四	一二〇
短期利子手数料	二五	五〇	六〇	六〇	六〇	六〇
其他	一〇	一五	一五	一五	一五	一五
小計	三三九	三九八	四三五	四四九	四六五	四六五
政府海外拂差引	—	二五	二五	一一	—	—
商品以外收入	三三九	三七三	四一〇	四三八	四六五	四六五
商品正貨入超	一五八	一九五	三二四	三八四	四七七	三九一
差引收入	一八一	一七八	八六	五四(一)	一二	七四

8. 英國國際收支對照表

一八五

海外新投資 一九八 一三六 一三四 八八 一一二 一三九
 イギリスの海外投資余力は前表の差引収入にある譯であるが、その金額と海外新投資額とは大部差異がある。それ短期並長期證券の賣買とか、その他種々なる資金出入の關係があるからである。しかし結局は海外投資は差引収入即ち受取超過の余力を以てするのが當然である。吾人の觀る所では、最近四年間の海外投資中、一億五千萬磅を下らざる金は、外國人のロンドンに於ける預金やら爲著手形等で融通されたものと思ふが、かゝる方法は永續するものでない。先づ現今のところ受取超過一年七千萬磅を目安に置いて海外投資をなしたら宜からう。

9. 國民繁策の諸方策

以上はイギリス産業界の鳥瞰圖である。イギリスの實貨銀は戦前のそれより幾らか良いにしても失業数は益々増加するばかりである。アメリカが一九二五年と一九一九年とを較べると工場生産額が一人當り四割以上増加し、實貨銀も少くも三割は増して居るのに、イギリスの製造能率はこの十五年間に一労働時間短縮も計算して一割五分しか増して居ない。その責任が雇主にあるか、労働組合にあるか、將又政府自身にあるかは別問題として、とに角イギリスはその資源と科學を充分に發揮

し居ない事は事實である。産業改善の急務たるや論を俟たない所であらう。

特に基礎工業の不振は痛心すべきものがある。それも自動車が旺んになり馬車が廢れたといふ様な變遷なら、まだしも我慢する事は出来るが、この重要工業の沈滞はその影響する所甚大である。イギリスの地理的優越地位や、炭坑の地の利を得て居る事は、今更ら絮説を俟たない所で、世界貿易場裡に於てイギリスを驅逐する事は容易ではなからう。だがイギリスは舊來の惰性に泥みて、保守性に陥る危険がある。容易すく舊位を恢復し得るものと樂觀するは大間違ひである。それでこの不振の形勢を挽回せんがため、凡ての生活標準を引下よう。特に打撃を受けた諸工業の賃銀を、戦前以下に引下げんとするは斷じて排斥すべきであつて、若し適當な對策を講ずれば賃銀を下げるは愚か、むしろ上げて然るべきだ、【譯者註】「何も今更ら説明するまでもないが本書は總選舉の投票をア・テ・込んで、大衆の人氣を得ようとする魂膽がないとも言へない。だから賃金値下げに反對しアメリカのフーヴァー景氣の禮讚と同様に、賃銀値上げを稱揚して居るが、三年前と今日とはイギリス經濟事情が大變化を呈し、諸會社並に諸官吏の減俸が斷行されて居る。現に萬年景氣を誇るアメリカの有力會社、ユー・エス・スチール會社、ウエスチング電機會社、アメリカン電信電話會社などでも、昭和六年十月一日より一齊に俸給を一割乃至二割値下を聲明した。」

我國基礎工業の不振は、自力を以て匡救し得べき點が多々ある。過剰生産能力があるならば、何故に能率ある工場に集中しないのか。何故に幾多の工場で操短する様な不經濟な眞似をして居るのか。炭坑が概して舊式一偏にして、新事態に適應しない事は周知の事實である。二三代前まで生氣潑刺とした諸工業は、今や活氣を失ふに至つた。

これは今の指導者にその父祖傳來の元氣と能力が欠亡せる結果である。ドイツやアメリカ等の競争國を相手とするには、イギリス産業組織改善の急務たるを認めざるを得ない。能率ある産業組織の經營、産業當事者の有効なる協調協力は經濟繁榮の基礎である。苟くも階級闘争の思想を排除せなくては、イギリス産業の實力を充分に發揮する事は不可能だ。この二個の經濟基礎について改善策を提せんとするのが本書の眼目とする所である。

然らば吾等先づ何を爲すべきかと言ふに、今後勞働移動可能性を助長して、有効率の少い方面からより多い方面に勞働を移動せなければならぬ。従つて是が障害を排除する必要がある。また、内外投資方法に於て、その方針の完全を期し、大膽なる國民資源の開發策を講じて、失業を根治し生活標準の向上に努力すべきだ。

國際貿易の第一條件は言ふまでもなく平和にある。しかして平和に安全保障が必要であるから、國際聯盟を有力鞏固ならしむるを以て、世界貿易恢復の近道とする。就中、現今の不滿なる對露關係は、貿易恢復の障礙である。第二の要件は通貨安定であり、第三には關稅其他貿易障壁の撤廢である。

第三の要件に就いて、先づ國際聯盟の主唱により、國際經濟會議を開き、種々なる望ましき決議がなされた。イギリスとして率先して關稅低下を講ずべきである。然るに何事ぞ、イギリス自身が自國工業を安全に守護する爲と稱し、或は奢侈税を賦課すると稱し、保護政策を除外にとりつゝあるとは、しかしイギリスは今尙自由貿易國であつて、保護税を課けるもの僅々輸入の百分の三弱に過ぎない。故に大體に於て關稅の障壁はないのであるが、少しの製品に對しては高い關稅を課けて居る。

所謂標準率に至つては三割三分餘といふ高率なるものがある。一九〇三年にジョセフ・チエンバレンが唱へた關稅案ですら、製品に對しては一割、半製品は五分であつた。もしこの標準率一般に行はるとすれば、イギリスは世界最高の關稅國となる。今日世界に於ける最高關稅平準の國々はスペインの四割一分、アメリカの三割七分、ポーランドの三割三分、オーストラリアの二割七分である。故にたとへ課稅品は甚だ僅少なるにもせよ、イギリスが自由貿易主義を捨て、保護政策をと

る事は、世界貿易障碍撤廢運動に有害である。

第二編 産業組織の改善

1. 経済的正義の叫び

やれ個人主義、やれ社会主義だのと言つて、保守黨や労働黨は、理論闘争をやつて居るが、世界は既にかくの如き論題をおつぽり出して遙か彼方に前進して居る。今日の問題は、現在に於ける社会一般の傾向を善導し、個人的自由と一般的利益との調和を計り、個人創造と共同計畫との調和を企り、公正と互助と経済的正義の空氣の中に、各人をして社会全體の爲に寄與せしむる社会を造るにある。産業組織を改善する標準はこれである。

現在に於ても既に社会化され、もしくは半ば社会化され、或は國家の取締りに屬する事業は却々多い。是等を總稱して吾人は公共事業——Public concern——と呼んで居る。今、試みに是等を左掲すれば

(一) 國有國營事業

- 1 郵便
- 2 電信
- 3 電話——この三事業の資本は約一億磅にして、その内四分の三は電話である
- 4 陸海軍省の船渠及製造所
- 5 諸官省 宮殿等の建築事務所
- 6 造幣局
- 7 御料局
- 8 印刷局
- 9 免許局
- 10 道路局——以上の内道路敷地は十三億磅の資本に相當する。

(二) 特別委員會の管理に屬する國營事業

- 1 英國放送局
- 2 中央電氣局
- 3 森林局

(三) 地方自治の管理する事業

瓦斯、電氣、街鐵、水道、住宅等の公共事業は左表の如く、地方自治體の管理經營するもの多くその資金は合計七億磅に達す。

種類	公共事業數	地方自治團體經營	資本價格(磅)
瓦斯	七八二	三一七	六二、六五〇、〇〇〇
電氣	五六三	三三八	一二五、三一〇、〇〇〇
街鐵等	二三五	一六八	八一、七八〇、〇〇〇
水道	一、二二六	九七七	一四八、〇六〇、〇〇〇
住宅	?	一、五六八	二二九、四九〇、〇〇〇

1. 経済的正義の叫び

る事は、世界貿易障壁撤廢運動に有害である。

第二編 産業組織の改善

1. 経済的正義の叫び

やれ個人主義、やれ社会主義だのと言つて、保守黨や労働黨は、理論闘争をやつて居るが、世界は既にかくの如き論題をおつぱり出して遙か彼方に前進して居る。今日の問題は、現在に於ける社会一般の傾向を善導し、個人的自由と一般的利益との調和を計り、個人創造と共同計畫との調和を企り、公正と互助と経済的正義の空氣の中に、各人をして社会全體の爲に寄與せしむる社会を造るにある。産業組織を改善する標準はこれである。

現在に於ても既に社会化され、もしくは半ば社会化され、或は國家の取締りに屬する事業は却々多い。是等を總稱して吾人は公共事業——Public concern——と呼んで居る。今、試みに是等を左掲すれば

(一) 國有國營事業

- 1 郵便 2 電信 3 電話——この三事業の資本は約一億磅にして、その内四分の三は電話である
- 4 陸海軍省の船渠及製造所 5 諸官省 宮殿等の建築事務所 6 造幣局 7 御料局 8 印刷局
- 9 免許局 10 道路局——以上の内道路敷地は十三億磅の資本に相當する。

(二) 特別委員會の管理に屬する國營事業

- 1 英國放送局 2 中央電氣局 3 森林局

(三) 地方自治の管理する事業

瓦斯、電氣、街鐵、水道、住宅等の公共事業は左表の如く、地方自治體の管理經營するもの多くその資金は合計七億磅に達す。

種類	公共事業數	地方自治團體經營	資本價格(磅)
瓦斯	七八二	三一七	六二、六五〇、〇〇〇
電氣	五六三	三三八	一二五、三一〇、〇〇〇
街鐵等	一二三五	一六八	八一、七八〇、〇〇〇
水道	一、二二六	九七七	一四八、〇六〇、〇〇〇
住宅	?	一、五六八	二一九、四九〇、〇〇〇

1. 経済的正義の叫び

雜

?

?

三八、二〇〇、〇〇〇

(四) 特別委員會の經營する地方事業

1 船渠及港灣——ロンドン港務局の如し、2 水道局等

(五) 建築組合條例、産業組合條例により設立されし諸會社

1 建築組合條例による住宅、商店、事務所等 2 産業組合條例に屬するものには、共同卸賣組合、共同小賣組合、共同生産組合、農産組合等がある。産業組合條例による統計(一九二四年)を掲げれば左の如し。

種別	組合數	會員數	資産(磅)
農業及漁業	一、六三一	二九八、四〇一	四、五四〇、〇〇〇
小賣共同組合	一、四〇三	四、六六二、七九五	一一〇、五六九、〇〇〇
卸賣共同組合	六	二、二二九	三七、四一二、〇〇〇
生産販賣	一六〇	四五、五〇一	四、二〇三、〇〇〇
俱樂部	二、一一六	五八九、〇〇一	四、一四一、〇〇〇
其他實業	一七〇	四二、二三八	三〇、〇六四、〇〇〇

土地及住宅

三〇一

三四、六八三

一〇、六六九、〇〇〇

開發事業

一四

九、三四六

七七七、〇〇〇

合計

五、八〇一

五、六八四、一九四

二〇二、三七五、〇〇〇

(六) 議會の特別法による會社 この種類の會社は左表の如し。

種別	事業數	總資本(磅)
鐵道	八七	一、一五一、七四七、〇〇〇
街鐵	六七	一九、九六七、〇〇〇
瓦斯	四六五	一〇九、三三六、〇〇〇
水道	八六	二六、一〇〇、〇〇〇
電氣	二二五	六八、七〇七、〇〇〇

是等諸會社は皆料金其他につき監督を受く。

イングランド銀行の如きもこの種類に屬す。

(七) 個人事業にして收益の目的を有せざるもの 1 教會 2 大學及學校 3 慈善團體
さて、以上諸種の公共事業の資本を總計すれば四十億磅以上に達する。是等の事業は皆大資本を

要するが、収益に制限を附せられるとか、その他の理由で、適當に個人から資金が集められないものもあり、或は事業の性質上独占となり、これが取締りをしなければ危険なものもあり、或は個人株主の監督では駄目なものである。種々なる理由で、之を國有國營、地方自治體經營、特別委員會の管理、又は特殊監督の下に置くに至らしたのである。だから社會主義とか個人主義とか、やかましく議論するまでもなく、問題は唯だ程度と便宜と方法の如何にあるのだ。

しかし、經營方法は直接國營には大なる便利はなく寧ろ不便不利がある。郵便、電信、電話の如きも、寧ろ中央政府より獨立した特別行政體に移した方が宜い。その方が却つてビジネス本位となり、政治と行政が分離される。現にベルギーやドイツの鐵道や、ドイツの郵便事業はそうなつて居る。地方公共事業は公有を可とするも、これも又特別行政體をして當らせ、又その地域に於ては、事業上最大利益を擧ぐべき區域を標準とすべきであつて、行政上の府縣郡市等の區域に制限されるのは良くない。

要之、中央事業でも、地方事業でも大體に於て特別行政體：ad hoc Public Board：に經營するの適當である。今のロンドン水道局の如く、委員が六十六名もあつて、委員長や副委員長が名譽職と言ふ様なお飾的人物であつてはならない。されば國家及公共事業の特別行政機關に就き、左

の如き改正案を提唱する。

- (一) 特別行政機關の委任任命の方法を改正して、業務及技術的能力のある者を任命の標準とし、所謂利益代表を主とせざる事。
- (二) 適所適材、門戸開放主義のため、有能者の拔擢進級を可能ならしめ、また他の公共事業との間に役員移動の途を設け、思給制度等を置く事。
- (三) 公共事業機關役員選任のために、全國市町村等自治體代表より成る一種の文官試験委員制を設くる事。
- (四) 同種事業に關する特別機關は、互にその事業成績を比較攻究する事。
- (五) 適宜會計法を設け、收支會計狀態を明瞭ならしむる事。

2. 企業組織の改正

個人の小營業は問題外として、今や少しく大きなものは皆殆んど全部株式會社組織である。イギリスの法律では五十名以上の株主を有するものを大會社：Public Company…と言ひ、株主五十名以下を小會社：Private Company…と稱して區別して居るが、實際上の區別としては、第一にその

會社が本當に株主によつて支配出来るかどうか、第二にその會社が獨占的性質のものか、それとも自由競争を受くるものかどうかの二點に着目すべきである。それで會社の株主が少くて、株主自身の力でその事業を監督支配し得るもの、又獨占的傾向のないものは、別に干渉する必要はない。唯正當な競争が行はれて最大能率を擧げ得る様な環境を造れば良いのである。

株主が散らばつて居て、株主自身で會社の事業を統制出来ない時、要約するならば、大會社には色々の弊害が續々起る。會社は收支計算表を公表するけれど、唯それだけでは事業の實際を株主に知らしむるに充分でない。經營が不良でもその儘に看過され易い。これは株主の利益を擁護する所ではない。

また、公衆が會社に投資する場合に、その内情を分らない故、所謂内輪の事情を知つて居る者を徳とする。會社の内情を知りながら、不正直な者は虚偽な情報を以て投資者を釣つて、結局一杯食はず事もあるし、或は現在株を持つて居る者には、不當な安價で之を賣放さす事もあらう。要するに會社の實情が秘密に附せられるため、株主や投資者、換言すれば一般公衆を害する事決して少くない。故に此弊害を除くには、實に強制公表の手段をとるの外はない。

のみならず、重役が各自會社の株券を直接又は間接に賣買するのも一大弊害であつて、會社の内

情を秘密にするのも一つは是がためである。故に重役の持株は毎期末には之を公表する事にし、會社の賣買を豫じめ重役會の承認を得るにあらざれば、是を禁ずる事にしたい。

會社制度の改正は、第一に會計状態を適當に公表する事で、それと同時に監査役の權限を擴張する必要がある。第二には重役制を改正して重役會の外に監督會なるものを設けたらば宜からう。會社制度改正の要點を左掲すれば。

會社の内容を公表するには、第一にその資産及負債を各別に明記し、他會社を統制して居るものは、その會社の状態を併せ明記する事。第二に會社収益状態を明記し、且之に關する監査役の報告を掲ぐべく、またその収益の内容を明かならしむべき事。第三には、貸借對照表は一定期終了後なるべく速かに公表する事。第四には各重役が親會社及び子會社より受くる報酬の全額を掲げ、また各重役持株數、賣買數等を明記する事。第五に監査役については、今のところ Chartered Accountants and Incorporated Accountants の兩團體があるが、之を一つに統一して、大會社監査役は凡てこの統一團體に屬する會計士より取り、また會計士團體に於ては、最高の職務標準を維持し、制裁訓練を嚴密にし、而して監査役に任ぜられた會計士は、會計評價の嚴正ならん事に着眼し、重要事項に關して株主の注意を喚起するに努め、苟も人を誤まる如き會社報告あらば、之を指摘する事、

監査役に右の如く重き役目を負擔せしむるに就いては、その地位及び獨立を充分保證すべき方法を設け、また監査役は會社定款に定められたる權利として、會社の一般會議に出席發言するを得せしむる事。これは特に大會社に於ては必須の改正條件である。

3. 重役制度の改革

次に改正を要するものは重役問題である。元來現存の重役制度なるものは、會て會社の重役が、持主であるか或は持主の代表であつた時代の制度を踏襲して居るので、その選任の方法も、所要資格も時勢後れ勝ちである。故に重役に缺員が生ずると、概ね重役會の互選によるを常とする。形式上それは株主の承認を要する事になつて居るが、株主は諸方に散存してゐるから、たとへ否認した場合でも、それが株主間の大問題たる場合でもなない限りは、有耶無耶の裡に默認されてしまう。この結果として、一度重役に任ぜられた者は定期改選の規定はあつても實は無いのと同様で、殆んど終身職同様になつてしまふ。偶々重役會長中に硬骨の人があつて、無能の重役を罷任せしむれば、如何にもその既得權を侵害したかの如く怨まれる。かう言ふ次第で重役は實に旨味の特權と考へ、その仕事の割合には高い報酬を與へられ、或は一人にして十有餘の會社重役を兼ねるものがあ

り、又重役が辭職する時後任にはその息子を推すと言ふ状態である。かくして重役はその地位を個人の所有物であるかの如く思つてしまふ。また大會社の中には有力者を重役に引入れねばならないとあつて、その人物の事業上の能力を問はないで澤山の重役を置いてゐる。イギリスに昔からある會社が、能率がなくて保守的なのは、一はかくの如き重役制度が原因である。ドイツ、アメリカはこの點に於てはイギリスより勝つて居る。しかしこの問題は法律では如何ともし難いのである。

前述の如く強制公表制度は、幾分かこの弊害を矯正するかと思はれるが、尙會社法により七十歳定年制を強制するのも一方法であらう。とに角、實業界の指導者自身が、現存の重役制度に伴ふ危険及弊害を認めて、自らこれを刷新せねばならない。一方に於ては直接經營の任に當る者は、寧ろ重役會はお飾り物である事を希望する。故にこれが救濟手段としては、現今ドイツ大會社で實行してゐる様に、重役會の外に監督會なるものを設置したら良いであらう。即ちイギリス大會社の重役會としては、會長の外に専任重役數名を擧げ、その外に最も責任ある各部長と外部からの専門家を擧げて、これを組織し、監督會は株主代表、場合により使用者代表も加へて之を組織して、監督會は一年四期又は半年毎に開會し、事業の細目報告を聴取し、重役會の意見を聞知したり、これに批評を加へたり、又會社内の下級役員に任命に對しては、最終の決定權を持たせるのである。尙又

この監督會制度—Council of Supervision—は公共事業にも適用し得られるのである。

4. 企業合同及同業組合の監視

獨占事業に對して公衆は本能的に不信の念を持つた時代もあつた。それは無理もなかつたが、今や或る程度の獨占は已むを得ない事であると共に、その能率を擴大し、大規模生産の効果を擧ぐる點から言ふと、むしろ望ましい所もあるのである。今日の市場關係からして半獨占の事業は段々増加して來た。これを取締る方法は公表制度である。しかも獨占的會社は普通競争事業の會社と區別しなければならぬ。もし大會社にして假りにその收支計算が百萬磅以上であつて、またその生産品の製造高又は販賣高が、イギリス國內に於ける同一物品の五〇%以上に達するものは、これを公共會社と呼び、半公共事業として取締りたい。また小會社でも大會社又は公共會社の子會社なるものは、親會社同様の取締りを受くべきである。

かくして公共會社と認められたものは、時偶商務院の監督指揮を仰ぐ事として、商務院はその會社の収益状態及會計状態や、高級役員報酬、獨占の程度、他會社との値段と産額との協定等を調査報告するの權限を有せしめ、且又商務院はその判斷により、公共會社に収益分配制度或は勞

働者代表制度を設けしめ得る事にするのである。若し不正のある場合には、商務院が之を調査し、トラスト裁判所に告訴する。右告訴の結果不正の證據を得て、公衆の利益を害するものと認むる場合に、更に商務院をして適當の取締りを命ぜしめ、場合によつては價格の支配もする。國際カルテル又はコンバインに對しても、之が取締りは公表手段によるの外はないであらう。

同業組合は元來が商人、生産者或は雇主の組合であつて、その目的とする所は、(一)同業者間に於ける科學的研究及情報の供給 (二)同業者間に於ける統計の蒐集 (三)同業者に對する法律意見の提供及標準契約案の起草 (四)聯合廣告或は聯合販賣 (五)生産統制 (六)價格政策等であつて、組合加入者は各々自立し、組合から財政上の支配は受けないものである。

故に商業或は工業なり、その一部に於て、全國的又は地方的にその五〇%以上を包含する同業組合は、是を—recognized or incorporated association—即ち法人同業組合となして、これは右同業組合から出願してもよし、商務院から命令してもよい。何れにしても法人同業組合は次の如き規定を適用する。

(一)組合の決定及組合員への布告は商務院に報告し、また商務院は組合の會議に代表者を出席せしむるを得ることとし、商務院の監督下に置き、且公共の利益に關係ある事項は之を公表せしむる

(二)統計蒐集に就て材料提供の義務を負はしむる。(三)一の商業乃至工業に於て少数者をして多数者の決定を遵奉せしむるのが正當なる場合があらう。かゝる時は組合加入者の七五%の多数を得ればその決議を強制し得る事にしたらよからう。

5. 國民投資局の活躍

イギリス人一ヶ年の貯蓄は五億磅と計算されて居る。この貯蓄は最初に公私の各機關に吸収されそれより内外種々の方面に投資されるのである。たとへば中央政府機關を通ずるものにあつては、地方低利資金公債を募つて、これを公共土木低利資金局を通じて、地方自治團體その他に貸出すとか、郵便貯金を貸出すとか、又は地方自治團體自身が直接に募債して建築や土木を起すとか、更に又國民の貯蓄が中央地方の行政機關を通じて投資されるものがあり、又會社がその利益中から積立して自己の資金とするもの、或は公機關によらない住宅資金や銀行の貸出しとなるものがある。その他投資市場に於て、國內及海外に投資されるものがある。今是等を大別すれば。(單位磅)

- (一)中央及地方行政機關を通ずるもの、道路資金、地方低利資金、電話、九〇、〇〇〇、〇〇〇
- 地方自治團體の資本支出

- (二)實業的事業で利益を積立て之を資金に廻すもの 一九五、〇〇〇、〇〇〇
- (三)公機關によらない住宅資金 六五、〇〇〇、〇〇〇
- (四)銀行貸出しの増加 二五、〇〇〇、〇〇〇
- (五)國內新投資 二五、〇〇〇、〇〇〇
- (六)海外新投資 一〇〇、〇〇〇、〇〇〇
- 合 計 五〇〇、〇〇〇、〇〇〇

この國民貯蓄の投資について、内國と海外投資の間に適當な割合をとる事は、吾等の注意しなければならぬ所である。海外に於けるイギリス人の實業や開拓事業を奨励すべきは勿論よい事であらうが、あの海外鐵道投資時代の如き考を以て、現代に當て拵めようとするのは愚の骨頂である。その當時にあつては、植民地や外國の鐵道が發達すると、それに伴つて食料並原料の供給が殖えたから、イギリスは世界の利益を増進した。が、現在に於て海外でなく、お膝元の國內に於て、運輸交通業、公共事業、商工業、住宅、農業等に色々と資金の要する時である。かゝる秋に國內の事はお留守にして、却つて海外の公共機關に金を貸すのは當を得たものと言へない。等しく公共機關でありながら、海外のものには募債上の便宜を與へ、國內のものに與へないとはけしからぬ事である。

銀行乃至會社などの私的機關によるものは別であるが、政府機關による投資は、先づ第一に資金を一つに纏めて、次に是が配分するにも大局から觀察して投資すべきである。この趣旨を以て、吾々は Board of National Investment を新設し、現在國債委員會や低利資金局の仕事を綜合し、尙その外に必要な権限を附與し、大藏省管轄下の一局とし、大藏大臣の監督の下にあらしめたいと思ふ。特に非常時の場合には、海外自治領及公共團體の募債に對しては、國民投資局はイングランド銀行と協議して之を監督し得る事としたい。かくすれば國民の貯蓄をば、最も經濟的並社會的に有利に使用し得るであらう。

6. 經濟參謀本部の提唱

内閣の施政方針が産業界に影響を及す事は言ふまでもないが、現内閣には産業の開發に對し意見を提出する機關を持たない。それがため問題が突發してから、俄かに調査を命ずる。報告意見書が出る時は既に機會は去つてしまつたと遅時時である。故に平素より經濟上の重大問題を攻究する部門が是非必要である。經濟參謀本部新設の提唱する所以は此處にある。

(一) 經濟參謀本部の責任 1 國策に關係し商工業の發展に關係ある時事經濟問題につき調査する

2 政府及議會に必要な統計その他情報を統一完成する。3 内外に於ける重要な趨勢及變化につき自ら進んで内閣(又は經濟政策委員會)に進言する。4 經濟上に於ける根本的難問題の解決につき政府に意見案を提出する。失業問題、國民資源發展、商業狀態の安定等はその一例である

(二) 經濟參謀本部の組織 本部は總理大臣及内閣と密接し、又重なる經濟關係者と聯絡の必要あるにつき、その組織を次の如く定む。本部長及次長、大藏省事務次官、商務院、勞働省、保健省、農務省の事務局長、その他經濟參謀本部事務局の高級役員は、その數を尠なくして最善の専門家を任命し、文官標準によりて高給を支給す。尙此種の機關は追々活力を失ひ有名無實と化する虞れあれば、本部長の意見を重要視すべく、またその地位を海軍々令部長乃至陸軍參謀本部長同様に高くし、その任期を五ヶ年とし、十五ヶ年以上の勤績を許さない事にする。

(三) 經濟政策委員會 經濟參謀本部の外に經濟政策委員會を設け、内閣の常設委員會とす。この委員長は總理大臣自ら之に當り、委員は左の如く組織す。總理大臣、大藏大臣、商務院總裁、勞働大臣、保健大臣、農務大臣、經濟上、財政上の政策に關する一切の問題は、凡てこの委員會に附議し、經濟參謀本部長は同委員會の幹事長となり、その他閣員及高級官吏、經濟參謀本部長、大藏省の重要局長、イングランド銀行總裁等は、必要に應じて委員會に出席するものとす。

されば右の如く統一せる經濟政策を策するに就いては、産業統計の必要が痛感せられる。産業上の秘密主義はイギリス經濟生活の能率を阻害する最大原因である。特にアメリカ合衆國に比してイギリスの秘密主義はよくはない。個人にとつて秘密主義は有利である場合もあるが、決して社會全體を利するものでない。

7. 産業能率第一主義

イギリス産業界の指導者は、能力者が尠ないとケナス事は、不當なる一般的議論だが、しかし改善を要すべきものが多々ある事は事實だ。

第一に、適所適材、優秀者拔擢、能力者登用の門戸を開き、情實や因戚血縁關係による弊害を排斥せねばならない。かくして産業界に人材を養成し、次代のリーダーを造るべきである。

第二に、イギリスの産業界は、ともすると合理化を毛嫌する。炭業、製鋼、製粉事業の如きは確かにその一例である。アメリカの如く科學的經營法を重んじ、技術その他の事を互ひに情報交換するが、イギリスでは殆んどそれが行はれて居ない。製品の標準化の如きも之を採用して有利な點がある。もつとも産業合理化には種々技術的困難もあるが、もつともいけない事は、各種事業首腦

者間に互ひに嫉妬排斥の感情強く、相互に信用せず、既得の權利を後生大事とし、從來のやり口を墨守し、イギリス産業改善の必要を少しも認めない事である。

第三に、ドイツ、アメリカでは大學教育を受けた人々が、漸次産業界に用ひられて居るが、イギリスでも高等教育を受けた者の門戸を開放し、從來の家族や姻戚關係による舊弊を革めねばならない。産業界に於ける人間に關する學問は、今尙幼稚であるから、その方面を開拓して、人材登用、有材昇進の路を造らなければならぬ。

産業組織はその責任指導者の頭腦より、遙かに速いスピードを以て前方へ突進して居る。アメリカに於けるフーバー商務長官(今の大統領)が、製品の標準化及單純化を指導せるが如きはその一例であるが、イギリスの産業心理研究所—National Institute of Industrial Psychology—が商工業のため貢献せる事も尠しとせない。蓋し思ふに、經營研究所を新設し、産業資本家、労働組合並に政府の三者協力せば、その効果必ず見るべきものがあらう。

以上は重に生産者側から言つたものであるが之を更に販賣、輸送、分配、小賣等の方面についても大いに改善刷新すべき點は多々ある。特に販賣についてはイギリス現制度の能率は最も疑はしいものがある。それが果して現代に於ける國際競争に適應するや否やは、甚だ以て怪しいものである。

この販賣の改善は、製造能率のそれよりも、遙かにむづかしい。所謂 organized marketing の必要愈々切なるものがある。(完)

産業統制論

——日本産業合理化の根本問題——

本篇は産業統制論と題したが、廣汎多岐に亘るこの問題を僅々數頁で論じ盡され得べきものではない。いさゝか羊頭狗肉のそしりを免れないが、金解禁後の對策としての、産業界の心臓とも稱すべき金融の統制と、事業の合同問題に就いて卑見を述べて見たに過ぎない。

1. 國際貸借を如何にして改善すべきか

對外貿易を如何にして振興せしむべきか。國際貸借を如何にして改善すべきか。これは金解禁後の我國としては實に緊要なる問題と言はねばならぬ。現内閣もこれに力瘤を入れて、その具體方策として輕出補償制度のお膳立ても既に出來上り、五十七議會に提出するの段取りであり、又外客誘致政策に就いては鐵道省もかなり肌を脱いで居る様であり、この二つの方策は金解禁後の實際方策と

1. 國際貸借を如何にして改善すべきか

して結構な施設には違ひはないが、單にこれだけでは物足りない氣がする。輸出貿易振興、國際貸借改善の大問題として、何か他の方面より方策を講ぜねばなるまい。而して全般的産業振興策とも見られるのが産業合理化の實行ではあるまいか。

金解禁後に於ける産業貿易振興策として、現内閣は昨年横濱に開かれた民政黨關東大會（十二月十六日）に臨み濱口首相は

「金解禁財界安定後に於ける國力の培養に關しては、施設すべき事柄が少なくないのでありますが試みにその内最も重要なものを例示すれば、産業の合理化であらうと思ひます。元來産業合理化運動の目的とする所は、優良整一なる商品を出來るだけ多量且安價に生産し、これを出來るだけ廣く内外の市場を通じて、多數の需要者に販賣する事にあるのであります。しかしてこの目的を達成する手段としては、科學的管理經營の方法を採用し、發明の奨励と優良なる機械の應用により能率の増進を計ると共に、他面事業の合同又は協定を促進して、資本の浪費と無用なる競争を排除する必要があると思ふのであります。」

と述べて居る。約言すれば即ち産業の合理化を實現せしむる事が國力培養に關するもつとも重要な施設たる事を強調し、この目的を達成せしむる手段としては科學的管理經營の方法を採用し、發明

の奨励と優良の機械の應用により能率の増進を計り、他面事業の合同又は協定を促進し、資本の浪費と無用の競争を排除すべしと述べて居るのであるが、その趣旨に就いては誰しも異論はないであらうと思ふ。

2. 産業界の行詰り

かの歐洲大戰當時の經濟より、平和恢復後の經濟への轉換機に際して、歐米の産業界に現れた産業の合理化運動は、又同様な目的を以て疾くから我が國産業界に適用せられねばならなかつた。それは我が産業界の行詰りを打開すると共に、將來の發展の基礎ともなる産業運動であり、戦争のお蔭で膨脹した諸産業が、何等の統制なく、秩序なく、連絡なく各自が思ひ／＼のまゝに發展をなした我が産業界の如きに於ては、戦後の窮境にブツカルと共に、一番早く合理化に氣がつかねばならなかつた。勿論我國の産業界に於ける事情は歐米に於けるそれに異なる所がないではないが、歐米の合理化運動をそつくりそのまゝ翻譯的に受け入れる事は出來ないにしても、産業合理化の第一義たる企業の合同乃至統制を促進せしむるだけでも、疾くはその機運を醸成するの必要があつたのではなかつたか。

然るに我が産業界は各自の立場を一時糊塗し、やりくり算段する事はあつても、この種の公正な産業運動によつて自ら救済しようともせず、臭いものには蓋をする様な態度を採つて来た。それに今日まで同種企業が夥しく對立し、相互に不當な競争をする様では、結局は共倒れに終るのがオチではなからうか。

確か一昨年であつたと思ふが、日本經濟聯盟が日本の産業界に警告を發して、資本の過剰生産と無謀な競争を防止する爲、企業の合同或は事業の聯合協定を主唱し、經濟界の注意を喚起した事があつたが、それは單に警告のみに止つて成績は少しも擧らなかつた様に記憶して居る。

是を要するに政府が金解禁の對策として産業合理化を高調し、是れが實行方法を講究して居るのには、以上の目的即ち大戰後の世界産業の進運に順應せしむる爲に、我が産業組織を統制し、その經營を改善せしむるを急務となしたのである。ニコチン中毒者は健康を恢復する爲には、其を廢めねばならない如く、一國産業の建直しには金本位を復活せしめねばならない。多年の懸案であつた金解禁は遂に去る一月十一日斷行されたのは、國家經濟の上から言つても慶賀すべき事であるが、従來温室育ちであつた花が赤裸々の姿を以て世の中に出た如く、我國民經濟、即ち生産、物價、金利その他一般が國際貨の標準の下に立つたのであるから、官民一致協力してこの難局に善處

しなければならぬ、故に解禁後に於ける産業合理化の成績如何は、我國民經濟生活にとつて緊要な問題と言はねばなるまい。

3. 産業合理化とは何ぞや

産業合理化とは何ぞや、この問題も既に言ひ古るされ、論じ盡された感がないでもないが、この定義をアカデミックな言葉で言へば際限はない。産業の合理化の抽象的概念に、時間と空間とを超越した一つの固定化した内容を與へるのがそもく間違ひである。生産の規格化とか、商品の標準化とか種々な理窟をつければ際限がない。一九二七年七月ジュネーブで開催された國際聯盟の國際經濟會議で採用された合理化なるものゝ定義は「合理化とは勞力及材料の何れについても、その浪費を最少限度に止むる爲め案出された技術及組織の方法を言ふ」のであつて、即ち勞働の科學的組織、材料及び生産物の標準化、生産過程の單純化、運輸販賣組織の改善を包含するのである。文字は簡單にして實に要領を得て居る。

今日我國に於ては合理化の意味と實行の範圍は一定の標準はないようだが、産業界の現状を仔細に觀察すると次の様な内容を持つのではなからうか。

3. 産業合理化とは何ぞや

(イ)即ち金輸出禁止後に於ける我國産業の管理經營が放漫になつてゐたから、これを金本位に引戻して堅實な状態に導くこと。もつとも是は金解禁されて金本位に復した。

(ロ)大戦時代の好況時代の夢が容易に醒めず、事業の經營が投機的に流れて、目前の利害のみに捉はれて居るから、出来るだけ科學的經營になし、その經營組織を最新式に改造する事。

(ハ)各種産業に亘り無謀な競争が行はれて、共倒れの悲境に陥らんとして居るのであるから、この自由競争の弊害を避けて合同乃至協力をなさしむること。

(ニ)國民生活が奢侈となり生活費の膨脹を緊縮生活に引戻して、生産の單純化、能率の増進を計ること。

(ホ)事大思想や官尊民卑の思想が産業界に於て今尙去らず、政府の保護や國家の恩恵を欲求するこの悪思想を排除し、繁文縟禮の法規萬能の産業管理癖を打破すること。

(ヘ)産業界と政治界を厳正に區別し、政治家や政黨員をして産業界に侵入せしめない様にす。即ち従來の政黨員が政治の力を以て浪費の多い選挙費の資源となすに至り、政治の墮落腐敗を誘致し、爲に産業界の健全な發達を阻害して居るからこれを排除すること。

以上の様な諸弊害を改正し、救済し、矯正することがとりも直さず、産業合理化であつて、是非と

も是等の不合理不經濟を合理化せねばならない。

4. 歐米合理化の瞥見

さて、愈々本論に入るに先立つて歐米の合理化運動を瞥見するのも、此際無駄な事でもあるまいと信ずる。

産業合理化の元祖は何と言つてもアメリカである。アメリカに於て合理化が最も効果的になつたのは、一九二〇年以後の事である。即ち生産費低下を目的とする大規模經營、規格の統一、能率の増進、商品の標準化、或は企業の合同等の合理的運動が行はれた。一九二一年の財界の不況を直接の動機としてテラリズムがやかましく論ぜられたのだが、大規模經營は既に一八九〇年トラスト禁止法制定以前に、事業の獨占市價吊上げを直接の目的として行はれて居つた。企業家はこの禁止法に觸れぬ程度に於て大トラストを組織し、企業組織上の進歩と技術上の驚くべき發達と相俟つてアメリカの産業は今日の如き繁榮をもたらしたのである。

企業合同は廣く知られて居るが、その代表的なものはユー・エス・スチールやフォードやゼネラル・モーターズやスタンダード石油會社等であらう。是等の大企業が内部にあつて經營の専門化、

規格の統一化、生産期間の短縮、事務簡捷、販賣技術の改善等のあらゆる方面に亘つて、合理化運動の普及に據つて驚くべき産業界の繁榮を招來した。その結果今日の如き未曾有のアメリカ繁榮となつた。

次ぎはドイツである。大戦後ドイツは一時通貨の膨脹の結果として變態的好景氣を出したが、一九二三年の通貨收縮政策の斷行で經濟界の大混亂となり、諸産業の倒壊が續出し、ドイツの疲弊は深刻化した。更らに翌年二四年、二五年に至り會社も個人企業も極度の破産状態に陥り、所謂經濟國難に直面した。この行詰まれる經濟國難を打開するには、是非とも産業合理化に俟たねばならないとなし、ヒルシュとかケットゲンの如きが奮然と蹴起し、合理化運動を起した。國家的破産より回避する爲に官民協力一致して、企業の内容を整理し、個人孤立主義より企業の大合同に移らしめトラスト、カルテル、コンツェルンの形態の下にあらゆる産業方面に亘つて統制ある組織に變更した。ドイツは死物狂ひになつてラチヨナリジリングに突進した。かくして國家的破産から免れた。

一例を貿易額にとつて見てもわかる通り、ドイツ戦後の貿易は殆んど毎年慘憺たる大逆調を續け一九二五年には三十億ライヒスマーク、一九二七年には三十三億四千六百萬ライヒスマークと云ふ

大な入超を示したのが、合理化運動の結果、その後漸次に改善し、昨年十月迄の成績に徴するに、昨年同期入超額十七億四千二百萬ライヒスマークに對し、出超三萬を擧げるような好成績を示すに至つた。

ドイツが三十億の入超を三億の出超に轉ぜしめたのは、ドイツが頽勢を挽回すべく製品の改良、生産原價の引下げ、販賣の統制、商品の宣傳等に異常な努力を拂つたからである。合理化運動の成功はドイツに復興をもたらし、貿易上に一大轉機を來すに至つた。英國人がドイツの復興の急速なのは一の奇蹟であると驚嘆したのも無理はない。

5. 現内閣のスローガン

ドイツの異常なる努力に對して學ばなければならぬ我等は、此際緊禪一番、多大の緊張を要する。

現内閣は金解禁の重要對策の一として、産業合理化の新旗幟を掲げ、商工審議會の答申案にあるが如く「産業合理化に關する具體的方策はその互る所頗る多方面にして、各國産業状態を異にす。従つて自らその重點も異らざるを得ず。我國に於て能く我が産業の實情に即して有効適切なる方策

を決定し……となし左の諸項目を掲げた。

- 1 官營事業の民營及整理
- 2 企業の合同の促進
- 3 企業聯合その他同業者協定の勸奨
- 4 各企業能率の増進
- 5 政府許可事業の増進
- 6 試研究機關の連絡統一

而して右答申案中に提唱せられた産業の合理化實現のため有力なる中央機關について、從來の如く單に審議會機關たるに止めず、かなり實行機關的意義を含んだ官民協同の強力なる指導機關を設ける爲に、商工省の外局として産業局を設置する事に決し（一月七日）而してこの外局は内閣直屬の臨時産業審議會に於て決定した方策に基き、合理化の實際方法を執行することとし、その事務は企業の合同聯合並に中小工業の統制規格の統一、商取引、市場の合理化を指導する由で誠に結構であるが、その具體的方策を提示しないのは残念である。

この問題を検討するに當り、各方面に亘つて論評するは是の一小篇のなし得べき所でない。故に

特に産業界の心臓とも稱すべき金融の統制並に企業の合同の二重點に就いて、聊か卑見を述べて見たい。

金融の統制

1. 特殊銀行の整理斷行

我が國産業界の心臓とも稱すべき金融界の統制されて居ないのも随分甚しい。金融界の合理化と一口に言へば金融市場を貨幣資本の効度即ち資金の能率を最高度に發揮せしむる様にあり。この使命を完からしめるには金融市場の合理化が行はれなければならない。元來我が國の金融市場は甚だ不合理であつて、何等截然とした區別もなく將又融合統制もなく、目的を異にすべき筈のものが互ひに細張を侵し合つて居る現狀である。

今日全國到る所銀行組合があり、年々銀行大會が開催されて銀行間の聯絡協同がとれて、一見如何にも立派な様に見えるが、素破取付けとか何とかあつた場合何等の助けにもならない。かゝる混亂して居る銀行間の改善即ち合理化するには、先ず第一に金融系統を整理する事にある。實際

1. 特殊銀行の整理斷行

的見地から考へて見ると、實行には種々なる困難があるであらうが、今日の特殊銀行の如きも整理すべき餘地があるのではないか。

特殊銀行は特殊の使命を以て生れたので、その地域や業務等に於ても分野を明瞭にしなければならぬ。但し銀行業務にも共通點も多く、或種の業務の交錯は止むを得まいが、今日特殊銀行の例へば興銀が市街地の建物に手を出したり、勸銀が財團抵當貸方に割り込んだり、鮮銀や臺銀が内地の普通銀行と角逐したり、正金がその他の爲替銀行と海外で喧嘩して居る様な現状では誠に困つたものである。

色々な整理改革案もあるであらうが、勸銀と興銀とを合併せしめ、一つの債券發行銀行を組織して、その中に水産部とか農業部、工業部、或は海事部を設けて長期金融機關たらしめ、尙現存の農工銀行をも合併統一したらどんなものであらうか。勿論素人の書生論と識者に笑はれるかも知れないが。

更らに又東洋拓殖銀行と朝鮮殖産銀行を併合して、一個の有力なる植民地不動産銀行を創設して朝鮮、臺灣、滿洲支那等の拓殖金融に當らしめては如何であらうか。

或は朝鮮、臺灣兩行の内地支店數を縮少し、鮮、臺兩行で發行する兌換券の如きも日本銀行に統

一して、兩行が鮮臺兩地に於て單に商業金融機關として活躍せしむる案の如き。更らに又市中一流銀行の外國爲替業務の發達は特に著しいのであるから、正金銀行の特權は當然廢止さるべきであると思ふが、これは我國の如き中央銀行の金利政策に依つて、金の流出入を統制する事の出来ない國情であるから、政府が一銀行をして爲替銀行中の最優なる地位を占さしめ、それを通じて或る程度の爲替政策を行ふ事が必要であらう。しかし今急に正金の特權を剝奪する事は出来ない論斷するものがあるが、確かに此點を考慮に入れれば急速に正金の特權を取り上げる譯には行くまいが、早晩は廢止さるべきものではなからうか。

2. 商業銀行と信託會社

現行の我が國銀行制度は英國を模倣したものであるけれど、その後種々なる事情により、何時の間にもやら定期預金を中心として企業金融、不動産金融をも行ふ様になり、漸次に變な方面に進んで舞仕つた様だ。それで金融系統の確立を計るには、普通銀行をして商業銀行本來の使命に歸らしむるのが最も重大な事であり、それが爲には定期預金を如何にすべきか當面の問題となつて來るが、茲に見通す事の出来ないのは、最近に於ける信託會社の目醒しい發展である。

一體普通銀行の企業資金供給と定期預金吸収とは、相互に因果關係を有して居るのであるから、何れか一方を断てば、他方も自然と消滅すべきである。近來の如く定期預金が次第に金銭信託に移動しつゝあるのは前記銀行の定期預金と企業資金との因果關係にも變動を來す事は免れない。元來銀行の保有する定期預金は大部分は、貯蓄資金と投資資金とより成るのであるから、之が金銭信託に移つて行くのは當然であるのみならず、有力な信託會社は皆な大銀行と同一系統に屬して居り、銀行の別動隊として靜的資金の吸収を計つて居るのであるから、これは銀行に對してさしたる影響は與へまいと思ふ。

我が國の普通銀行も將來は純粹の商業銀行に轉ずるであらうから、これは自然の推移に委せて、定期預金の流出を防がんとし、金銭信託と種々な制限を加へたり、反對に普通銀行をして俄に企業金融を禁止する様な策をとるのは、策を得たものでない。

信託會社は將來益々巨額の信託預金を擁する事になるから、之を巧みに利用して工業金融に當てるに同時に、信託本來の使命である財産信託の業務を忘れせしめない様にすべきである。

3. 銀行合同の促進

次ぎに改革すべき事は銀行過剰による競争の弊害を除去するには、銀行の合同を促進するより他に良途はない。我が國に於ては、特に金融恐慌以後銀行の合同は着々として進行し、大正十一年末には千七百九十九行を算した普通銀行が、昨年十一月末に至つて全國銀行總數は、一千臺を割つて九百八十九行に減少した。つまり八百十餘行が併合された譯である。最近の大藏省調査によれば全國普通銀行中、休業中のもの一七行休業同様のもの四、五行新規取引の停止を命ぜられて居るもの二一行にして、その他現在營業繼續中の銀行にして合同又は合併を必要とするもの、目下合併交渉中のものが相當あるが、年末までは普通銀行七百臺になるであらうと見られて居る。がしかながら未だ多くの貧弱な銀行があるから、整理せねばならぬ様に思はれる。少くとも五百臺位にしたいものである。

もつとも一昨年一月（昭和三年）から實施された新銀行法の要求する最低資本金額（銀行業は資本金百萬圓以上の株式會社にあらざれば之を營む事を得ず。同法第三條）満たない小銀行は、今後益々合同又は併合されて、新法の趣旨に副ふ様になつて來て群小銀行分立の弊害は餘程除かれて來た。

勿論小銀行にしても經營者その人を得れば、業績も擧り、有用な金融機關となつて居るのである

から、片端から潰して仕舞ふ必要もあるまい企業集中の大勢は近世経済組織の必然的所産であつて銀行合同もその一端に過ぎないのであるから、地方的合同の徹底した後は、追々都市銀行と地方銀行との間にも、合同の熟して来るのは疑のない事實で、現にこの機運が最近濃厚になつて来た。

銀行の合同整理即ち集中化の最も典型的なのは英國であらう。同國は十九世紀の後半期より集中化の機運が濃厚となり、個人銀行の衰微から株式會社銀行となり、更らに地方の銀行が大都市銀行への併合が行はれ今日に於ては全英普通銀行は僅かに三十數行を算するのみで、然も大部分はロンドン・のビツク・ファイヴたる五大銀行（ミッドランド、パークレー、ロイツ、ウエストミンスター・ナショナルプロビンシャル）によつて統一され、預金總額が約八十八%を占めて居るの狀態である。又ドイツでも戦前より地方銀行間の聯合若くは合同、都市大銀行の地方銀行の併合等が行はれ、今日では銀行數が整理され、金融界の統制といふ點に就いては大いに面目を改めて居る。

銀行の整理合同は小銀行が過去に於て財界に各種の悪影響を齎らした苦い經驗から歸納し、是によつて金融界を統制し、その有機的能力を強大にして一般財界に貢献せしめねばならない。

さて銀行合同によつて一番打撃を受けるのは、中小商工階級の金融難であらう。これには種々なる原因もあらうけれども、銀行資金の過半數を擁する五大銀行（三井、三菱、安田、第一、住友）

が中小商工業者の如き、いはゆる庶民階級の金融に關しては、一顧も拂はないのに原因して居る。勿論庶民金融の機關としては、信用組合や公設質屋の如き、そのみを目的とするものがある。中小商工業者の金融の如きは、大銀行が主としてその需要に應ずべきものでないのは當然であるが、大銀行がその遊資を中小商工業者に融通する事は、大銀行の本分に背くものでなく、産業發展策の上から考へても、實際的に有効有意義の融資である。

又中小商工業者の中にはその對人的信用に於て極めて確實優良な者もあつて、是等の人の連帯保險の如きは値下りの恐れある、有價證券その他物的信用よりも寧ろ確實なものもある。

庶民金融に大銀行が乗り出した一例は、一昨年米國のナショナル・シチー銀行が、サラリーマンに對する小額の信用貸付を開始した事があつたが、最近我國でも安田系の日本晝夜銀行もこれと同様な貸出しを開始した事は頗る有意義なる企てと言はねばならない。

4. 比例準備法の提唱

金融市場合理化の根本問題は、日本銀行の兌換發行制度の改革問題であるが、これは餘程前から識者の間に論議されて來たのである。金解禁に際して正貨準備と兌換券との關係に就いて最も問題

となつて居るのは、保證準備發行制限額の擴張であつて、現在の様な制限外發行が頻發する様ではこの要求は當を得たものと言はねばなるまい。比例準備法の提唱される所以である。

それならば、比例準備法と屈伸制限法とは何れが優るかと言ふ問題は非常に議論のある所であるがこれは中央銀行の信用管理や通貨政策の遣り方さへ理想的にやれば、どちらの制度でも良いのではないかと思ふ。併し人間の智力はまだそこまで發達せず、權力の濫用の傾向や、通貨の不當な濫發の惧が絶無とは言へない。であるから何等かの制限を設けなければならぬと思ふが、併しながら過去の經驗は屈伸制限法の失敗を物語つて居る。即ち非常手段たる物限外發行の頻發がそれである。

明治二十一年この制度が出来てから、制限外發行をしなかつた年は明治二十一年、二年、二十四年、二十六年、三十六年だけである。殊に近年は年末になると五億乃至六億圓の巨額な制限外發行する事があり、制限外發行するのが常態の様になつて來て居る。所が立法の手段は制限外發行は非常手段となつて居り、この解釋から見れば始終非常手段を用ひねばならないとするのが、我國經濟界の實狀であつたのである。

この非常手段は非常手段として少しも意味をなさない。非常手段でないものを非常手段として居るのは、間違つて居ると言はねばならぬ。だからこの制限外發行制度を改正するよりも、一歩進めて比例準備法を採用したら良いと思ふ。

然らば、比例準備法を採用するに當つて、正貨準備の何倍まで兌換券の發行を許すべきかは、理論上の確定數を得る事は困難な事である。これは理論上正確な數を擧げる事が出来ない以上は、先進國の採用して居る定率を基準とし、是に種々なる我國の事情を酌量して準備率を求むるより外はない。

その對策として三分の一正貨準備法が提唱されて居るが、これは學理的根據がある譯ではなく、銀行券の兌換券がこの割合の正貨で十分保證されるし、また正貨の三倍まで發行される事によつて銀行券の伸縮力も相當に利用され得ると信ぜられるからである。

歐米に於て、最初はイングランド銀行が多年經驗上から預金と銀行券との三分の一を保有する内規を作つて、それに従つて居たに過ぎなかつた。これをヨーロッパ大陸諸國が輸入して法規の明文としたのである。米國の聯邦準備銀行が始めとし、諸國の中央銀行が續々と三割乃至四割比例準備法を採用し、ドイツ新中央銀行もフランス銀行もこれに倣つた。

以上の如く今日歐米主要國が殆んど皆な比例準備法に據り、且つその標準となるべき國の準備率

(三分の一乃至四割)は、一般に肯定されて居る以上、是に基いて比例準備率を定むるのも強ち無理ではあるまい。

現在の日本銀行兌換制度を改革するには、保證準備發行制限額の擴張と言ふ様な姑息な處置を排して、一舉に比例準備法を採用したらどんなものか。

要するに金解禁後の我國の金融制度は、根本的に建直さねば、激烈なる國際經濟戰に處して優勝者たる事は出来ない。我國朝野の識者がこの金融制度の改善問題に對して、慎重なる態度と非常なる覺悟を以て望まねばならないと思ふ。

企業の合同

1. 互ひに墓穴を掘つて居る現状

次に事業の統制と言ふ事であるが、我が國産業界を直視するものは、誰しも群小の企業が亂雑無秩序で、無謀の競争によつて相互に苦しんで居る事を發見するであらう。翻つて考へるに我が國産重要輸出品がこれ等中小工業の生産にかゝるのが多いのであるから、中小工業に統制を與へる事は

とりも直さず輸出貿易の振興を計る事である。

更らに又大規模工業も相互に聯絡協定する事を忘れ、不正な競争や、無謀な投資によつて、互ひに墓穴を掘つて居る現状では、今日激烈な國際經濟戰に勝利を得る事は到底望まれない。我が國の産業合理化の重點は何より先づ第一に事業の統制に置かねばならない。如何なる事業に如何なる統制を與ふべきかの具體的方策としては、産業審議會で調査して居るが、一月九日審議會で發表した産業及經濟更新に關する大綱は左の如くである。

- 一、企業の統制
 - イ、企業の合同及聯合
 - ロ、中小工業の規律
- 二、能率の増進
 - イ、科學的監理法の實施
 - ロ、製品の規格統一
 - ハ、製品の單純化
- 三、基礎工業の確立
- 四、原始産業の工業化
- 五、國産品使用の奨勵
- 六、産業金融の改善
- 七、販賣制度の合理化
- 八、産業信用の確保

1. 互ひに墓穴を掘つて居る現状

九、世界經濟に對する對策樹立

審議會の決議事項は堂々として立派なものであるが、従來の如く單に決議したのみでは何の役にも立たない。要は實行如何である。

2・アメリカの統制事情

審議會の決定した九大項目は大部アメリカ流を模倣した様であるが、事業合同の最も徹底し且つ模範的なのはアメリカである。

歐洲大戰中異常な發達を遂げた同國は、戦後の反動に直面して、整理合同の必要に迫られて來た。アメリカの事業家は銀行家と協力して、能く事業の整理合同に成功した。自動車業、製鋼業、電気機械業、石油業、鐵道業等に於て皆然りで、事業の統制運動は繼續せられた。

アメリカの事業統制運動の統制組織は領る鞏固で、持株會社に於て被統制會社の株式を所有したり、統制會社自身が株式を持つたり、或は統制會社の支配下にある會社をして持たしたり、或は双方大會社で合併が困難の場合や、合併會社の多數な時は持株會社を作つて株式を所有して統制することもある。

アメリカの事業會社は法律上は一箇の獨立會社であつても、經營上に於ては親會社に統制せられて居るものが澤山ある。例へば電気事業の如きも、營業會社四千四百九社に上つて居るけれども、大部分は百八十の持株會社にはつて統制せられて居る。有名なユー・エス・スチール會社はカーネギー・スチール會社、アメリカン・スチール・エンド・ワイヤー會社等を始めとし、三十有餘會社を支配し、その合同資産二十四億五千四百萬弗に上つて居り、ゼネラル・モーターズ會社の如きは製造會社、組立會社、販賣會社、金融會社等四十六社を支配して、合同資産は十億弗以上であるとの事である。

かくの如き事業の合同により資本の濫費を防ぎ、經費を節約し、金融を容易にし、事業全體の能率を増進し、統一された製品によつて生産費の低減を計る事が出來たのである。

3・獨英の統制成績

又ドイツの如きも大戰後事業界は戦争とインフレーションの爲、他の諸國に比し數倍の困難に遭遇したので、この難關を打開する爲に所謂ラチヨナルヂーリングの警語の下に、カルテル、トラスト、コンツェルン等の形式の下に事業の統制を斷行した。

大戦前に於ては大部分は生産の協定、販賣價格の協定等に過ぎなかつたが、最近の傾向は事業全體の結合及統一となつて現はれて來た。

例へばライン・ウエストフアーレン石炭シンヂケートの如きは、一八九三年組織された當時は千二百の獨立した鑛山會社があつて、總産額僅に三百萬噸に過ぎなかつたのが、今日に於て合計の數は四分の一に減少し、産額は千萬噸を超えて居るが如き、又加理工業も先年二箇のシンヂケートが出来て、この二會社で全生産額の九割を支配して居るが如きこの事業統制の大勢を如實に物語つて居る。

つまり従來の如き生産や販賣の如きなまぬるい協定を一蹴して、アメリカの様な資本的統制して事業の全體の經營を集中しなければ、眞に能率を増進し生産費の低減を計り、國際競争に打勝つ事の出來ないのを悟つたからである。

英國は従來個人主義的傳統觀念に禍されて、事業統制とか合理的經營とかは、主唱する者はあつても中々實現を見るに至らなかつた。然るに先年の總同盟罷業以來事業不振を極め、産業界の衰微を招き、失業者の續失のため國民一般が慘苦を如實に嘗めたので、茲に始めて事業整理合同の必要に迫られて、石炭、造船、製鐵、製鋼、棉業等に亘つて整理合同が斷行せられた。造船界に於ける

ピツカースとアームストロングの兩社が合同して、資本金二千八百五十萬磅のピツカース・アームストロング會社を作り、石炭業に於てはオーシヤン・コール・エンド・ウイルソン株式會社はユナイテッド・ナショナル・コリアリス會社の總株式八十萬磅を賣收して、資本金六百萬磅の大會社となり、又化學工業に於てはプラナモンド會社、ノーベル工業會社、共同アルカリ會社、共同染料會社の四社が共同して資本金五千六百萬磅のエンバイヤー化學工業會社を組織したのはその著しい例である。

4・日本産業界の現状

翻つて我が國の事業界の現状を見ると大戦後の反動や、大震災後の影響、或は昭和二年の金融恐慌により各種事業の統制の必要が痛切に感ぜられ、ポツリ／＼と整理合同せられて來たが、まだ合同すべき分野があるのではなからうか。

一體我が國の企業家は目先に捉はれ易く、少しでも儲かりそうに見えると將來の需給關係等に留意せずドシ／＼生産設備の新設擴張を續け、結局生産能力の過剰を來たし、無謀な販賣競争を行ひ、共倒れとなるのが多い。

のみならず各種事業會社の經營者が一般に協調心に乏しく、且つ他店の生産計劃をも顧みないで無暗みに擴張計劃を遂行し、之が生産能力過剰と資金難とを招來し、延いて販賣戰術を激烈ならしめたり、或は又同種企業内に原料品製造會社と精製品製造會社及び製造會社と販賣會社との有機的聯絡を缺き、その間需給の喰ひ違ひによつて無用の資本と勞力を浪費して居るのであるから、是等の弊害を矯正し、事業界の統制を行はんとするには、まづ横斷的統制策として、同業者中合併に適當するものは合併せしめて企業數の減少を計ると共に、他方同業者間を聯絡するカルテルを組織し各社が協調の上誠意を以て價格の協定を嚴守すると共に、他方資金難より來る投資を防止する爲に共同販賣制度を採用し、カルテル加盟各社相互間に生産能力の融通を行ひ、これより生ずる利益を各加盟會社間配當する事。

或は又縱斷的統制策として、原料品精製品製造會社と販賣會社との分離により、その間に介在する需給の違ひによる競争と矛盾を避くるため、是等各段階の會社を合併せしめるか、或はカルテル、コンツェルン等の形態を採らしめ、その間に聯絡と結合を鞏固ならしめねばならない。この意見は我が國の産業界に數年前から主唱され、又一部分は實行されて來た。然し英米獨に行はれて來た事業合同運動に比して未だ徹底されない怨みがある。

5. 産業統制と失業問題

日本に於ける産業統制運動が、朝野の間に眞險になつてその必要が認められ、その實行が具體化せられて來たのは、金解禁後の對策としてこの統制によらなければ、國際經濟戰の落伍者より免れんと自覺したによる。然しながら茲に識者の注意を促さなければならぬのは失業問題である。

昨年十月一日現在による全國失業者は二十九萬餘人……實際はもつと多い……で九月一日に比して二萬餘人の増加である。兎に角失業者は漸増の形勢にある事だけは否れない。現に最近の日本石油會社の従業員淘汰や、合同毛織の破綻による工場閉鎖や、東京市吏員の馘首の如き各種産業や公共團體に亘つてこの種の失業者は増加の一途を辿るであらう。金解禁後の朝野の努力による産業合理化が具體化せられるに及んで、此種の失業者は過度的現象として避け得られないであらう。企業合同統制乃至科學的管理法の實施は窮局に於ては、事業の擴張、産業の勃興となつて現在以上の勞動力を吸収するかも知れないが、一時の失業は免れないであらう。更らに中小工業者の行詰りも亦止むを得ない事であらう。

無産黨方面では金解禁の結果は恐らく經濟界の不況を一層深刻ならしめ、全民衆の生活はより窮

迫に陥るであらうとなし、産業合理化は結局労働階級を犠牲にせんとする資本家の巧妙なる搾取手段であつて、必ずや国内製品の生産費低減を名とし労働者の賃金値下げと労働時間の延長が行はれ、多数の失業者が街頭に投げ出されるのであるからと反対して居るが、しかしながら公正な見地から率直に言へば、何人の眼にも既に顯著な不合理な経済組織状態に、無理矢理に踏み止らんとする彼等の主張には到底常識的に想像する事を得ない。

單に前掲した産業審議會の決議した九項目のみが主要なものであつたとするならば、労働階級の利害を思ふ人々の不満不平のある事は當然である。それは明白に労働力需要の減少を提唱して居つて、失業した人々を何れの方面へ新に振向けるかに就て論及して居ない。一般労働者及勤勞階級は、国力充實の希望の前に先づ眼前の失業苦を痛切に味はなければならぬ。だからひとり、無産階級のみならず、爲世家が産業合理化と失業者救済問題の關係の緩急と得失とを更らに綿密に調査討究すべしと叫ぶのも故ありと言ふべしである。

政府でも、この點に留意して、社會政策審議會に於て失業對策として、職業紹介機關の整備充實とか、職業指導の徹底とか、失業救済制度の普及發達とか、失業保險乃至失業基金制度の調査とか、産業の發達國産品獎勵を答申して居るが、どの程度まで果して失業緩和に成功するか樂觀を許

さない。恐らくは二階から目薬の程度ではなからうか。

今後愈々顯著となる産業の統制即ち大規模生産組織の結果、失業の増加、中商工階級の没落は不可避としても、茲に吾々の留意しなければならないのは、例へば對支輸出に於ける現在の中商工業の地位が如何に重大であつたかを想倒する時、國際貸借改善の爲めにも、失業者には職業紹介機關の擴張、失業保險制度、中商工業には金融制度の改善、輸出組合制度の完成その他の方法で是非とも保護しなければならぬ。産業合理化と失業者救済は如何にも矛盾する様ではあるが、茲に日本産業合理化運動の特殊性のある事を指摘して朝野の注意を促したいと思ふのである。

歐洲經濟軍縮會議

世界の平和は經濟協調より

1. 瀕死のヨーロッパ經濟

招待された宴會の席上でヤンキー嬢はフライから喰ひたいと言ふ。日本ムスメは妾はスープで結構といふ。パリー嬢はみなコーヒーを飲むのはよしませうと云へば、黒シャツ君は宴會は半年ばかり延期せよと先走つた事を言ふ。

メニユーを定めないジョンブル獨爺も良くないが、招かれたお客も無作法だ。これではいくら経つてもロンドン軍縮會議は埒があきさうにもない。

海軍々縮會議が小田原評定をやつて居る時に當つて、ヨーロッパの一角ジュネーヴでは、經濟軍縮會議が開かれ、既に關稅競争停止の協定が結ばれた事は何と皮肉なことであらう。

關稅休日會議が、とも角、向ふ一ケ年間通商條約を現狀の儘に維持することに成功したことは、ヨーロッパ經濟界と一道の光明を與へたものといはねならない。

回顧すると、世界大戦後のヨーロッパ大陸に於ては、聯合國と舊同盟國間に敵愾心が深く根ざし、動もすれば再び開戦の暗雲がみなぎり、ドイツとフランス、ポーランドとロシア、イタリーとユーゴスラビア、ハンガリーとチエツコ・スロバキア等の諸國間には幾多の戦争の危機を孕み、これら諸國間の政治的紛争の解決を圖るべく、種々なる國際會議が催された。

そして、先年のロカルノ條約が締結されるに至つて、始めてヨーロッパに平和の曙光が輝き出したとて、祝盃を擧げてホツト一息いつたのであつたが、しかし、各國政治の頭を強く叩いたのは、ヨーロッパが今や正に經濟的に瀕死の状態にあることであつた。

この經濟的行詰りには種々なる原因があるが、一方には、大戦によつて新たに興つたユーゴスラビア、チエツコ・スロバキア、ポーランド、リツアニア等の諸小國のみならず、敗戦の苦盃を嘗めさせられ、領土を分割され、政治的にも經濟的にも著しく壓迫されたドイツ、オースタリー、ハンガリー、トルコ等の諸國が、自己の生存を維持するがため、又自國の産業を保護するために、非常に極端な保護政策を採るに至つたからである。

又他方に於ては、その他の戰勝國がベルサイユ會議當時發揮された、平和的協調心が日増とその影が薄くなり、國家主義的となり、反動的となり、産業貿易政策に極端な自給自足政策を採り、關

稅政策は益々保護的色彩が濃厚となつた結果、相互の通商貿易は極度に萎縮した。

かくして保護主義に必然伴ふ報復手段として、互ひに相手の鼻を殺ぎ、耳を切取るの暴舉をなし極端な自給自足主義は、章魚が自分の足を喰ふが如く、自國産業を自滅の淵に陥し入れつゝあることを自覺しないのであつた。

2. 武力戦より經濟戦へ

戦後の各國の保護貿易政策を促した原因は、上述の如くであるが、大戦後各國理想家の夢想した單純な自由貿易制度の下に、友誼的態度を以て生産品を交換する。經濟的不和時代の到來は見事に裏切られ、事實は反對の方向を辿るに至つた。

それは實にデル・ドーンが指摘した如く「歐洲新興諸國民は、ドイツの軍國主義帝國主義の眞似をなし」戦場に於ける武力闘争は、同様に激烈なる經濟闘争に變り「戦時の準備として、歐洲諸國は原料及び製品に關し、極力自給自足主義を採用し始めた」のであつて、「これ程大なる幻滅はなかつた」のである。

各國は保護政策を益々強調する反面に於て、國際協力により自由貿易を採るべしと説く者もない

ではなかつたが、何れにしても何等の反響をも與なかつた。自ら率先して際税率を引下げる國もなく、さればとて相手國の引下げを持つてゐても中々下げる様子も見えず、ヨーロッパ大小二十七人の男が、一つの大きな煮え湯の中に浸り、熱いのをジツト顔を眞赤にしながら我慢して、誰れが先へ湯槽の外へ飛び出すだらうと待つてゐるやうなものだ。

このまゝに放任して置けばヨーロッパは滅亡だと、最初に悲鳴を擧げたのが、フランスのルシユールである。彼は第六回國際聯盟總會（一九二五年）に於て「ヨーロッパが經濟的滅亡より免れ、そして一般的繁榮を招來するためにこの難關を突破し、紛争を避くる最良の方法を探らねばならぬ」と喝破した。

これに刺戟されて世界の五十ヶ國は一九二七年五月ジュネーヴに集り、最も卒直に赤裸々に經濟的行詰りの打開策を論議した。そして、世界大戦後各國が採つて來た極端な保護關稅又は通商の自由を妨ぐるやうな政策は、これを撤廢又は輕減しなければならぬ」との勸告的の決議をなした。この勸告に對し各國は何等の反對すべき理由もないので、双手を擧げて賛成したのであつた。

3. ヨーロッパ經濟聯盟案

國際經濟會議で決議した自由通商主義の採用は、當時各國政府に依つて原則的に承認せられ、熱心な賛意が表せられたが、各國の關稅政策は事實は反對に益々保護主義に傾いた。

この形式を見たアリスチード・ブリアンは、昨年の第十回聯盟總會開催の数ヶ月前に、早くもヨーロッパ經濟聯盟案なるものを發表して、各國政治家の注意を喚起した。

かくして昨年九月ジュネーヴで開催せられた第十回聯盟總會の第二日目（九月三日）に、英國首相マクドナルドは關稅競争の弊害を阻止すべく、「今日の如き關稅制度の下では、吾等は恰も混亂せる自由貿易の下に於けると同じく貧乏と安い賃金と、失業と階級闘争を持たねばならない」と宣言し、最後に「政治的協約を經濟的協定と翻譯せんとするあらゆる試みに對し、英國は助力を吝まなうであらう」と第一矢を放つた。

次いでベルギー外相のイーマンスは一九二七年國際經濟會議の結果、第一に締結せられた輸出入禁止及制限の撤廢に關する國際條約を列國が批准すべきであると、各國政府に對し手厳しく攻撃を加へた。

そしてその言論中にサー・クライヴ・モリソンベルの作つた、巧妙なヨーロッパ關稅障壁地圖を引用して、關稅の低減は斷乎たる決心を以て、遂行せられねばならぬとし、保護關稅は依然として

激烈であるから、同様の經濟狀態にある諸國間に於て、關稅低減及び經濟的休戰の第一の階梯として、關稅率を引上げないやうにすべきであると語を結んだ。

4・關稅休戰案の提案

更にドイツの外相ストレーゼマンも同一問題につき演説を試み「大思想も始めは愚鈍の様に見える」といふドイツ詩人の言を引用して、關稅増率停止といふが如き事は、實現不可能な愚鈍者の考へるものゝ様に見えるが、近き將來に於て各國が稅率低下の必要に迫られる時期が來るであらう。今日南部ドイツと東京間の旅行日數を、二十日以内に短縮せんとする努力が試られてゐるに拘らず他方ヨーロッパの鐵道旅行に、稅關手續の爲各國境で汽車が止められることは不可解だといつた。更に彼は語調を進めて、ヨーロッパに於ける通貨並に郵便切手の統一を擧げ、ドイツは商業交通を促進し、關稅増率を停止する如何なる措置にも喜んで討議するに吝なるものでないと述べた。

英國商相グラハムは、一億二千萬の人口を有し、各州内に自由に貨物を交換してゐるアメリカは二十七ヶ國の國境によつて通商を阻害されてゐるヨーロッパ以上に、利益を得てゐることを指摘し、イーマンのス提案した關稅休戰期間を二ヶ年にすべきことを要望した。

右の提案は第二部委員會に附託され、充分に考究した結果、關稅休日豫備草案を起草した。

本案は二十ヶ條よりなり、第一條、七條、第十二條は締結國の義務を規定し、第八條、第十一條は締結國の義務に對する例外、第十三條は他の條約との關係、第十四條は條約疑義の解決、第十五條より第二十條までは條約の効力發生、その範圍及期間に關するもの、第二十二條は單に關稅の休戰に止らず、締結國の經濟關係の促進、通商障害除去の爲一層積極的の商議を行はんとする、將來の行動を規定したものである。

5・休戰會議開かる

さて、ヨーロッパに一時代を劃すべき、關稅休戰會議は去る二月十七日より三月二十四日迄、約五週間に亘つて開催された。

會場はジュネーヴの聯盟事務局ガラスの間で、デンマークの前外相モルトケ伯が議長となり、參加國三十ヶ國、ヨーロッパ二十七ヶ國（アルバニアは不参加）の外、ヨーロッパ以外の國は日本、コロンビア、ペルーの三ヶ國で、その外單にオプザーヴァーとして派遣した國は、ブラジル、支那、キューバ、メキシコ、ペルシャ、米國及びドミニカの七共和國で、英國自治領の南阿聯邦、オースト

ラリア、カナダ、インド、ニュージーランドは姿を見せなかつた。

關稅休日會議は劈頭に議長モルトケ伯の演説により始り、伯はその演説中に於て、本會議特にヨーロッパの經濟的事情に直面した、ヨーロッパだけの會議であることに注意を喚起し、今回の關稅會議はその字句に於て餘りに強過ぎるから、「經濟的一致行動を執る目的の豫備會議」といふ長たらしい名をつけた。

次に通商條約の問題に言及し、各國はその通商政策上、一方は國內生産業者のために國內市場を確保し、他方海外市場の開拓を圖らんとする、二つの矛盾する目的を抱いてゐる點を指摘し、互諒的精神を持たねば到底ヨーロッパの繁榮を招來することは出来ぬ。故に、共同的通商條約の締結は頗る複雑であるが、もし満足に行はれるならヨーロッパの受ける利益は莫大であらうと述べた。

次に本會議の生みの親とも言ふべき、ベルギー外相のイーマンスは、先づ會議の目的と精神を明らかにし、種々なる關稅休戰案の反對論に反駁を加へた後に、關稅休日は凡ての國の利益を目標として締結さるべきであつて、若しこの會議が失敗したならばヨーロッパは再び關稅競争に狂奔し、小國の生産品の輸出は不可能となり、右商品が各自の國內に蓄積せられる結果に陥るから、大

國はよろしくヨーロッパの經濟的没落を招くが如き政策は避くべきであるとして、ヨーロッパ大國に警告を與へ、最後にヨーロッパの經濟的軍縮は、關稅休日により達せらるべく、これこそブリアンの理想とするヨーロッパ經濟聯盟に對する根本的條件であると述べた。

イーマンスと共に本會議の二大立役者である英國商相グラハムは、今回の會議の目的として居る所は、現行關稅率を今後二年乃至三年間安定せしめんとするのではなく、諸國がその關稅を増加し又は通商上の障害を新たに設定しない事を約束するにあつて、その後この有利なる狀勢の下にあつて、關稅率を出來得る限り引下げんとするのが目的であるとなし、更に關稅を商品別にするか、一般的引下げによるか、その商議の方法問題を考究する委員會の設置されん事を提議し、關稅休日の開始に就いて、一九二九年十月一日、休日期間は二年とすべき事を提議し、保護的關稅を目標としない、財政的課稅に關しては、今日の世界經濟事情より見て、當然これを認むべきであると強調した。

6. 經濟的没落打開の途

次にドイツの首席代表のシュミットは、經濟的提携は、國際聯盟の組織に基き世界的に解決す

るか、或は大陸別又は國家集團別に適用する事によつて解決するか、その何れかの方法によらねばならないとなした。この會議の目的はヨーロッパの經濟的困難の切抜けを圖るにある故に會議は純然たるヨーロッパの會議たるべしと主張し、今日ヨーロッパに於ける關稅引上傾向を指摘し、ヨーロッパ二十七ヶ國中昨年七月以來關稅引上を行はない國は、僅か十三ヶ國に過ぎない。然もこの十三ヶ國中六ヶ國は目下引上を圖つてゐると述べた。

更に彼は自國の現狀を説明し、資本缺乏、賠償金支拂、失業續出、農業不況、合理化に伴ふドイツ財界の不安狀態を説き、祖國と共にヨーロッパ經濟建直しの必要を力説した。

イタリー労働産業相ボタイは、關稅休日時期尙早であるとして會議に反對し、その理由として會議の目的が或は經濟的一致行動と言はれ、或は關稅休日と稱へられ、その何れかに判明しない。關稅問題に關し二國間の行動に代ふるに、共同的行動を以てせんとするは果して賢明な策であるか否かを疑ふ。特に或る種商品の關稅引下げの共同的行動に關する研究に於て然りであつて、多邊的協定に反對である。勿論關稅休日が出來れば、經濟狀態の安定される事は事實であるが、然し自國の必要に基いて經濟政策を樹てつゝある國にとつて、この安定は有害になるかも知れない。のみならずアメリカのごとき有力な國が參加して居ないのである。到底所期の目的を達することは出來ぬ。結局

現代の事情の下に於て關稅休日は尙早であるとの意見を開陳した。

7. ヨーロッパの經濟的將來

以上は一般討議に於ける各國代表者の演説であるが、その他チエコ・スロバキア、ルマニア、ハンガリー、リツアニア、ユーゴスラビア等の農業國は、各自の農業的事情の考慮すべきことを條件として賛成し、ポーランドとラトヴィアは各國の經濟制度や組織の相違に就いて考慮すべき事を條件とし賛成し、スペインとポルトガルは自國の特殊の立場を述べて保留をなした。

然らば我國に如何かと言ふに、我國代表の駐士大使吉田伊三郎氏は、三月二十四日の最終日に於て、「目下協議されつゝある關係休日案は、ヨーロッパ諸國間のみの協定であるから、日本としてはアメリカ、支那、オーストラリア、インド、カナダの如き日本と關係の深い他の大陸が、調印に參加せぬ限り調印は不可能である」となして參加し難い旨を述べたのは、日本としては當然の措置だと言はねばならぬ。

とに角、休日會議は二月二十二日より委員會に移り、幾多の迂餘曲折を経て關稅休日豫備草案の大修正を経て、結局三月二十四日に協定に調印を見るに至つたのである。

しかし、その協定は吾等が豫期したより遙かに骨拔案であつた。即ち、

(一) 向ふ一ヶ年間通商條約を現状の儘に維持する協定。

これは参加三十ヶ國中十一ヶ國によつて調印せられたに過ぎない。イギリス、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、デンマーク等の諸國が調印してゐる。

(二) 將來の交渉プログラムに關する議定書(調印國十五ヶ國)

協定成立は以上の如くであるが、ヨーロッパ關稅休戰會議といふが如き大事業は、到底短日月の間に成功すべきものでない。それは將來の各國の絶えざる努力と協調に俟たねばならぬ事は言ふまでもない。

今回の協定の成立は今や經濟的に臨終の息を吐きつゝある瀕死の病人に、カンフル注射をつぎこんだ様なものであり、注射の結果によつては、瀕死の病人が健康を恢復し、ヨーロッパの没落より復興へ、衰滅より繁榮への道を辿るかも知れない。

經濟的ロカルノ一丁目を歩みつゝあるヨーロッパの經濟的將來は、果して繁榮の曙光が輝き出すであらうか。

この答に對し、私は休日會議最終日に、議長モルトケ伯の試みた閉會の辭を左に掲げてその返答

としない。

「今回の會議の財果は我々の希望や期待に満足を與へるものでなかつたが、然し我々は今回の會議によつて經濟的相互諒解に向ふべき第一歩を踏み出したものであり、ヨーロッパは經濟的没落より救はれ、やがて一般的繁榮を招來するであらうことを確關する。」

國際貸借改善一施設としての

輸出補償制度

1. 輸出補償案の誕生

深刻な不景氣を打開し、行き詰まれる産業界の恢復を計るには、輸出貿易を發展せしめなければならぬ。現内閣はそのスローガンの一として、國際貸借の改善を掲げ、その一施設として「輸出補償制度」なるものが、商工省の事業として計畫され、昭和五年度の豫算に經費二十萬圓が計上された。

一體輸出補償制度とはどんなものである。かその大體の主旨を要約すれば海外新市場の開拓を目的とし、商取引上危険の多い地域に對する輸出に限り、國庫がその損失を補償すると言ふ制度である。一例を擧げて言へば、ロシアがバルカン地方とか或は東アフリカ等へ我が國商品を輸出し、その賣掛代金が取れない場合に、その輸出商人が受けた損害高の七割とか八割を、政府が出してやることである。

であるから従来商取引上危険の多いと思はれた、ロシアとか、アフリカとか、南アメリカ等へ、政府が補償して呉れるなら安心して商賣が出来るので今まで尻込みして居た者が、ドシ／＼出掛けに行つた商賣をする。

であるから輸出振興のためのこの補償制度が、今期議會の協賛を経れば、本年四月一日より五萬圓の経費で新設されることになつて居る貿易局に、補償課と稱する一課を設けて、その事務を採ることになつて居るが、海外貿易振興のためにタツタ五萬圓の経費で貿易局を新設したところで、早急に輸出貿易が旺んになるものではないが、若しもこの輸出補償制度が今期議會を通過すれば、本年（昭和五年）の十月よりこれが實施されるのであるから、不振を極めて居る我が國輸出貿易に、多少の活氣は與へるであらう。

輸出貿易業者に對して、何等かの形に於て、金融施設を設けなければならないとする議論は、既に歐洲大戰直後に、我國朝野の識者によつて叫ばれて居た。商工省もこの大勢を洞察して、大戰後歐米諸國に蠶食された海外の新販路を、如何にして取り戻すべきかに苦心して、大正十五年に「歐米諸國の補償制度」を調査研究し、大體の主旨をまとめて、新たに設立された商工審議會に参考案として提示した。

審議會では數回の小委員會で協議を重ねた結果、遂に昭和二年十月に至り輸出補償制度の要綱をまとめ、これを當局に答申した。しかも今回提案された補償制度も、大體それを骨子としたものであることは言ふまでもなく。

2. 國際商戰の新武器

言ふまでもなく今の世界經濟は、國民經濟對立の時代で、對外貿易は平和的であるが、しかも激烈な國際競争である。故に外國の競争者と對抗して、目的市場を獲得し、これに優勝者の地位を占めるためには、その取引條件が例へば商品價格の低廉とか、支拂期間の延長とか、何等かの點に於て、相手に優るところがなければならぬ。それは至極簡單明瞭である。商品の品質が低廉優良であること、言ひ換へれば安くて良い品を供給するにある。また決済の條件に於て、代金決済に長い信用を與へることである。理論はかく簡單であるが、實際取引ではかく簡單ではあり得ない。

然るに歐洲大戰後、各國はこの決済方面に、多大の不安と危険が生じて來た。即ち大戰勃發以來露獨兩國の革命や、支那、ギリシヤ、メキシコ等の内亂暴動や、トルコの革命、エジプトの反亂、印度の動搖の爲め、歐洲大陸諸國の經濟狀態は蜂の巢を突いた様な騒ぎで、それに續いてマーク貨

やフラン貨の大惨落などがあり、経済界の大混乱、商工業者の倒産者が続出したので、對外貿易に於ける信用取引を、極度の不安に陥らしめたのである。

かかる取引危険の國々と、特にロシアの如き國との商取引には、保険制度が必要であることを痛切に感じたのである。

更にまた一般貿易業界の傾向として各國の輸出業者が競つて長期信用をその商策 (Business Policy) に採用したので、輸出信用の長ければ長いほど、著しく不拂の危険率が増して來た。こゝに於て一般貿易業者間に、輸出信用に關する保険制度の必要が叫ばれて來た。

歐洲各國は、殊に英佛獨伊諸國の如きは、その疲弊せる自國の産業を恢復し、海外貿易の發展を計るには、新たに海外市場を獲得しなければならぬ。新市場を獲得しようとするならば輸出信用制度が最も良い政策であるとなし、その發達促進に努力するに至つたのである。

今日歐米各國中この輸出補償制度を實施して居る國は、英、米、獨、白、澳、ノルウエー、アルゼンチン等の諸國で、中でも獨逸が一番古く、ノルウエーが最も遅く、一昨年 (昭和三年) に實施したのである。現在實施されてゐる七ヶ國の中で、米國だけが民營で、他は何れも政府の事業であつて各國ともみな相當成績を擧げて居る。

3. 英國の現行制度

英國は一九一七年四月英國貿易會社を設立し、次いで一九一八年に輸出信用保險を目的とする貿易補償會社の設立を見、同様に輸出貿易業者に對する金融業務を營んで居た。續いて一九一九年商務省に輸出信用局が新設され、輸出資金前貸制度が實施され、二千六百萬ポンドを限つて、歐洲新興國並にバルカン地方に對する輸出爲替手形に前貸の形式によつて信用を與へ、更に一九二〇年八月、海外貿易 (信用並に保險) 法の公布を見、前貸制度とほぼ同様の施設を行つた。同法は後に一九二一年並に一九二四年公布の商業助成法によつて修正され、一九二六年に現行の輸出信用保險制度 (The Export Credits Guarantee Scheme) が實施された。

本制度の運用を掌らしむるがため、海外貿易局内に新たに輸出信用課を設け、同課は課長と次長二名の外四十名の職員より成り、首腦者は何れも國際經濟、財政その他の事情に通曉し、且つ信用保險及一般商取引に經驗ある者で、同課は荷受人の信用調査に最も苦心をなし、常に國際通商に經驗ある銀行業者と絶えず密接なる關係を保ち、所謂 Personal Contract により各種の情報を蒐集して居る。

同課が保証するには、有力なる實業家より成る諮問委員會の審査を経るのであるが、申請金額が一萬ポンド未満の場合に於ては、課長の獨斷を以て保証の適否、保證金額、保證料、手数料等を定め得る自由裁量が、與へられて居るのである。

かくしてその成績頗る見るものがあり、一九二八年七月實施期間満了となつたが、一九三一年まで延長し、昨年労働黨内閣でもこの制度の存立理由を認め、その適用の範圍を擴張し、ロシアも加へるに至つた。(昭和四年八月一日)

4. 獨米兩國の現行制度

獨逸國民も、早くより外國貿易の重大性を認め、これが方策として既に歐洲大戰以前、輸出信用保險の實質に相當する制度を實施して居た。この制度は一種の保險制度であつたが、保險會社で行はれたのではなく、主として普通銀行の副業の一として行はれてゐた。即ち輸出商の振出した輸入商宛爲替手形を、振出人に對する償還請求權のなす (Without Recourse) 様式で、爲替銀行が割引をする制度で、銀行は一定利率の割引料以外に、信用保證料を手形振出人より徵集し、輸入商の支拂拒絶の危険は、全然割引銀行で負擔すると云ふのである。

この業務は歐洲大戰前に大いに發達し、'dal Credere' 業務として知られ 'dal Credere Hause' なる信用保證専門の金融さへ發生し、多數の海外支店銀行や 'Schinnmalpfeng Information Kompanie' と言ふ情報専門會社を利用して、世界各地に於ける購買者の信用状態を調査し、之に基いて業務を行つて來た。

かくの如くドイツでは銀行が輸出信用保險を行つて居たが、政府でも輸出貿易促進策として、輸出信用保險制度を利用しようとの議論が起り、一九二五年九月ベルリンで開催された銀行業者大會が、輸出信用保險制度の設立を提案し、ドイツ聯邦政府の經濟省に於て同制度が立案され、一九二六年から實施されるに至つた。

かくして政府案は實施せらるゝに至つたが、これが實施に先立ち、ハンブルグ商業會議所は政府案に對して別な意見を提出したので、政府もこれが研究をなしたが、遂にハンブルグ案も實施せらるゝに至つた。かくして政府案とハンブルグ案の二者併せて實施せらるゝに至つた。

英獨の輸出信用保險制度は、政府事業として行はれて來たが、米國は民間側の營利會社または相互組織によつて經營せられて來た。

これ等の保險會社は、保險契約者である輸出業者が、取引先の債務不履行のため蒙ることある損

害を保障し、その補償をなすのである。現に是を行つて居る民間會社は American Credit Indemnity Co. of New York. Ocean Accident and Guarantee Corporation Ltd. The London Guarantee and Accident Co. Ltd. の三つで相當に成績を擧げてきた。また相互組織を以て信用保険を營んで居るものは、米國製造業者信用保險組合が、唯一つあるばかりである。

5. 我國の補償制度案

以上は英獨米の實施して居る保證制度であるが、各國を通觀すると、米國は輸出先地域を限定して居ないが、英國はこれを限定し、獨、澳、諸國は主として對露輸出を目標としたものである。然らば、日本の制度は如何うかと言へば、昨年十一月二十二日國際貸借審議會で決定した輸出補償制度は、審議會の答申案にあるが如く、「國際貸借改善の一方策として輸出補償制度を實施し、當業者に對する輸出金融の便を講じ、本邦商品の新販路を開拓し、以て輸出貿易の振興を計る必要」を認めたもので、各國の現行制度を比較參酌し、大體は英國の制度を骨子としたものである。この制度は甲乙二種に分ち、甲種は手形振出人等に對し全額の償還請求權を行使し、乙種は一部

の償還請求權を行使するものである。その要點を示せば、

- 一、適用を受くる手形の範圍 は荷付爲替手形（約束手形も含む場合もある）で、帝國內（臺灣、朝鮮、樺太も含む）で、生産、製造、加工された商品で、仕向先は主務大臣の指定した地域である
- 二、補償料の金額 は手形の額面金額（利付手形満期日までの利息を加算）並にその期間を基礎とし、左の割合でこれを定むること。
D/A（荷物引受渡し荷爲替）の場合（荷送人と荷受人とが同一人の場合）は年二歩
D/P（荷物支拂渡し荷爲替）の場合は年五厘
- 三、補償損失の時期 は銀行が滿洲日になつても手形の支拂を受けない時に政府が銀行に對して補償する。
- 四、損失補償の割合 は七割である。
- 五、各行に對する損失補償額の限度 は政府が銀行に對し支拂ふ損失補償金の總額は毎年豫め

銀行と契約した金額の範圍を超えないこと。（乙種補償制度は甲種と大同少異であるから略す。）

6. 我商權擴大強化のため

これが審議會で決定した大體の要旨である。政府が我が國市場の未だ開拓せられず、取引上特に支障ありと認める地方と言ふのは、どこを指すのであるかと言へば、さし當り中米、南米、バルカン、アフリカ、ロシア等が開拓せられない地方として衆目の一致するところである。

今これらの地方に對する三ヶ年の平均輸出額大約八千四百萬圓とし、これを基礎とするならば、第一年の昭和五年の輸出額は約三割増すものと假定して、約五千四百萬圓とし、その内補償を要するもの約半額即ち一千七百萬圓の内約三割の八百九十萬圓を故障手形最高額と見積り、その内實際支拂不能を豫想されるものは、その二割の百六十四萬圓。しかしD/Pは全損、D/Pは二割の損として算定すれば、實際の損失は九十八萬圓で、政府の補償は七割であるから、約六十八萬圓となる。

しかも實際補償するに至るのは平均四ヶ月後となるから、第一年は四ヶ月分約四十八萬圓が第二年度に繰越される。それで昭和五年度の補償額が前記の如く二十萬圓と假定される。勿論これは假定の數字であることは言ふまでもない。今回の輸出補償制度の適用の下に、その保證の要求額とそれに伴ふ政府の損失補償額に就いては、もとよりその正確なる數字は豫測することは出来ない。しかしながら、いやしくも新市場開拓、輸出貿易の促進をはかるために本制度を採用した以上は

多少の損失は覺悟の上であるから、飽くまでも徹底的に、その目的達成に邁進せられんことを希望せざるを得ない。

豫想し難い補償金額を大きく見積つて、最初から補償手續の困難や、その他事務の圓滑を缺いて折角の商賣の好機會を失ふやうな事があつては、この補償制も中途はんばのものとなつてしまふ。更に最後に一言したいのは、特別の恩典のある特殊銀行はもちろん爲替業務を取扱ふ大銀行が、よろしく國家的見地に立つて、我が商權擴張のために熱心な援助者となられんことである。

世界的失業苦難時代

殺人的不景氣時代の到來
慘憺たる失業群は何處へ

1. 資本主義經濟の缺陷

天成の美貌と至純の情操を有つ薄倖の孤兒、彼女は慘忍なる養父ルンペン・プロの許に冷かに成長した。長じて藝人となり、乞食となり、詐欺を働き、果ては街頭に春をひさぐ淫賣婦と迄成り下り、遂に放火犯の大罪を犯す。而して刑務所に投ぜられるや「いゝえ、何にもかも一切が嘘偽です」と呼び、現在の社會制度の凡てを否定する。これは左翼文壇の闘將藤森成吉氏の「何が彼女をそうさせたか」の内容である。

いやしく社會問題に關心を有つ吾等の、徒らに漫然として深く省察せずして、讀過する能はざるものである。現在社會制度の缺陷より來る罪惡、生活難、失業苦が生む悲惨事が、如何に深刻に社會全般に悪影響を及しつゝあるかを、吾等は直視しなければならぬ。

近時社會生活の不安は財界の不況に伴ひ、日を逐うて深刻の度を加えつゝあり。就中金解禁の實施に伴ふ中小工業の萎微衰弱は昨今殊に著しく、諸所に於ける工場閉鎖縮小操短等が行はれ、中小會社銀行商店等の倒産するもの尠くなく、その結果失業者のおびたゞしき増加となり、失業苦の餘り、放火、殺人、詐欺、自殺、飢死等の悲惨事が日々三面記事を賑はすに至つた。

失業問題は今や放置を許さぬまで深刻化して、政府及民間でも是が對策に非常なる眞険味を帯びて來るのみならず、政治問題として次第に重大化して來た。

既成政黨に屬する或る種の人々が、十九世紀の經濟學說を奉じて、失業者は景氣不景氣によつて増減するのであつて、循環的のものであるから止むを得ないと空嘯き、平氣で公言して憚らないに至つては驚くより外はない。なる程從來失業は景氣不景氣によつて、その數を増減した。好景氣が到來すれば失業群は救濟され、不景氣が襲來すれば街頭に投出される。即ち景氣循環によつて週期性を有つて居たが、しかし現在では生活程度が向上し、少しばかりの好景氣だとして失業群の絶無は有り得なくなつた。是は日本のみの現象ではなく世界的の現象である。

2. 産業豫備軍と失業者

これは資本主義經濟制度下では必然的である。のみならず、近時世界的に流行の産業合理化に負ふ所亦頗る大なるものがある。即ち獨占的傾向の強大化、中小企業の没落、生産技術の急速度的發展、國內市場の狭少、海外市場獲得の困難、後進諸國の資本主義化等によるに失業群が激増した事は否めない事實である。

失業は今日の如く景氣不景氣の交替する資本主義經濟組織の續く限り、一時的に緩和されても永久に是を根絶する事が出来ない。

現にロイド・ジョーヂの如きは議會に於て謂つて曰く「産業を景氣不景氣なしに安定せしめんとするは、恰も海洋の浪を無くせんとするが如くに不可能である。従つて失業の去來を消滅せしむる事も不可能である。只吾人の努力し得べき事は、失業の時期を貧困と飢餓の時期とならしめざるにある」、又大統領フーヴァの下に於ける失業調査委員會は、失業の救濟は極端なる好景氣不景氣の循環を統制して、是を豫防するより他に良途なしと報告して居る。然り現在では是より外に採る道はなからう。

もつとも、ヴァルガ指摘した様に、一、失業者は生産の縮少のためでなく著しき生産の増加と平行してゐる。二、戦前には失業者は好景氣の際には一時なくなる傾向を有つて居るが、今日ではそ

うでなく永続的失業の現象が固定した。現に資本主義國中最も著しい進歩を見せたアメリカは、商品の生産がドシ／＼増加して居るにも拘らず失業者は殖えて来た。三、最大の失業者は最も發達した資本主義國英米獨に存在して居り、何れにしても失業者は一時的産業豫備軍としてどなく、永久的固定の失業群が増加するばかりである。

ヴァルガの言つた眞偽は何れにしても、彼の言つた資本主義國である。イギリス、アメリカ、ドイツの失業者数は増加しつゝある事は事實である。

私は、今前記諸國の失業状態の現状を瞥見して、然る後に我國の失業状態並にその對策に就いて論じて見たいと思ふ。

3. イギリスの失業状態

一九二九年の總選舉に於けるイギリス政界の中心題目は失業問題であつた。結果は労働黨の勝利となり、マクドナルドは再度内閣を組織し、労働大臣にはボンドフィールド女史を、失業救済事務大臣にはトーマスを据へ、極力失業緩和に努力したが、失業者数は依然として減退されず却つて激増するの現象を呈した。

本年三月十日英國議會に於て、ロイド・ジョージは失業問題に就て現政府を攻撃して曰く「現労働黨内閣成立以來イギリスの失業者数は、百十一萬より百五十三萬九千に躍進した。この一時的緊急状態を救済するために、自由黨の持論である道路工事その他の公共事業を起しては如何」と緊急的失業救済の急務たる事を力説した。

右に對し、労働黨内閣の失業救済事務大臣たるトーマスは左の如く言明した「現政府は刻下の異なる情勢に對して何等の責任を有するものでない。現在の失業は單にイギリス一國のみでなく世界的現象で、これは各國の通商自由の反動政策のためで、ドイツでも失業者は三百萬に達し、アメリカの失業者は三百萬乃至六百萬と言はれて居る。イギリスの不況の原因は棉花、羊毛、銀等の原料品暴落によるのであつて、我がランカシャーに於ても過去半ケ年に於ける棉花暴落の結果、生産者側は製造を手控へて居り、ために失業者の激増を招來したのである。然し政府はこれが對策として既に六千五百萬磅の仕事を行はせて居るのである」とて應急對策に非常なる努力を拂つて居るのであるが、トテも急には緩和しさうにも見えない。

イギリス失業者激増の原因は言ふまでもなく、海外市場の喪失、重工業の沈衰、植民地の工業化であつて、殊に大戰後の激増は著しく産業合理化開始前には、既に百萬の失業者を出した。然るに

イギリス経済界の更生策として、産業技術の改革、獨占化の強行、事業合同の奨励、労働時間の強制等の結果、失業者の数は更に増加するに至つた。

4・恒久的失業者百五十萬

昨年（一九二九年）初頭に於ける失業者数は、失業救済基金を受ける被保険者約百五十萬人、救済法による被救助者も百五十萬人、生活補助金を受ける者五十萬人、總數約三百五十萬人と唱へられて居る。國際聯盟統計に掲げられた失業保険金を受けつゝある失業者でも、左の如く百二十萬乃至百五十萬人といふ多數を示して居る。（單位千人）

	一九二七年	一九二八年	一九二九年
三月	一、一八八	一、二二八	一、二〇四
六月	一、〇六九	一、二七三	一、二六四
九月	一、二二六	一、三五五	一、二〇三
十二月	一、一九四	一、三三三	一、三二六

更に、今ボード・オブ・トレード誌の掲げるところを見るに、一九二八年から一九二九年へかけて、

生産指数は増加したが、失業者数は反對に増加した。即ち左の通り。（生産指数一九二八年一〇〇）

年	月	生産指数	失業者割合
一九二八年	三月	一〇三・六	九・五%
同	年 六月	九八・二	一〇・七%
同	年 九月	九五・〇	一一・四%
同	年十二月	一〇二・八	一一・一%
一九二九年	三月	一〇四・五	一〇・〇%
同	年 六月	一〇六・一	九・六%
同	年 九月	一〇四・五	一〇・〇%

これを産業別に見ると工業及運輸業に於ける労働者数は一九二三年——二八年間に六%を減少したのが、同期間の生産は却つて七%増加した。また戦後の新興産業と稱せられる自動車工業、科學工業、非鐵金屬業、電気工業、人造絹糸業は一九二四年——二九年間に六萬餘人の労働者を吸収したが、炭坑業の放出した約二十萬人の失業者に比すれば、約三割にしか相當しない。故に百五十萬といふ失業者は週期性のない永續的恒久的失業者であつて、これを絶滅させる名案は、自由黨の

パンフレット「吾人は失業問題を解決し得」が總選舉前の人氣取策で、到底實行し得られないと稱されるが如く、現在のところでは應急的對策として公企業の外より他に方法がない様だ。

5. 共産黨の示威運動

ドルの國繁榮アメリカに於ける昨今一般財界の不況は、失業問題を相當に深刻化せしめ、政府も内々是が對策に腐心して居る模様であつたが、最近議會に於て政府側の緩慢なる態度に非難を加える者があつた。又是が救濟策が上程せられる等漸く世人の注目の的となつて來た折柄、三月六日の國際失業記念日が近づいて來ると、各工業都市に於ける共産黨の運動が猛烈となり、二月二十六日紡績同盟罷業の首領者ジョン・ポーターの出獄日に、ニュー・ヨークの共産黨は各所で示威運動をなし、世界の資本を支配するといふ意味で、ウォール街に押寄せ、數百名の男女共産黨員は警官隊と亂闘し、更に翌日の正午に約五百名の共産黨員が、失業問題に對する示威運動のため市廳前に集合して市中を練り歩いた。

又ロスアンゼルス市では三千人の共産黨員及同情者が市廳を襲撃占領せんとして、三百名の巡査と衝突し、解放を命じたが拒否したので、巡査は止むなく涙弾や棍棒で戦ひ、結局二十七名を拘

引した。シヤトル市では約三百五十名の共産黨員が市中を行列して廻り、市廳の前で二百名の巡査と衝突したり、ウイスコンシン市では、一萬二千人の失業者が共産黨員指導の下に、デモンストレーションを舉行する等、全米各地に亘る失業者が「吾等に職を興へよ」の悲痛なる叫び、それに乘ずる共産黨員の「資本家を倒せ」のスローガンを掲げて煽動する等の示威運動のあつたのに鑑み、大統領フーヴァは國際失業記念日の翌日である三月七日に聲明書を發表し「今期の失業は是が一九〇七、八年及一九二〇年、二二年當時の失業數に比して、その二分の一乃至三分の一を超えない。その趨勢も昨年末及本年一月初以來漸次恢復の兆があり、目下の所十二州を除き他の三十六州に於ては單なる季節的失業に過ぎない。而して今後二ヶ月以内に現狀が幾分改善せられるであらう」と樂觀論を述べた。

6. ドル國アメリカの悩み

然るに三月に入つても一向就職業者の増加の傾向も見えず、アメリカ聯邦準備局は最近の失業調査を發表して、一九二四年以來今日に至るまで生産品は二割五分増加しながら、失業者は三百五十萬人に増加して居り、昨年十二月に比し本年一月は失業者は更に二割六分の増加を示した事が傳へ

られたので、政府も周章狼狽し始めた。

今更ながら古い経済學上の命題である「機械が失業者を生む」といふ事實に直面したのであつた。従来政府もその報告書中に於て、失業者増加の原因はテクノロジーカル・アンエンプロイメントによると説明して居り、その用語が如何に曖昧模糊として居つたので、世人も氣がつかかなかつた。人の作つた機械が今や人を殺しつゝあるのである。一ジャーナリストが「殺人的失業者時代」と呼ぶのも決して誇張でない。アメリカの一統計學者の説に従ふと、機械が生む熟練職工の失業者は一年約十五萬人を下らないと言ふ。一例を擧ぐるなら最近トキーの出現による劇場映畫館のオーケストラ部員及臺詞の出来ない俳優の失業者、洋服型裁機の發明による裁縫職工の失業者等、是等は何れもテクノロジーカル・アンエンプロイメントの結果である。又労働能率も科學的管理法の結果は能率停年が、四十歳乃至五十歳までに短縮された。

最近労働省長官デヴィスの失業者報告によると、失業者の増加は單に工場生産に於てのみならず農業、炭坑業、鐵道業に於ても尠なく、是等四産業部門を合算しての一九一九年—二七年间の失業者發生數は二百萬人でこの間に於ける労働人口の自然的増加は四百五十萬人以上である。これが萬年景氣を誇るアメリカの現状であることは吾等の意外とする所ではないか。

アメリカには完全なる失業統計の發表はなく、政府も目下失業總數の調査中と稱して、是が發表を避けて居るが、過般の議會に於ける答辯によれば約三百萬人との事である。ジャーナル・オブ・コンマース誌が「新經濟の發展がこの失業を救済せざるのみならず、凡ての方面に於ける産業合理化の促進によつて、失業者は今後益々増加の途を辿るであらう」と、吾等に悲觀的材料を提供して居る。

黄金洪水を誇り、ドルの偉力を誇り、萬年景氣を誇るアメリカに於て三百有餘萬の失業洪水に悩んで居るとは、何たる皮肉な事であらう。

7. 失業苦難のドイツ

去る三月二十四日に閉會したジュネーヴのヨーロッパ關稅休戰會議の席上で、ドイツの首席代表シュミットが大戦後、ドイツ諸工業の萎微、賠償問題、農村の不況、産業合理化に伴ふ失業者の激増により、衰運に傾くドイツ經濟界の建直しは、ヨーロッパ諸國と共に經濟的提携、關稅協調に俟たねばならぬ、と力説したが、現在のドイツの失業數は未曾有な數に上つて居ると稱せられて居る。

最近發表したドイツ労働者の失業者数は左の如くである。(單位千人)

一九二九年	一月	一、七〇二	二月	二、二二二	三月	二、四六〇
	四月	一、八八五	五月	一、二二六	六月	八〇七
	七月	七二二	八月	七一〇	九月	七二六
	十月	七五〇	十一月	八六五	十二月	一、二〇〇
一九三〇年	一月	一、七五五	二月	二、二二二		

右の如く一昨年最低失業者数の八月の七十一萬人から、本年二月では二百二十三萬二千人の激増振を示して居る。

大戦前のドイツ失業者数は好景氣の時では十萬位、恐慌時に於ても五十萬乃至六十萬位で、それも諸産業が相當の數字までは等失業者を寄生せしめて居た。更にドース案成立直後の一九二六年、二七年頃は失業者は六十萬前後と稱せられて居たが、最近ラチヨナルジールの發展に伴つて、失業者は激増の一途を辿り、この一、二年間に前掲の如く二百數十萬人が街頭に投出されたのである。

る。

今これを産業部門別に見ると、合理化の促進された炭坑業労働者数は二十萬人、冶金工業、自動車工業又同様の數字を示し、就中自動車は最近三ヶ年間に於ける生産増加が六九%に對し、労働者数は八萬四千九百人から七萬三千人に激減した。これ等の數字は失業保険や、労働組合の登録數に據る統計であるから、實際の失業者数は三百萬人乃至四百萬人と推算せられて居る。

一塊のパンにもありつけず、夜明前から職業紹介所へ押寄せて、數十町の列を作つて居る、顔色青ざめた彼等男女労働者達は、如何に痛切にドイツ産業合理化の眞の有難味(?)を感得した事であらうか。

8・深刻な我國の不景氣

以上の如き英米獨の慘憺たる失業の現狀に較べて、我國に於てもそれに劣らざる失業の窮狀を呈し、種々の影響を社會全般に及ぼして居る。

深刻なる不景氣が生む生活難、失業苦より生ずる社會悲劇が三面記事を賑はして居る折柄、去る三月五日内務大臣安達謙藏氏に宛て「深刻な不景氣が生んだ失業者は、全國に群をなして失業せぬ

までも生活苦に悩む者が数知れぬから、今にして善處せぬと我國は滅亡する」と血を以て書かれた血判状に、更に脱脂綿に包まれた血まみれの小指が添へられてあつた様に、眞剣に失業問題を憂慮する者も現はれた。

勿論現内閣と雖も失業対策を等閑に附して居るのでもなからう。現に昨年末に於て社會政策審議會を設置して「刻下經濟界の狀況に鑑み失業者救済の爲施設すべき事項如何」との諮問を發した。而して失業の防止並に救済の基本的對策として審議會の答審したものは左の如くである。即ち是を要約すれば、失業統計の調査、職業紹介機關の整備充實、産業發達、國產の獎勵、貿易の振興、地方工業の發達、農村副業の獎勵、職業指導並に教育制度の刷新、我國情に適應せる失業保險制度の調査、失業基金制度の調査、勞働年齢勞働時間勞働賃銀の調査、失業の原因現象並にこれが根本的對策を考究すべき總合聯合的の常設機關の設置等である。

以上の如き對策誠に結構である。然しながら今や調査研究中といふなまやさしい抽象論に徒らに彷徨して居る時でない。明日にも餓死する運命にある失業者に生活の保證を與へる具體的方策を講ずべきである。

9. 益々殖える失業者數

然らば我國に現代何れ程の失業者が居るかといふに大正十四年に全國二十一の主要都市と、鑛山地方に就て失業統計を行つた外は、今日まで失業統計なるものはなかつた。が昨年九月一日現在で始めて全國に亘り失業者數の推定調査を行つた。それによると昨年九月以降の失業者及其の異動を示せば左の通りである。(單位千人)

一、總數

	調査人口	失業者數	失業率
九 月	六、五九九、七七八	二六八、五九〇	四・〇七%
十 月	六、七四九、九八七	二九二、三二四	四・三二
十一月	六、八八五、四〇六	三〇〇、一九五	四・三六
十二月	六、七二二、三六五	三一五、二六九	四・五四
一、給料生活者失業者數			
九 月	一、五七二、二二九	五九、一五八	三・七六

9. 益々殖える失業者數

二七九

十月	一、五九九、七二七	六二、五五〇	三・九一
十一月	一、六〇〇、八七三	六一、八〇八	三・八六
十二月	一、六四二、八七二	六二、四一〇	三・八六

右の如く昨年十二月末では三十一萬有餘人であつたのが、本年一月には昨年十二月に比し、二萬五千人を増加して三十五萬人となり、二月は更に九千人を増加して三十五萬人といふ昨年九月調査を始めて以來の最高記録を示すに至つた。

最初政府の見込みでは失業者は漸増の傾向であるが、主要都市その他の失業深刻なる地方に、大規模の失業救済事業を起させたが、失業緩和の見込みは全然裏切られて、失業者は増加する一方であつた。これは失業救済事業の不成績を物語るものでなく、失業の深刻化を示すものであり、季節的救済事業では到底現下の失業問題を解決する事の不可能が證明された譯である。

月々平均一萬人づゝ殖える失業の大群を、救済する爲に一時的救済策では到底見込みなしとするならば、如何なる對策を講ずべきであらうか。

失業問題とその對策

慶急的對策として職業紹介所の整理統一
根本的對策として失業保險制度の實施

失業の怪物が東京はじめ全國に氣味悪くうごめてゐる時、第五十八議會は抽象的な形式論のみに終始して、期待された失業救済には何等の光明も投げられずに特別議會も十三日に幕を閉じられた。

この失業の大波は世界的不景氣のあふりで、我國のみもがいてもどうにもならぬものか、その原因は議論まち／＼で分らないが、とにかく立派に働く能力を持ちながら職にあぶれて、日日の飯に飢えてゐる同胞が三四十萬乃至八九十萬もあつて、その救済が焦眉の急である事は事實だ。——東京朝日——

1. 近世産業界のスフィンクス

この小論文のスタートは先づ失業者の全社會への抗議から始まる。

「だつて、……先生、先生のいふことは理窟に合はねんだ。理窟にあつても實際に合はねエ、先生家のチャンをごらんない。家のチャンは正直な働き手でしたよ。毎日々々富川町へ働きに行つて

立ん坊仲間ちア十人二十人の頭になつて居たんだ。それがこの間からあの通りの雨でせう、雨が降つたら立ん坊は仕事がなくなつてしまふじアありませんか。二週間も降つたら立ん坊は喰ませや。立ん坊の家族だつて乾干になつてしまひますア。働かうにも働けないぢアありませんか。だから家のチャンはあたい達を食はせるために盗んだんですよ。ほんのちつぽけな盗みをしたばかりに、あゝして監獄へやられちまつたんですぜ、あたり前なんだ。働きたくても働く事が出来ねエ様な、やりきれぬエ世の中に、一體だれがしやがつたんだ。」

と、恩師の前でタンカを切る少年スリ山田松吉がオヤヂの辯護、世間への反抗の叫びを擧げる。一家を餓死から救はんが爲に、失業者の盗み、そして刑務所へ、それから子供は自活のためスリとなる。時代の尖端を歩むプロレタリア作家貴司山治氏の「ゴー・ストツプ」の中の一場面である。更にもう一つ。

「凡ての船渠の入口には、寒風の吹きすさぶ冬の日に、已に黎明から何か一日の仕事にありつきたいとの望を抱いて、数百の貧民が戸口の開くのを待つて居る。暫らく経つて戸が開かれると救職者の中で年若い者、強健な者、或は最も顔馴染の者が最初に雇つて貰へる。それで後に残つた数百名の亡者は、欺された期待のため元氣を落して、トボ／＼と哀れな飢餓のみが待つ彼等の住家へと

歸る。」

「彼等にして若し他に何等の仕事も見出し得ず、又社會に對して反抗し得ないならば、彼等の前に残された途は自殺か乞食か何れかを選ぶより外にない。」

これはフリードリツヒ・エンゲルスつ名著「英國勞働階級の狀態」の中に於て、十九世紀中葉の

イギリスの失業者の窮狀を如實に描いたものを紹介したに過ぎない。「國民の歴史は、議會や戰場にあるのではなく、民衆が市場で商賣し、祭禮の日に何を語り、如何なる方法を以て耕作をなし、又喧嘩をし、喜び且つ悲しむかの記録でなければならぬ」とアイルランド詩人のイエーツは指摘して居るが、實に時勢の變化は偉大なもので、昔は何等の注意をも拂はれずに輕視されて居た失業者の問題が、今は一國の政治を左右する迄に至つた。昨年五月のイギリス總選挙の題目が失業問題を中心として戦はれたかを見てわかるではないか。失業問題の深刻化は憂ふべき事であるが、該問題の政治化を慶すべき事と言はねばならない。

實に、失業問題は近世産業國家の内部に潜在する癌であり、資本主義制度内に存在するスフィンクスであつて、近世文明はこの癌を治療し、このスフィンクスの正體を解決しない限り破滅するより他に途はないのである。

2. 資本主義経済組織の暗影

従来古典派の経済学者は、失業は経済上の問題でなく、道德問題であると考へ、機械の發明は多くの労働者をして仕事を失はしめるが、一般の生産の増進に依つて結局は仕事を増すものであると考へた。そして現在の生産組織より見れば失業は避け難く、従つてこれに對して道德的救済をなせば良いと考へて居た様だ。従來の様な道德的救済手段、例へば救世軍の活動、自由食の供與、無料宿泊所の提供等で救済すればよいと考へて居た。更に一部の學者や僧侶の如きは、失業原因を不具、低能、墮落、怠惰、飲酒、遺傳等になすりつけ、絶局失業は個人的無能の結果でありとなし、それが資本主義経済組織の内部に潜む社會的結果である事に氣がつかかなかつた。

現在の資本主義経済組織の下に於ては、労働を欲し、又能力ある者が失業の苦杯を嘗めさせられて居る事は事實である。景氣不景氣の順環、外國貿易の盛衰、生産と消費との不釣合、無限なる自由競争の認容等は、労働者の訓練と能力如何に拘らず彼等を街頭に投げ出す。

併し、従來の失業者は景氣不景氣によつて左右され、一時的失業者はあつても恒久的失業者はあり得ないと考へられて居つたが、資本主義が圓熟なる段階に到達した今日に於て、殊にヨーロッパ

大戰以來、従來の順環的、間喝的、一時的性質より、不變的、永續的、恒久的現象にまで變化して來た。そして、この失業問題は萬代不易とまで思はれた「萬里の長城、ローマの水道、エジプトのピラミッドより」更に偉大なる資本主義経済組織に一抹の暗影を投じたものと言はねばなるまい。

3. 機械發明の犠牲者

「現代は非常なる進歩の時代であり、特に産業上の進歩は停止する所を知らない。そこで健康上、教育上、人格上所要のレベルに達するに適しない者は進歩の事實その物のために、愈々自己の業務を喪失する傾向がある。現在の顯著なる傾向は、自ら生計の資料を働き出すことの出来ない人々もしくは自ら働き出す意思のない人々が或る方面に集積して行く事である。この問題を解決せんがために、多くの方策が提唱された。けれど今日まで何に一つとして、この問題の解決を約束したものが無い。失業者は常にわれ等の側を離れない。彼等は皆な社會から食物を恵まれ、衣服を給され居室を與へられ、而もそれに對し感謝の色をすら顔に出さない」これは大英エンサイクロペディアの「失業」の項目に掲載された大要である。これは失業及び失業者に對する有産階級の代表的見解であり、その昔「百姓は死なぬ様に活かして置くべし」と言つた本多佐渡守と、

Thou shalt not kill, but needs not strive, officiously to keep alive.

と暴言を吐いたクラウと同様に、社會的害惡の發生に盲目であり、無關心であり、無慈悲なる者の見解と言はねばならぬ。

大英百科全書の指摘するが如く、進歩は犠牲を要求する。だが、資本主義的犠牲としての失業者は、所謂進歩から何物を與へらるべき約束を得たであらうか。時勢の進歩は景氣の上潮と不景氣の落潮との週期にはさまれて一潮は一潮毎に犠牲者を増加して行く。その進歩と共に失業苦、就職難生活難とが伴つて来る。生産機械の進歩は社會生活の退歩であると謂はれる譯である。何れにしても、われ等はマルクスの名は忘れる事が出来ても、生活の現實を脅威する慘憺たる産業豫備軍の存在に眼を閉じる事は出来ない。最早、失業問題の認識などと言ふ抽象論に耽つて居る時でなく、餓死線上にうろつく失業群を如何にして救済すべきかが、焦眉の問題でなければならぬ。

4. 現内閣の失業対策

目下、全世界を通じての失業者は約三千万人と言はれ、ヨーロッパの英、獨、佛、澳、伊の五國の失業状態は、昨年末の合計五百萬人もあり、これ等の政府が年々拂つて居る失業救済資金だけ

でも無慮十億圓に上ると稱されて居る。

大戦後、ヨーロッパ諸國に於ける貨幣價格の變動、産業界の衰退が、失業者増加の原因と考へられて居たので、幾多の國際會議に於てこれが対策が講ぜられた。そして、その結論として金本位制の確立、貨幣購買力の安定、國際間の經濟障壁の撤廢及經濟力の促進、産業合理化の強調普及が勧告されたが、これ等は失業の根本的対策としては大したた効果を擧げなかつた。

今日、各國は失業問題を國內的に解決せんとして、採りつゝある対策は種々あるが、大體次の三種に區別し得るであらう。即ち職業紹介所公企業の擴張、失業保險制度の實施がこれである。

現内閣の失業救済政策は、第五十八特別議會に於ける濱口首相の施政演說に據れば、産業の振興と職業紹介所の擴張の二點で、如何に簡單にして餘りにアツサリし過ぎて居る。去る四月二十五日の貴族院本會議に於ける濱口首相の施政方針演說中失業問題に關して謂つて曰く「各種社會政策の樹立は現内閣の最も意を用ひて居る所であります。特に失業問題の解決については、その根本策として産業の振興を計ると共に、その應急策として職業紹介所に關する事業を擴張しました。外、失業の救済又は防止のために地方公共團體に對して、公營事業の起興を勸奨し、これが財源に關しては、起債認可に關する從來の方針を緩和すると共に、經費の一部を國庫より補助するの途を

講じまして、之を追加豫算に計上致してあります」

産業の振興とは、産業合理化の一點張りであり、職業紹介所と言つてもタツタ二百四十ヶ所であり、又地方起債の緩和と事業補助を述べて居るが、補助費は僅か六千餘萬圓ポツキリに過ぎない。政府が臺銀救済とか、今回の糸價安定のため支出した金に比すれば、九牛の一毛にも過ぎない金である。

イギリスの如く失業救済に六億五千萬圓なんて大金を支出す事は、財源の關係上出来ないとするならば、明るい政治を標榜する現内閣であるから、せめて機密費を救済に當たらうだらう。更に國債償還年額を半減した四千萬圓、公債償還資金に繰入れて居るドイツの賠償金六百三十六萬圓も、失業救済費に當てられない事もあるまい。以下私は、紹介所、公企業、失業保険制度等について、具體的意見なり希望なりを、極く簡単に述べるであらう。が、その前に、失業救済に最も努力しつゝあり、且つ典型的であるイギリスの現労働黨内閣の採りつゝある失業対策を紹介するものもこの際無駄な事でないと思ふので、左にその要約を掲げ、然る後に對策論に入りたいと思ふ。

5. 英國労働黨内閣の失業対策

イギリスに於ける失業対策は、昨年の總選挙の時には保守、労働、自由黨の三大政黨間に於て論議の的となつたが、三大政黨の失業対策、その他メルチエツト郷及バルフォア委員會の失業対策の意見もあるが、労働黨が總選挙大勝の結果、再度内閣を組織して、着々と嘗て掲げた政策を實行して居る。その失業政策の大體を要約すれば左の通りである。

甲、直接対策

(イ) 全國的對策及貿易振興 住宅建築、貧民窟取拂、灌漑、荒地開墾、電化、鐵道及運輸設備の合理化、新道路開設、通路橋梁改修、小農地に於ける植林、移住民教習を實行する事、失業救済に最も重要な仕事は産業の振興である。之等の計畫は即座に多大の雇傭餘地を供給しないかも知れないが、一般産業界に對する好影響が即時に現はれるであらう。又海外植民地に對する輸出には輸出信用制度を奨励すれば、造船業、海運業は之により多に活氣づくであらう。かくして雇傭が增加すれば國內は購買力が增加する。

(ロ) 救済 労働黨の失業対策は安定した仕事を與へる事である。差し當り失業者を救済しなればならない。尙又現行失業保険法を改正し支給額を増加すると同時に、現在の受領資格の制限を緩和する。

(ハ) 老年者の隠退 現在の状況を見るに、教育技能の不充分、不適當の青年が毎年約四十萬人宛労働市場に現はれると同時に、一方には貧困のため職を漁つて居る幾千の老年者が居る。之等の老年者は適當の給與を與へれば、退隱せしめ得るものである。そこで労働黨の計畫では、一方に必要なる補給を與へて教育年齢を十五歳まで延長する(之は一九三一年度より實施に決定)と同時に他方老年職工に對する適當な年金制度を設ける。

乙、間接対策

(イ) 炭抗國有 労働黨は失業対策が政治問題の中心となつて來るや否や、炭抗國有をその対策として掲げるに至つた。即ち炭抗を國有にし労働黨乃至労働組合の理想とする如き、労働者の管理参加を行ふ事であり、炭抗の經營を合理化し、消費を除いて業績を改善し、以て失業者を吸収せんとするのである。

(ロ) 石炭の化學的利用 炭業は今や單なる採掘業務でない。之を最も經濟的に操業するために、石炭を化學的に加工し、各種の製品として販賣しなければならぬ。故に英國炭業を窮況から救ふには、石炭の化學利用方法に關する研究試験を國家が助成しなければならぬ。

(ハ) 統制機關の設置 現在の失業者を救済するには新たに多くの勞力を需要し、且つ國家經濟上

有利なる新規事業を興す事を急務とする。例へば土地の開発、植林、灌漑、建築、貧民窟取拂、水力、開發等之である。然し之を眞に實行する事は大事業である。失業問題其ものが超黨派的大問題であると同時に、かゝる企業も須らく全國の衆智を集め、其の最善の計畫を慎重に考慮する事を要する。然るに現在英國政府は個々獨立の省から成立つて居て、今日の産業國家を統制する上に、多大の缺陷を有する。故に首相を總裁とし大藏、商務、労働等の各大臣を委員とし、専門家よりなる調査員を設け、必要に應じて當該産業の勞資兩方面の代表専門家を招致し得る制度を設け、直ちに複雑なる産業國家の中樞的統制機關たる委員を設置すべきである。

以上の如き対策を掲げ、着々として實行して居るのであるが、反對黨の首領であるボルドウインの如きは労働黨の失業対策を評して「かゝる失業救済事業を企てる事は、多額の國債を發行する必要を生じ、巨額の資金を財界から吸収する事は、決して失業救済の効果を擧げ得るものでない」とケチをつけて居るが、兎も角救済事業に六千五百萬磅の資金を投げ出して、躍起となつて失業緩和に努力して居るが、中々豫期の如き効果を擧げ得ないで、失業者数は益々増加の傾向を辿つて居る。

6. 職業紹介所の改善策

愈本論に入るに當つて先づ第一に擧げなければならないのは、職業紹介所の施設である。さて、この制度が國家の制度として始めて認められるに至つたのは、一九〇九年イギリスの職業紹介所を以て嚆矢とする。議會制度でも、消費組合でも、職業紹介所でも、凡てが元祖であるイギリスの紹介所の制度も非常に完備したものである。當時ウインストン・チャーチルは、この制度を以て失業保険制度の實施に必要な前提条件であると言つて居たが、その後制定せられた失業保険法もこの制度を基礎として制定せられたのである。

イギリスの職業紹介所制度を紹介する事は紙面の都合上省く事として、この制度が世界的に認められたのは、ヨーロッパ大戦後の一九一九年であつた。當時第一回の國際聯盟労働總會に於て、公益無料職業紹介所の普及に關する條約案が採擇せられた。超えて翌年の第二回労働總會に於て、海員に關する同様の條約案が採擇せられて以來、各國に於てもその發展は著しきものがある。本年一月迄に陸上労働者の職業紹介に關する條約は二十三ヶ國に依つて批准せられ、海員の職業紹介に關する條約も十七ヶ國に依つて批准せられて居るの現状であつて、この制度の國際的聯絡統一運動は日増にその度を加えつゝある。

然らば我國に於ては如何なる施設が講ぜられて居るかと言ふに、職業紹介所施設は大正十四年度

以來實施せられて來たのであるが、その成績もあまりかんはしからず。政府もその設備充實方法に關し、中央職業紹介所特別委員會に命じて「職業紹介事業並に監督上改善又は施設を要すべき具體的事項」に就いて調査研究をなさしめたが、去る四月十三日該委員會は審議の結果は左の如き基礎案に到達した。

- 一、地方職業紹介事務局を増設し、且一層現業化せしめ特に集團的季節労働を注意すること。
- 二、地方職業紹介事務局の規模を更に擴大すること。
- 三、營利職業紹介所及労働者募集の取締は凡て警察事務に屬して居るが將來は職業紹介所と地方警察機關との密接せる聯絡を計ること。
- 五、職業紹介所に對する國庫補助を増額して經常費二分一（現在は六分一）建設費四分三（現在は二分一）となすこと。
- 六、職業紹介所の基準を定め新に職員資格規定を制定且所員養成機關を新設すること。
- 七、紹介所間の聯絡を一層適切に行ひなるべく所長に裁量を任せ完全敏速を計ること。
- 八、紹介機關の聯絡を計り電話架設通信交通關係につき關係官廳の援助を請ふこと。
- 九、植民地に國營職業紹介所を設けること。

一〇、職業補導機関再教育等の普及を計ること。

特別委員会の基礎案は誠に結構である。職業紹介所の増設、整理、統一されて、それで新しい職業が紹介され、而も労務の需要と供給が一般的に旨く出来るならば、如何に無駄が省けて、實際の就職率が増すかは想像外の好成績を示すであらう。

7. 現行制度の缺陷と整理統一

だが、現行職業紹介所制度を仔細に見るに、そこには公營及私營の紹介所が雑然として存在し、國營主義との聯絡が甚だ弱く、その組織統制機關が缺陷だらけである事に氣がつくであらう。更に全國二百三十九の公益的無料職業紹介所の事務の系統は、既に國際聯盟労働條約上の義務上から言つても、これを國營的に取扱ふべきである。現に五月十七日に開かれた中央職業紹介委員會も、「失業者の逐年増大する情勢に鑑み、速かに職業紹介事業を國營に實施する必要」を力説し政府に答申して居る。

現在の中央職業紹介事務局は内務大臣監督の下に、東京、大阪、名古屋、福岡の四大事務局があつて、各々各個の府縣を管轄區域として、その通報交換その他の紹介上必要な事務を統制して

組織系統は如何にも整然として居る様であるが、しかし、紹介所を監督する者が府縣の課長程度の社會的地位もなく、微々たる下級官吏では如何に躍起となつて努力しても、豫期の如き成績を擧げ得ないのは自明の理である。

現行制度では職業紹介所長は人選は、公營の關係上市町村長の權限に屬し、事務局の意思は少しも尊重されないから、天降り式にトンデモない人間が任命されたり、又は折角適當な人が任命されたと思ふと間もなく、他へ轉勤を命ぜられる様な缺點がある。更に地方自治體によつては、流行を追ふ意味で目茶苦茶に職業紹介所を設けて、體裁だけは整つて居るが、サテ成績は少しも擧らない所もあつて、全國二百三十九の紹介所の分布は頗る理想に遠い所がある。

職業紹介所の分布状態は内地人口六千萬に對する一ヶ所當りの人口数が二十五萬人であつて、これをドイツの一ヶ所當り四萬八千人、イギリスの三萬七千人に較べれば、紹介所の分布は遙かに及ぼない。現在の二百三十九ヶ所は決して充分とは言へない。營利職業紹介所數(昭和四年二月現在)三千三百九十六ヶ所に較べれば、僅に一割にも達して居ない状態である。

のみならず、現在は紹介所が大都市に偏在する傾向がある。一例を擧ぐるならば、東京府の四十ヶ所、大阪府の十九ヶ所の如きが、それで六大都市の總數は全國總數の四割弱を占めて居り、農村

どの聯絡が充分ではない。

その他幾多の例を擧示すれば、實際はないが、失業問題が益々深刻となり、その解決が國家の力に俟つ事が多いのであるから、政府としても紹介所官制の整備充實等に増設擴張に鋭意努力して、おびたしい失業洪水の大群を幾分にも緩和せられん事を希望せざるを得ない。

8・公企業の擴張による救済

次に公企業の擴張による失業者の應急的救済対策として、ロンドンを始め大都市の道路改修工事、郊外電鐵の軌道擴張、公設住宅建築等によつて、失業の大群を幾分にも緩和せんと躍起となつて努力して居るが、思つた程の効果も擧げられない。

第五十八特別議會に於ても失業問題を中心として、朝野兩黨間に激烈なる論争が展開せられたがしかし、今日の世界的不景氣の現状を直視せずして、今日の不景氣を以て何人の責任なりや、とする議會に於ける討論の如きは、ナンセンス以外の何物でもない。だからと言つて、政府の形式的な失業対策には勿論満足するものでもない。

野黨の失業問題に對する猛烈なる攻撃演説や「吾等に職を與へよ」俺達を喰はせろ」と叫ぶ無産

黨の失業者反對の大衆運動の起るや、政府でも、慌て、従來の生まぬ、消極的對策を排して、積極的失業救済事業擴張法を地方長官に通牒した由である。その内容を掲ぐると左の通りである。

一、一般的失業防止方策

公益職業紹介所の整備充實を圖り、相互扶助を目的とする失業共済施設の普及改善を圖り、職業指導、授産施設、職業輔導業の發達を促し、道府縣並に市町村等の公共團體が補助、助成せんとする場合には緊急已むを得ざる事業と認め事業計劃の起債を認可する。

二、失業救済事業施行範圍の擴大

國庫より勞銀の半額を補給する失業救済事業の實施は、社會政策審議會の答申を尊重し、地域期節に拘泥しない事にしたが、内規を以て六大都市管轄府縣、その他失業者の特に多い地方に限定してゐたのを、失業の防止を主眼とし、且つ農村にも均霑せしむべくこれを變改し、失業緩和に寄與する地方にも認める。

三、各種組合の失業救済事業に勞銀二割五分補助

従來府縣、市、町等失業救済事業を施行する場合、國庫より勞銀の半額を補助してゐるが、更に水利組同、北海道土工組合、耕地整理組合並に聯合會、森林組合、土地區劃整理組合並に聯合會の

事業が、失業救済事業に寄與すること、大なる場合、必要に應じて起債を認可し、勞力費の二割五分を國庫より補助すること。

四、失業救済事業實施方法

イ、請負工事も認む。

失業救済事業は原則として施行團體の直營工事のみに限定してゐたが、これを緩和し使用労働者の過半数は失業者と認定されし者を雇傭すること。

ロ、暫定職業紹介所の創設

失業救済事業施行地には常時又は臨時職業紹介所を設け、事業執行者と連絡を密にして失業者の防止に努めること。

ハ、労働の機會均等

失業登録労働者に對しては労働者の均等を圖ること。

以上の失業救済方法は従來の救済事業の條件並に起債緩和の根本方針を示し、農村にも擴張し、組合事業にも勞銀を新に國庫より補助せしむるものであつて、従來のものより多少進歩的である。従來の冬期のみ土木事業による救済を擴張し、四季を通じての救済は確かに進歩的であるが、

救済事業の恩恵を受くる者が所謂顔馴染の者や、職業紹介所登録者が優占權を有し、たまに救済事業の職にありついても、一ヶ月に十日位であつて、それに日給の自分の手に入る金が一圓内外であるとの事である。一ヶ月十日間即ち十圓位でどうして家族を養つて行けるであらうか。公企業の擴張による應急的失業者の救済も、結局一時の雨露をしのぐに過ぎず、何時また職を失ふかもわからない「灰色の不安」は、彼等の腦裏にコビリ付いて離れないであらう。失業問題の終局の対策は失業保險制度の實施でなければならぬ。

9. 失業保險制度の急務

さてこの失業保險法であるが何と言つても資本主義經濟制度下では、是が最終的解決案であらう。失業保險で最も目醒しい發展をして居るのはイギリスである。同國はヨーロッパ大戰以前失業者が激増するや、一九二〇年従來の失業保險法に大改正を行ひ、被保險者が機械工、造船工、鐵工等を主として約六萬人位に施行されて居たのを、更にその範圍を擴張し、農業労働者、家庭内雇人、一ケ年二百五十磅以下の收入ある會社員、その他一切肉體並に頭腦労働者を包含させ、被保險者を千四百萬人に擴張した。

而して、その受くる保険金も増加させ、男子成年労働者は一週十八シリング、婦人労働者は十五シリング、少年は七シリング半、少女は六シリング、期間は一ケ年を通じて十五週間以内で、失業してから四日目に保険金が貰へる。拂込は一週間に成年男子労働者は五ペンス、雇主は六ペンス、婦人労働者四ペンス、雇主五ペンス、幼年工も是に準じて居る。これに對し政府は雇主との掛金の四分の一だけを支出し、その金額も一年に一千萬磅を超過しない程度であつたが、労働黨内閣が昨年六月に再度政權を獲得するや、更に失業保険法の改正を企て、保険金額も従來のものに更に年額一千二百萬磅を増加した。即ち妻及その他の成人に對し扶養義務を有する者に對しては一、週二シリング給與金増額をなし、未成年者は毎週若干の増加をなし、且つ年金制度の本旨を遂行するに妨げとなるが如き制限条件を除き、又一方には保険年齢を引下げて、一九三一年より小學校卒業年齢たる十五歳とした。

失業保険に任意と強制とがあるが、強制失業保険が世界的趨勢として益々普及されに來る傾向である。強制保険は今や、オーストリア、ブルガリア、ドイツ、イギリス、アイルランド、イタリー、ポーランド、ロシアの八ヶ國に實施せられて居り、是等の國に於ける四千三百萬人の労働者は被保険者としての恩恵を蒙つて居る。その他チエコツスロバキア、デンマーク、ルクセンブルグ、オランダ、ノルウェー、スイスの一部に於ては政府の補助による任意的失業保険制度行はれて居り、その包容する労働者は三百萬に達して居る。

10. 國營強制失業保險制度

國際労働會議は近き將來に於て強制失業保險制度に關する條約を採擇する事により、この制度の普及に努力して居る。失業救済の最終手段として、失業保險制度の必要なる事は、我國朝野に於ても既に論議し盡された様であるが、今や抽象論に耽ける時ではなく、具體案に一步を進めなくてはならない。

内務省社會局でも我國現下の國狀に鑑み、國營強制失業保險制度が最も適するものと見て、これが具體案を鋭意研究中との事であるが、大體の根幹は左の通りであると傳へられて居る。

11. 國營強制失業保險制度の概要

範圍 工場労働者(約百五十萬人) 鑛山労働者(約三十萬人) を被保險者となし、將來は商業労働者災害扶助法等の制定實施に伴ひ、商業労働者や土木建築交通労働者並に日傭労働者を加入せしめる事。

失業問題とその對
保險料の負擔 勞働者資本家各三分の一とし國庫からも保險給付額の三分の一の補助金を交付する事。

保險料 は總額千二百萬圓位で處理が出来、資本家、勞働者及國庫は約四百萬圓位の負擔となる
失業の定義 勞働能力が有りながら職を得られない者を失業者となす。従つて工場閉鎖同盟罷業による失業者や疾病廢疾に依る者、又は職業紹介所や勞働組合から生業を授けられながらこれを拒否した者は失業者と見ない。

失業保險の給付 一定期間(六ヶ月位)保險料を納付した者が失業者となつた場合特に定期間(一週間位)後標準日給の六割を支給する、但し保險給付の期間を例へば四ヶ月に限定する。

12. 根本的對策を樹立せよ

國營強制失業保險の範圍は、單に工場勞働者及鑛山勞働者のみに局限せず、更に擴張して俸給生活者並に家内勞働者その他一般的頭腦、肉體勞働者をも包含せしむべきであると思惟するのであるが、この強制失業保險が失業救済の研究題目たるに止り、現内閣がこれが實施の意思のないのは甚だ遺憾である。現に特別議會に於て安達内相は失業保險法を實施する意思のない事を言明して

居り、更に貴族院に於て失業救済策の具體案は持合せないが、もし諸君にして具體案があらばお教示を乞ふと、却つて反對黨に逆襲して居る様な有様である。

とも角、議會終了して大方の法律案は通過したが、失業問題は解決されたのではない。三週間の特別議會を回顧すると、失業問題についての論議はかなり激烈に行はれた。衆議院の山崎代議士の質問的攻撃演説に始まり、貴族院の失業救済建議案に至るまで、幾多の抽象的觀念的論議が繰り返され蒸し返されたが、得る所果して幾何であつたであらうか。

民政党内閣が失業問題の重要さを認めて居りながら、これが對策に積極的態度に出でず僅かに職業紹介所の完成、地方起債の緩和位でお茶を濁して居つて失業救済に誠意のないのをバクロしたのみならず政府の無策を罵倒し攻撃するに少しも躊躇しなかつた政友會に、果してどれだけの具體策を持合せたであらうか。

不景氣は愈々深刻に、失業群は益々激増する。而して社會的不安は刻々と迫つて来る。この失業救済の大問題に對し、天下の二大政黨が何等の根本的對策を講ぜず、拱手傍觀して不安なる生活苦の流るゝまゝに放置するは、甚だ遺憾な事と言はねばならぬ。吾等の意見を以てするならば現在資本主義經濟組織の下に於ては、失業問題の根本的對策は、失業保險の實施の外に良策はないと確信

する。

職業紹介所の擴張も可なり、土木事業による救済も可なり、だが惨憺たる失業群の大洪水に對して、是等の施設は、燒石に水、二階から目薬、大火に對する一桶の水でしかあり得ない。吾等は失業保險制度の一日も早く實施されん事を希望せざるを得ない。

中小階級の窮状と救済

百貨店と小賣商の白熱的對抗
中小商工業者の金融救済策

1. 減俸と不景氣

こんな事が書いてある。

「去年の大掃除の時だ。うちの亭主が石灰を持つて縁の下へ這ひ込んだらおめえ、大きな私たちの野郎が面喰つて飛び出したと思ひねえ」「ふん」と感心して見せる。「いたちつてけども、何に鼠の少し大きいぐれえのものだ。こん畜生つて氣で追つかけて、とう／＼泥溝の中へ追ひ込んだと思ひねえ」「うまくやつたねえ」と喝采してやる。「ところがおめえ、いさつて段になると奴め、最後の尻をこきやがつた。臭せえの、臭くねえのつて、それからつてえものはいたちを見たと胸が悪くならア」彼は是に至つて恰も去年の臭氣を今猶感ずる如く前足を揚げて鼻の頭を二三遍なで廻した。車屋の黒（猫の名）は其後跛になつた。彼の光澤ある毛は漸々色があせて抜けて来る。吾輩が琥

珀よりも美しいと評した彼の眼には眼脂が一杯たまつて居る。吾輩が例の茶園で彼に逢つた最後の日、どうだと尋ねたら、「私たちの最後尻と肴屋の天秤棒には懲り／＼だ」といつた。

これは夏目漱石の「吾輩は猫である」の一節である。

それで、若し今日夏目漱石が生きて居たならキツト猫をして言はしめるに違ひないであらう。曰く「減俸と不景気にはやりきれない」と。

兎も角、今は深刻な不景気である。この不景気の原因が言ふまでもなく、大戦後の工業生産能力の膨張と販賣機關の擴張、累年に亘る輸出貿易の不振であるとか、さては大震災に亞ぐ昭和二年の銀行騒動、舊平價による金解禁、産業合理化運動によつて愈々深刻になつて來た事は勿論である。其處へ持つて來て、政府今回の行財政の整理緊縮政策が、益々不景気に拍車をかけた事は明白である。

其の眞先きに斷行されたのが官吏の減俸である。「減俸反對」と一時全國の官吏が一致結束して蹶起したかの如く見えたが、案外腰の弱い官吏である。長い者には巻かれるの主義で泣寝入り、文字通りに龍頭蛇尾に終つたのは、實に哀れにも又おかしくもあつた。官吏には労働者團結権を認めないで、若槻首相の名を以て發表された官吏に對する訓示もかなり時代離れのしたもので「一身を

捧げて國家の公務に服する者」とか。

特別に「犠牲奉仕の精神に富む者」でなければならぬと要求するが如きは、恰も彼等は昔時の奴隸階級でもあるかの如く、何事も唯々諾々と服従すべき者であると、見なしたものと觀察しても差支へあるまい。

が、何れにしても昔の官吏は明治時代の官員様の如く、民衆と御用商人を眼下に見下し、高く自負する事も出來たであらうが、不幸にして昭和時代の官吏は、否やでも應でも、所謂首相の訓示の如く「一般國民と苦樂休戚を共にする」景氣不景氣の風に吹き流される勤勞階級なのである。サラリーを唯一の收入とする月給階級である。

2. 納税上に現はれた世相

だからこそ、減俸されれば從來の生活態度を改めねばならぬ。購買力の減退は必然である。六百萬圓の赤字の埋合せの爲め減俸沙汰は、さなきだに不景氣に喘いで居る中小商工業者に如何なる影響を與へる事であらうか。中小商工業者の一般が如何に不景氣に惱まれて居るかを、納税上に現はれた數字を見てもその一端を窺ひ知る事が出来る。例へば、税金の取立て額が日本の稅務署中で

一番大きく、會社や大小商店を持つて居る神田稅務署に一例を取つて見ると、全國一億五千萬圓の稅の中で約二割を占むる丸の内一帶約三千の會社の中で、滞納が約三百件(昭和四年調)その總額は十八萬圓で、即ち滞納者が全體の約一割になつて居るのに、金高は僅かに六毛に過ぎない所から推察すれば、如何に小商店小會社が滞納して居るかがわかるのである。滞納者の最高額が一萬二三千圓から、最低二三千圓程度がその大部分で、中にはタツタ一圓の税金も拂はない會社もあつたとの事である。

又日本橋の間屋街を引受けて居る永代橋の稅務署は、總稅取立て金額は三千五六百萬圓に上つて居るが、これが滞納者が約七百人(昭和五年三月調)で、その金高は僅かに十五萬圓である。是等の數字は如何に中小商店が不景氣に呻吟して居るかを物語るものである。この趨勢は所謂經濟學者の言ふ「中小會社の經濟的發展は必然的に小經營の没落に導く」の學說を裏書きしたもので、中小商工業者が百貨店その他の大資本を有する者に壓迫され、その經營が困難となつて來て、遂に大資本に合同併呑されたり、小資本乃至小賣商、夜店商人に没落しつゝある事を雄辯に指示する所である。

神田橋の一昨年度の納稅額が三千萬圓であつたのが、昨年度の納稅決定額が三千五百萬圓に上つ

たのは、大資本會社がグン／＼と發展し、中小會社がドシ／＼破産して併合されたり、或は幽靈の如く消え去つたものである事は言ふまでもない事である。

3. 小賣商の背水的商戰

適者生存と言ふか、弱肉強食とでも言ふか、大資本の進出、小商人の退却を示す好適例は百貨店對小賣商店の對立戰であらう。特に最近の百貨店の躍進振は物すごく、互ひに未曾有の擴張をやつて居るのにひきかへ、全市の小賣商はたゞさへ不景氣で四苦八苦のところへ、百貨店の新設擴張で愈々苦惱を益すばかりである。これが對策として「〇〇大廉賣」「△△大割引」「××大投資」と矢繼早に死物狂ひで大賣出しをやつて來たが、それでも間に合はなくなり市内各區各町の小賣業組合は、百貨店對抗策の協議會を開いて、大藏省、商工省、東京商工會議所始め各關係方面へ數願やら陳情やらして、大資本の壓迫防備に躍起となつて運動して居る。それでも、小賣商の營業振は全く上つたりで倒産者續出するので、東京府商工課でもこの窮狀を座視するに忍びず、中小商人擁護のため東京市郡の小賣商人二萬人、五百の商店會を打つて一丸とし、東京商店會聯盟を組織を斡旋し、六月八日には商工獎勵館で創立大會を開催するまでになつた。

その結果は、東京百貨店協會との間に激しい商業戦の演ぜられる事は火を賭るより明かである。この商店會聯盟の仕事は、従来百貨店が問屋に對し特別な取引をして居るので、聯盟側でも特別取引を要求し、買入れ値段を安くする一方大々的共同賣出しをして對抗しようとするのである。最近百貨店が市内外の無料配達は勿論遠く小田原、水戸、静岡邊りまで無料配達の區域を延張する外家具類等の月賦販賣を實施するに對し、聯盟會も負けず劣らずこれが對策を講ぜんとして居るが、しかしながら、小賣商の對抗運動を冷眼視して、百貨店の方では大資本といふ一大武器を擁して、この不景氣をカツ飛ばす意氣込みを以て、益々攻撃の魔手を伸ばし、銀座尾張町に進出したばかりの三越は、更らに新宿の外池袋驛前と本所龜澤町市電車庫跡に分店を新築し、新築したばかりのモダン白木屋は、最近開店したばかりの本所錦糸堀分店を合せて、市内外九ヶ所に支店を以ても未だ満足せず、近く牛込神樂坂にも支店を新設した。高島屋も一二年後には日本橋通りに工費三百萬圓を支出して一大ビルヂングを計畫し、松屋、松坂屋、布袋屋等も擴張計畫を進める外、新株の募集をなして資本の充實を計つて居る。

4. 百貨店の大躍進

最近の百貨店の一年賣上高は（東京商工會議所調査）最高九千二百七十萬圓から、最低二千二百六十萬圓といふ多額であり、この中四大百貨店の商品券の賣上高だけでも、一千七百八十六萬餘圓といふ多額である。もつともこの金額は諸外國の大百貨店、例へば、アメリカのワナーメーカーとか、マールシアル・フィールドや、パリーのルーブルとか、ボン・マルシエや、ベルリンのウエルタムや、ロンドンのハロツツ等の百貨店はトテモ較べものにはならないが、それを日本のみの賣上から見れば大きな金額と言はねばならぬ。

百貨店がかくの如く大きな金額を吸収して資本の運轉は潤澤となり、物品は廉價に購入し得るので益々繁昌して行くのに引きかへ、小賣商は愈々衰亡して行く。かくして、小賣商人は従来種々な團體行動を採つて來たが、それが共存共榮の組合運動や、百貨店商品券反對運動の様な極的反抗運動をやつて居る中は平穩無事だったが、近頃はそんななまぬるい事では満足せず、或は小賣商團體組合の如きは「百貨店を叩きつぶせ」最後まで闘へ」といふ様な労働爭議にでもある様なスロガンを振りかざして、戰闘的態度の眞剣さは實に悲壯の極みである。

ひとり東京のみならず、大阪でも百貨店が出張販賣を計畫する毎に、會場問題を繞つて兩者の間に激しい論争が繰り返され、殊に會場を貸したる者には暴力を以て脅迫するに至つた事は二

三に止まらない。不景気の深刻化は彼等をして暴力を用ひねばならぬ程までに到達した。

5. 中小階級は没落するか

小賣商の百貨店に對抗する事は、果して蠅螂の斧を持って龍車に向つて行くが如くであらうか。中小商工業者が大資本家に向ふは、果して百羊が一匹のライオンに對する如くであらうか。彼等の辿る途は果して没落の一途のみであらうか。

この問題に關して、經濟學上隨分劇烈な論争が繰返され、蒸返されたものである。その中で最も興味ある理論的論争の一は、カール・カウツキーとエドワルド・ベルンシュタインとの論争であらう。この兩者の論争は現在に於ける中小經營者の没落の程度状態に關するもので、老大な書物の内容を紹介するには紙數にも限りがあるし、加之、今はスピード時代であり、何事も簡單が崇拜される世の中であるから、つとより早くコンサイズ的に言へば。

カウツキーは「社會主義の前提條件たるものは、小經營がすつかり消滅して仕舞ふ事ではなく、小經營が生産過程から排除されて、事業の利益を獨占する大資本家の配下になる。つまり隷屬する事である。小經營の没落衰退は資本主義發展の齎らす避くべからざる一現象であつて、これが今日非

常な勢ひで實現せられて居る事は、どんな社會的政治的な盲人でも手探りで充分に知る事が出来る」(社會民主黨綱領解説)といふのである。

これに反對の立場をとつて居るのは、ベルンシュタインの理論であつて、彼は謂て曰く、「大經營は絶えず中小經營を吸収併呑するなどといふ事はない。寧ろ大經營はそれなりに中小經營と相並んで發達してゐる様な状態を呈して居る。大經營業者は中小經營業者に損害を與へたり時としては小賣業者全體の營業を困難ならしむることもある。併しながらかくすれば小賣業者は止むなく大商店と競争し、その場所的關係から生ずるあらゆる利益を利用するに至る。かくして營業の新しい専門化と新しい結合とが生れ、營業經營の新しい形態と方法が發達する。」(社會主義の前提と社會民主黨の任務)と言ふのである。

兩者の論争は随分華々しいものであつた。その何れが果して正しいか。即ち資本主義の經濟的發展は中小經營を没落に導くか。或は大資本家と併行して存在するかの問題は、各國各時代の經濟状態、社會状態によつて異なるのであるが、今前者の言をそつくりそのまゝ受け入れて、優勝劣敗、適者生存の理法に任かして、中小階級の没落を放任して置いてよいものであらうか。大衆の幸福なる生活、國家の健全なる發達から觀ても、將又、社會正義の上から言つても、階級闘争緩和の立場か

ら言つても、國家の中堅階級の没落衰退を唯徒に袖手傍觀、自由放任視してよいものであらうか。否、よろしく救済すべきである。

6. 中小商工業者不振の原因

然らばこれに對し如何なる方策を採るべきか。中小商工業者不振の原因は色々と研究され、種々論じ盡されて居るが、これに就て根本的改善を要すべきは、金融に依る救済そのものである。大小經營の例を百貨店と小賣商に採つて見るに、結局は百貨店は大資本を持つて居り、小賣商はその數が過多であるのみならず、經營が舊式であつて不合理だから適はないといふが、百貨店の數も中々多く、決して獨占的強味がある譯でもなく、やつぱり激しい競争をして居るのである。

唯だ問題が金融の事であつて、この點が兩者に雲泥の大差が生じて来る。百貨店は大資本を擁し仕入原價を安く仕入れる事が出来る。支拂は延取引である。しかし、小賣商は現金拂の者が多く、製造家より大量購買でないから割高のものを買はされ、中間の手を経る機會が多い故、原價は高からざるを得ない。大刀打の出来ないのが當然である。

試みに、現在中小商工業者が如何に金融難に惱んで居るかを調べて見るに、全國普通銀行に於て

大正二年末には預金總額よりも貸出額の方が七億八千萬圓も多かつたものが、金融恐慌後銀行が貸出を非常に警戒する様になり、一昨年末の如きは預金が九十二億圓あるのに對し、貸出しが七十三億圓で、即ち預金に比して逆に十九億圓も少ないといふ状態を呈して居るのは、取りも直さず銀行が貸出しを警戒する様になつた證據である。確實な擔保信用がなければ貸出さぬと言ふ事を物語つて居るのである。加ふるに、大藏省の獎勵により、最近迄銀行の合同併合して行く數字は非常に多い。昭和元年から一昨年末までの間に、合同のため消滅した銀行數は五百七十三行、その中十萬圓以下の小銀行が百四十行、五十萬圓以下の中小銀行が、殆んど全體の五分の四の四百十九行を占めて居る様に、従來比較的中小商工業者の便宜を計つた中小銀行や地方銀行の激減が、中小商工業者の金融難を一層甚だしからむるに至つたのである。

然らば、現在如何なる機關から金融を得て居るかと言へば、營業收益税や所得税五十萬圓以下を納めて居る、中小商工業者の殆んどその半分が、問屋や卸賣又は金貸業から借りて居るのである。直接國税五十圓以下十圓以上を納める者で、銀行から資金の供給を受けて居るのが三割、問屋及卸賣から借金して居るのが三割七分、高利貸から一割四分といふ金融状態である。同資格の小賣商に至つては、銀行から融通を受けて居る者は僅かに二割、問屋卸賣から借りて居る者は五割一分を占

め、高利貸から一割五分も借りて居る者もある。

高利貸から借りて居る様な者の製造品が安價に出来るものでない。かくの如き状態であつては如何に小賣商が改善を策し、中小商工業者が難局打開策を講じても、到底所期の目的を實現し得ない。故に中小商工業者を眞に救済するには、先づ何よりも金融状態の改善が急務である事は、何人よりもその衝に當る者自身が一番良く承知して居る筈である。

7・難局打開唯一の途

この行詰れる小賣商の打開策として、今日まで種々なる名論卓説が揚げられて来た。その中で最も代表的なのは、昨年政府の商工審議會特別委員會の草案に係る小賣商制度改善策であらう。その内容は(一)小賣商の經營合理化、(二)商品の安價仕入れ、(三)販賣の合理化、(四)金融の改善を骨子としたもので、参考のため左掲する。

小賣商制度改善案

- (一) 經營の合理化
 - A 營業上の無駄を省き、營業費の低減を計り、且家計と營業費との混同を避けること。

(二) 商品の安價仕入れ

- A 小賣商共同して商品の仕入を専門家に一任し、その割當融通を圓滑にして大量仕入を行ふこと。
- R 生産者、輸入商又は中央卸賣市場と連絡を保ち、成るべく直接購入をなすこと。
- C 其他運送倉庫、製作又は加工々場の設備を共同にすること。

(三) 販賣の合理化

- A 建物、陳列法、サービス、廣告、販賣員等の養成等に注意し、顧客吸收策を講じ、賣上高の増加を図ること。
- B 回轉率本位に商品を取扱ひ、餘剩手持品を尠くすること。
- C 掛値、駆引等をなさぬこと。
- D 配達の有無、現金賣と掛賣とにより價格の差別を設けざること、但し掛賣は多年の慣習其他の事情により遽に廢止し難きも、成るべく現金賣の勵行に力め貸倒れなき様警戒すること。
- E 正味數量を明確にすること。

(四) 金融の改善

7・難局打開の唯一の道

- A 小賣商の信用能力を高め、大企業者と同様に銀行を利用し得る様にすること(組合聯合會等結合の力によること最も有効なり)
- B 小賣商のため特に金融機關を整備すること。
- C 金融便利法の一策として、營業全體を一個の財團とし其上抵當權を設定するを得せしめ、此に依て金融の途を開くこと。又動産抵當法を制定し、商品を擔保として金融の途を開き、商品の資本化に便利ならしむること。

以上を一讀すると學校の教科書と同じく、有益で如何にも理路整然として居るが、當業者側をして言はしむれば「こんなものは實行不可能な机上の空論に過ぎない」となし、東京實業聯合組合の如きは、更らに積極的の百貨對抗策を主眼とする決議を發表した。即ち、

- (一) 商品券を撤廢すること。
- (二) 重要物産同業組合法を改正し、「同業組合の設置ある地域内に於て其組合員と同一商品の販賣若しくは製造を營む者は其組合員と見做す」と改め、強制加入權を撤廢せしむると同時に百貨店の同業組合除外認可を廢止し、以て同業組合の健實なる發達を期すること。

- (三) 中小商工業者の金融を目的とする特殊庶民銀行を設置すること。
- (四) 營業收益税を輕減し、且その免稅點の引上を示すこと。
- (五) 不當廉賣禁止の方法を講ずること。
- (六) 同業組合に對し倉庫業を經營し、倉庫證券を發行し得る權能を與へ、その證券により金融の途を開かしむること。

これは、百貨店の特點たる商品券の發行を禁止し、又法令の改正により、百貨店を同業組合に引入れて、そしてその責務を同一ならしめんとする魂膽である事は言ふ迄もない。

元來小賣商は人口の近年都市集中の趨勢に比例してその數を増加し、むしろ過剩となつて居り、互ひに競争し、不當廉賣に憂身をやつし、市場を攪亂しつゝある時に、一方に於て民衆生活の向上と共に百貨店が勃興して巧みにその特長を發揮したのであるから、小賣商も従來の營業方針を改め、單に百貨店の商品撤廢のみを叫ばず、根本的に金融の改善を企て、互ひに一致團結して現時の窮況を打開するより外に途はない。

津波の如く押寄來る大資本の壓迫に對抗して、中小商工業が立派に大工業の侵害し難い地歩を確步するには、一方には經濟的に共同戰線を張り、他方政治的に近年勃興せる商工黨(共和一新會、

中堅建設同盟、全日本商工黨を援助し、彼等の権利を主張し、利益を擁護しつゝ一致團結して對抗策を講ずるの外に、この不景氣を突破する良途はないと信ずる。

國難元寇と海賊倭寇

1. 博多灣頭の追憶

◇四百餘州を擧る十萬餘騎の敵

國難こゝに見る弘安四年夏の頃

元寇の唄で有名な弘安の役は、實に我が民族の國難とも言ふべき大事件であつた。

今より六百五十年の昔、弘安四年（一二八一年）に、元軍十萬の精兵、四千の艦艦を率ゐて來襲した時、日本の上下驚倒、その狼狽は何に例へん様もなかつた。

幸ひ國論一致し、元の大軍を襲撃し、颯風に乘じて是をせん滅する事が出來たのは、これ偏へに上は龜山天皇身を棄てさせ給ひての御祈願、下は北條時宗の豪膽にもよる所大なるものがあつた。

弘安の役を偲ぶに最もよき史料は、白砂青松の好風景で名高い博多灣頭に於て、近頃發掘された石壘であらう。博多に遊んだものは誰でも十萬の大軍を防戦すべく石壘を築いて、勇戦した我等が

祖先の勇姿を想ひ起すであらう。

在吳城市盡烽煙 百姓濟物半在船

爲間秋風舊來雁 稻梁今有幾家田

明の詩人孫良嘉が日本の海賊倭寇の侵略後の慘狀を歌つた實況である。倭寇の殺倒する所悉く烽煙と化し、稻梁の民家殆んど無しとの慘狀は、詩に、歌に、文章に幾度か明史に書かれたものである。

今日、青島の膠州灣岩頭に石火矢の仕掛の遺跡、明國が如何に倭寇に備へる爲に苦心を拂つたかを、吾々に示す一史料である。

2・倭寇の白熱黄金時代

蒙古軍の日本來襲、日本軍の支那侵略、元寇と倭寇とは、離する事の出来ない深い關係がある。弘安の夢より醒めた國民は、海防の必要を痛感するのみならず、是に刺戟されて貿易熱が勃興し、海外雄飛の熱があがつた。鎌倉時代以來九州の内海邊に蟠居して、朝鮮の邊境を掠奪し、海賊と貿易とを事とし渡航した鎮西諸國の豪族、邊民、商人並に南北朝の争ひに天下亂れて、國と財と主と

を失つた亡命の徒は、孰れも相率ゐて志を海外に立てんとした。

而して、その向ふ所は朝鮮、支那、安南、シヤム、マラツカ等であつた。彼等は名は貿易に托するも、勢ひの激する所遂に密商となり、海賊となり、焚掠となり、北條の末期より足利時代の治世は、實に彼等の跋扈跳梁時代であり、白熱的黄金時代であつた。朝鮮、支那沿岸を縦横無盡に蹂躪し剽掠し、劫奪至らざるなく、明の史家をして『國家の憂は南倭に在り』と嘆聲を發せしめ、倭寇の一語は彼等をして戰慄せしめるに至つたのは、その根源は元寇に對する我民族の復讐的行爲であると觀察しても差支へあるまい。

蒙古王忽必來は祖宗鐵眞の遺訓に基き、世界統一といふ大望を、その一代の中に遂行せんとし、遮二無二に隣國を征服し、東はウラルの勃海灣より、西はモスコの果まで領土ならざる土地はなく、隸屬せざる國はなしといふ勢威を揮つて居た。

四百餘州を平定し、宋の天下を奪つてから貢するもの一千餘國、草木もなびかさるものゝないその中であつて、ひとり東海の日本國のみ、貢を入れなかつた。

『我國に従ふか、それとも戦ふか、その一を擇べ』と元國からの無禮至極、傲岩不遜な牒狀に、時の執權北條相模太郎時宗は激怒し、元の使者の首を馘り軍門にさらし、六十餘州に號令して、『い

「さ來い來れ」と防禦の準備をささ怠らなかつた。

この報を傳へ聞いた忽必來の激怒何に例へん様もなく、無禮なる日本を征服せよと大軍を派した。文永の春、弘安の秋の來襲に我國民の狼狽その極に達し、市に米賣る商人なく、里には俄に泣く窮民が出る有様であつた。かく國難の引續き起るは朕の不徳の至す所であると、自ら身を責めて御位を退き給ひたる龜山上皇は、民の窮狀を聽こしめし、非常に御軫念を惱ませ給ひ、朕の不徳の故を以てこの國難は起れり。民の塗炭を外に見ていかでか朕のみ關東に脱れ去る事が出來ようか。とて御自身自ら筆を染めさせ給ひ、神風や伊勢の御祖の大神にわが命召させ給ひて、この國難を救はせ給へと深く御祈願を籠めさせ給ふた。

3. 日本民族の一大危機

上には仁君一身を棄て給ひての御參籠、下は執權北條時宗の號令に、千軍萬馬の猛者勇者が拜めず屈せず元の大軍を防戦した。恰度頃は弘安四年うるふ七月一日、上皇御祈願滿願の日、西九州の空、一天にはかにかき雲り、大地山河鳴動し、一陣狂ふ大暴風雨に、數千の蒙古船、塵芥の如く波の上に浮び、十萬の命は、哀れにも海底の藻屑と消え失せてしまつた。

日本民族の一大危機に當り、かくの如き大勝を招いたのは、執權北條時宗の果斷勇決、鎮西諸國の忠勇無双はいふも愚かの事ながら、これ偏に龜山上皇が御命を棄てよの御祈願で、至誠天地を動かし、祖宗の冥護神風となつて、蒙古の大軍を吹拂ひ給ふたものである。

爾來春風秋雨六百五十年の星霜この弘安の役ほどの國難はなかつた。

元寇への復讐として倭寇、日本海賊の民國への侵略は隣國を惱ましたものである。

天文以後倭寇蹂躪の跡を明史に就いて尋ねると、『倭寇刀を揮ふ事神の如し』衆皆刀を舞して起ち明兵倉皇首を仰げば、則ち下より斬り來る『寇船官兵を見れば風の如く逃げて統卒不能、而して賊船の行く所破壊せられざるなし』と書いてある。

彼等の行動は神出鬼没、その操船は出沒自在、その來るや疾風迅雷、その去るや電光石火であり加之、千軍萬馬の古強者であるから、八幡船の向ふ所敵なきが如しで、如何に明國人の心膽を寒からしめたかを想像する事が出來るのである。

しかし、こんなに活躍した倭寇も、不幸にして將軍足利義滿等の近視眼的政策により、四國九州に蟠居して居た海賊は、將軍の權力により掃討されてしまつた。それが爲彼等の海外雄飛の機會は著しく制限された。

イギリスの如く國家自らが海賊貿易に後援しなくともしも、我國倭寇の活動を自由に放任して居たならば、彼等は内は國內に莫大な富を齎らし、種々なる産業を刺戟し、外は貿易活動範圍を擴張し、遂に世界市場へ進出し、日本の世界的進出を……言葉をかへて言ふならば日本の資本主義化を……數世紀早めたであらう。

過去の歴史へ『もし』といふ假定語を投げて、將來を推測する事は無駄な骨折りかも知れないが、イギリスの海賊が國家に對し偉大な經濟的貢獻をなした事を想起す時、その地勢が餘りにもよく似た日本が、倭寇の飛躍を愚かにも阻止した事は、我國にとつて非常な損失ではなかつたのではなからうか。

4. 海賊國イギリスの膨脹

日本の如く海賊を壓迫する事なく、イギリスではむしろ是を保護し獎勵した。エリザベス女王の如きは海賊に特許状を出し、女王自ら海賊投資に加はり莫大な公債を悉く支拂が出来たそうである。始めは夜陰一發の狼火を合圖に、亂雲の如くにここかしの岩蔭から集ひ來り、遙か沖合を通る商船を襲撃する様な小仕掛から、漸次發達して、終りには戰艦數隻を率ゐて、世界掠奪の壯舉に

向ふ様な大仕掛けのものとなつた。

イギリスの海賊が益々發達するに連れて、造船業が刺戟されて、民間でも盛んに大船を作り、海賊の註文に應じて歡んで海賊船を作つた。スペインの財寶船たる銀船隊を襲撃したり、要塞堅固なポルトガルの要塞を攻撃したり、敏捷果敢なフランス商船と闘つたりする中に、彼等獨得の海賊を創造し、獨得の航海術と慍悍勇猛な氣風を養成する様になつた。

故に、日本の元寇にも匹敵すべきスペインの無敵艦隊の大軍が、イギリス征服の壯途に向つた時に、正面からぶつかつては到底比較にならない噸數、大砲、戦士でもつて奇襲を以てこれを襲撃して大勝利を占めた。イギリスの興敗此一戦に在りと思はれ、國運を賭して戦つた大海戦に當つて、上は名將ホーキンス、ドレーク、フロビツシャーから、下は一兵卒に至るまで、大部分は海賊出身の勇士であつた。

イギリスでは今日に於ても、ホーキンスとかドレークの如きは、國民的英雄として崇拜されて居るが日本では海賊の如きは國禁破壞者として冷遇し虐待した。今日、歴史上海外に活躍した山田長政、濱田彌兵衛、錢屋五兵衛、呂宋助左衛門、暹羅屋勘兵衛、茶屋四郎次郎、原田孫七郎等の事蹟に就いて知つて居る者は少しはあるであらうが、日本の海賊、倭寇の總大將、日本の海賊大王を以

て自任した村上一家の名を知る者は殆んどあるまい。

我國海賊史上最も華々しい活躍をしたのは村上一家である。村上家の先祖は元軍十萬の精兵が、四千の艦艦を率ゐて來襲した時蹶起した勇將河野道有である。河野道有は元寇の際二隻の輕舟を率ゐて山の如き艦艦並列の敵中に漕ぎ寄せ、檣を倒して敵艦に攀ぢ上り、數百人を殺傷して艦長と覺しき者を捕虜となし、一兵も損せずして還つたと言ふ神鬼勇膽の武士であつた。

その後北條政府が文弱に流れ、財政の彌縫に忙殺されて他を顧みる暇もなくなると、河野の子孫及其の一黨は、同趣味の健兒を糾合して日本海賊の中心となり、盛んに大陸及韓半島に遠征軍を送つた。河野家の子孫は頗る繁昌し、河野十八家と稱せられるに及んで、波濤の健兒がその門に集り外國の珍品財寶がその室に充ち、彼等は皆海外を語り、大陸を説き、眼中北條政府なく、世界を視る事一家の如く彼等を牛耳る河野本家は恰も無冠の帝王の如くであつた。

5. 海賊王村上一家の活躍

河野十八家の一家に有名な村上家がある。村上家は古來海賊の首領として、雄を一方に稱えて居たが鎌倉時代の中頃に主人の常陸介頼冬に子がなく、河野本家の主人通晴の孫小太郎を養子とした。

その結果村上家は河野の一族となり、十八家の一に加はつて以來勢力を扶殖し、日本海賊大將軍と自稱するに至つた。

その頃肥前の平戸島に據り、自ら徽王と稱し、明朝の一敵國を以て任じて居た支那海賊の首領汪直なる者があつた。

『日本人一萬人あれば、明國を征服する事容易い事である』

となし村上一家を説き、是と氣脈を通じ、明の嘉靖三十二年に空前な大倭寇軍を組織し、大舉して明國に攻め入つた。

先づ敵將昌國衛を破り、上海縣を占領し、揚子江を遡り、江陰を掠め、大倉より蘇州を攻め、四方を侵略した。そして、最後に明の總督兵部尙書張繼の本軍と會戦した時、倭寇の戦死者千九百人に及んだのを見ても如何に激戦であつたか想像されるである。

就中最も壯快なのは此戦に本軍を離れた倭寇の一隊僅に七十人、杭州より西上して蕪湖に達し、南京城を攻め立て、明兵を殺傷する者四千人に達したとの事で、實に一騎當千の強者と言はばなるまい。そして彼等死する者一人もなく、彼等去つても南京の城門を開かざる事久しく、揚子江上に盤踞する事三年にも及んだ。

彼等は常に裸體で身に帶ぶるものは禪一つのみで六尺に餘る大刀を揮りかざし、難攻不落と目せられたる福建省の興化府を陥れた事情の如きは、一片の稗史小説にもなり得る。興化府と雖も、もとより城壁を以て圍繞せられ、其壁の周圍千八百三十丈、壁の高さ二丈四尺、城外一面に濠溝あり、背面は險山が控え、金城鐵壁といふべきであつた。倭寇如何に攻め立てても容易に抜くべくも見えなかつた。

興化府の危ふきを聽いて援軍を繰り出した南京都督劉顯の大軍が城外の附近に駐屯し、密使を城内に放つ所を不運にも倭寇軍に捕へられた。倭寇は密書改ざんし、日を期して劉都督が城内に援兵を入れんと偽つた。城將大いに喜び約束の日に城門を開いた所を、倭寇軍は援兵の如く装ひ、入城して容易に陥落せしめたのである。

『戦争と商業と海賊』これは三位一體で離す事は出来ない』詩聖ゲーテが『ファウスト』の中で書いた名句である。

人類最初の資本主義的活動が海外貿易であり、貿易には武力が伴ひ、武力が擴大されるれば戦争となり、植民地の獲得となり、海賊の掠奪行爲となる事は、今更らゾンバルトの『資本主義の精粹』の力を借りるまでもない。

6. 八幡大菩薩の偉力

歐洲切つての海賊はノルマンで、彼等は一般にウイキングの名によつて呼ばれ、カツベルと稱する輕舟に乗り、大擧して歐洲沿岸を荒し廻つた。アジア切つての海賊は、日本の倭寇で、彼等八幡大菩薩の標旗を立て、鮮支南洋の沿岸を劫掠した。歐洲ではウイキングの名が脅怖せられた如くアジアでは八幡船の名が畏怖せられた。

ブレンタノ教授の指摘する如く、戦争は大規模の營利的事業として遂行され、海賊は小規模の營利的事業として計劃された。人類最初の海外貿易が、海賊業によつて伴奏せられた事は、東西軌を一にして符節を合はしたるが如きは、何と面白き對照ではないか。

國難元寇の刺戟により海賊倭寇の海外活躍は、一は元寇への復讐であり、他は我民族の活力を海外へ現はしたものである。倭寇が日本の經濟史上にどれ程の貢献をなしたかを推斷する事は困難であるが、倭寇の持ち歸つた金銀財寶は莫大なものであつたらしく、その證據として彼等が劫掠した江蘇、浙江地方は最も富裕なる地方であつて、その財寶が掠奪せられて地を拂ふて空しと明史に書いてある。

彼等の掠奪品は重に貿易商品として内地へ持歸つた。それは日本の海賊彈壓政策の結果、彼等は海外へ渡航する時は、必ず『バハン（海賊）致さず候』と誓書を書かせられたのにもよる。波濤澎湃たる青海を見ては心躍り、水天鬐鬣浪路遙けき彼方を眺むれば、誰しも海外遠征を思はざる者はない。大和民族の活力とも稱すべき倭寇の海外發展を阻止した事は愚かなる事であつた。もしもその日に雨が降らなかつたら、ウオタローの戦はどうなつたであらうか。もしもクレオパトラの鼻がもう少し低くかつたらローマの天下はどう變化したであらうか。もしも倭寇の海外活躍を彈壓しなかつたら、アジアの地圖はどう變化したであらうか。といふ感想を持たざるを得ない。

アメリカ文化の日本征服

1. 世界はアメリカを中心として

我等の脅威する腹背の敵、それはボルシエヴィズムとアメリカニズムである。日本の振子はプロレタリアートとブルジョア、レーニングラードとワシントン、ルバシカとジャズの間を揺れ動いて居る。

無産階級の祖國ロシアと資本主義の選手アメリカとが、我等の好むと好まざるとに拘らず、日本の政治、經濟、文化、思想のあらゆる分野に亘つて、侵潤し、席捲し、征服しつゝある。乞ふ、ボルシエヴィズムは後廻しとして、我等をして現代日本の米國化について、少しく語らしめよ。哲人バートランド・ラッセルは「世界は今後當分の間アメリカを中心として、回轉するであらう」と言つた、彼の言葉に不服を有する者といへども、豊富な資源と物質文明を有するアメリカが、世界の檣舞臺に於て有力なる立役者を演ずる事を否定する事は出来ない。世界大戰でシコタマ儲けて一躍し

て成金國となつた「アングル・シャイロツク」に對し、陰でこそ「成上り者めが」と侮蔑と嘲笑の眼を以て見て居ても、誰も敢然として立ち上り、正面からぶつかつて行ける國はあるまい。猫の首に鈴をつけ得る鼠は一匹も居ないのだ。

極東島帝國日本でも、ヨーロッパ諸國と同じく、日本の某外交官がいみじくも言つたこの「我儘なアメリカ嬢には、御無理、御尤もで御機嫌を採らざるを得ないの状態である。金持のお嬢さんは我儘で、單純で、正直で、卒直である。

冒険性に富み、獨立心強く、活動的な國民であるアメリカ人の生活は、自動車に、汽車に、ジャズに、キネマに、ラヂオに、目まぐるしい程のスピード生活である。このスピード文明が日本へ侵入して來た時、ドルの侵略、下品なジャズ、輕薄なフラツパーと、アメリカ主義と言へば輕薄主義と同意語に解釋したのであつた。大げさな廣告までして海軍の志願兵の募集を嘲笑し、ドル崇拜のマンモン宗信者と罵つたり機械萬能國と漫罵し、ジャズ文明、ダンス文明を輕蔑して、詩人キツプリングが「電線をもつれ合はし、建物を積み上げ、金をこしらへてそれが文化なのか、そんなものは私は信じられない」とアメリカ文化を罵つたと同じ程度で、拍手喝采した我等日本の文化が、アメリカ文明の侵入に對して、どれ程の抵抗力を發揮し得たであらうか。

2. 日本はアメリカナイズされたか

ベースボール、ゴルフ、ダンス、キネマ、カフェー、ボキシングは今では立派な日本語だ。そしてこれ等は今や破竹の勢ひで、日本のあらゆる階級の間に流行して來る。モボやモガ、ステツキ、ガールやマネキン・ボーイ、たとへ、これが好むにもせ、好まざるにせよ、銀座街頭に出現する。警視廳や風教團體が躍起となつてこの流れを喰止めようとしたところで、到底阻止する事が出来ない。日本のアメリカナイズ、東京のニューヨーク化、丸ビル丸の第五街への接近、それがとりも直さずアメリカ文化の日本征服でなくて何んであらう。徳川三百年の鎖國桃源の夢から醒めて開國六十年にして、我等の生活の基礎が根底からアメリカナイズされた。時代は一九三二年だ。明治の三S時代……遅緩、確固、頑固……から、昭和の三S時代……速力、競技、映畫へ……一足飛びにスツ飛んで仕舞つた。その生活程度に於て少しくシックな奴は、門構えの家よりはバンガローに住み、紋付よりはモーニングを着込み、宇治茶を飲むよりモカのコーヒーを飲む。と言ふ様な具合で表的にハイカツテ居る。試みにカフェーに行つて見るがい。ダンス・ホールに行つて見るがい。キネマに行つて見るがい。銀座街頭を散歩して見るが良。そこにアメリカ以外の何物が

2. 日本はアメリカナイズされたか

あるか。いや、純粹の日本獨得の何物かを探し得られるか。生活の殆んど全部がアメリカの借物ではないか。

一昨年シカゴ北西大學の社會學の全課程を終つて、卒業論文の材料を探すべく世界各國を經巡つて、最後に日本を訪れたアメリカの二青年が、東京朝日新聞社を訪れ、「日本へ来て半ばアメリカに歸つた様な気がする」と、驚嘆の聲を發したのは、百の議論、千の引照にも優つて、日本のアメリカニゼションを、何よりも雄辯に物語つて居るではないか。

かつて、我等がアメリカの一切を侮蔑して、あの無遠慮な無作法な排日移民法案、ドルの偉力を誇り、金權萬能で、プラグマチックで、無趣味で、下品で、圖々しくてといふ様な感念が、我等ら頭の何處かにコピリ付いて居たのが、今や一切の過去の我國獨得の文化の誇りを紙屑の様にアツサリと棄て仕舞ひ、アメリカの輸入生活を朗らかなモダニズと言ひ、活潑なフラツパアダムと稱え、勇壯なスポーツ氣質と讚え、ナンセンスな散步、等等、と讚美するに至つた。それは退嬰的で、陰氣な日本人に確かに進歩的なそして明快な氣質を與へたが、それ等を通り越して、マンモニズム、イージー・ゴイング、フラツパー、間違へて解釋した友愛結婚への途へ辿り過ぎはしなかつたか。英らに文學の方面でもイギリス文學より、アメリカ文學へと轉向しつゝある様だ。恰度世界金融の

中心がロンドンよりニューヨークへ遷りつゝある様に。

3. 青年の心をキャッチするアメリカ文學

イギリスのイギリス人らしい文學は、もう吾々の好みとしては餘りに古い。時代遅れである。セークスピアにしろ、サツカレーにしろ、ハーデイにしろ、もう徴が生えた。もつとも、エドガー・アラン・ポー、ホイットマン、ジャック・ロンドンも同じく古典的となりつゝある今日、吾々の最も親しくつゝある。否、もつと吾等の心を捉えつゝある作家は——ロシアの作家は別として——オニイルや、アプトン・シンクレアや、メルケン、カルバートン、フロイド・デル、ランドン、マツカリーと言つた様な作家や評論家が、より多く日本の青年の心をキャッチする様な氣がする。イギリスのバーナード・ショウよりも、アメリカのアプトン・シンクレアの方が、よりよく青年の頭にピンと来る。何物にまれ、大袂装で、突飛で、潑刺で、無遠慮であるアメリカが、文學の方面でも、我々日本青年の心を捉えつゝある。それが悪い意味であれ、良い意味であれ、シンクレアの「マウンテン・シテイ」のゼッド・ラツシャアの群がいかにアメリカに多い事よ。同じゼッド・ラツシャアの群が如何に日本に簇出しつゝある事か。だが、アメリカ文學には、新人文主義が擡頭

しつゝあるが、それが今日の日本に稍々勢力を得つゝある所謂、新自由主義や、新興藝術派運動と同じく、大した問題とするに足らない。たゞ問題とするのは安価な大衆小説を書くマツカリーと暴露文學を専門とする所謂「調べた文學」を書くシンクレアと、資本主義を禮讚するセリグマン教授と、共産主義を主張するスコワト・ニヤーリングの何れが日本へ影響を與へるか。それが今後の觀物であり、且又我等の關心事であらねばならない。

4・ドルの世界席捲

アメリカのドルが世界を席捲しつゝある事は事實だ。たゞ、吾等の怖るゝところは、そのドルが如何なる程度で日本へ侵入しつゝあるかといふことである。

ヨーロッパ大戦以後は、ドルの偉力は物の數ではなかつた。世界各國が外債を起すにしようとして、大戦前はロンドンで調達するのが普通であつた。ところが、戦後國際金融市場はニューヨークの方がロンドンを凌ぐ様な勢ひとなつた。これを年々ニューヨークで調達せられる外國起債の狀態を見ればすぐわかる事である。數字のことを餘りゴテ／＼と並べる事は遠慮するが、一九二八年ニューヨークで募集せられた外國資本新發行高は、十三億二千萬弗であり、借替高は二億五千七

百萬弗で、合計十五億七千萬弗である。大戦後の一九一九年以後毎年ニューヨークの發行せられる外國起債を見ても、如何にアメリカが金融資本國として肥えて行くかどわかるではないか。それは次の統計の如く

米國に於ける外國新資本發行高 (單位弗)

	新	資	本	借	換	計
一九二八年	一、三一九	一、六七	九八七	二五七	六五二	九一三
一九二七年	一、六三三	六四〇	九八六	一七〇	一二四	六二〇
一九二六年	一、一四五	〇九九	七四〇	二〇四	六九三	三〇〇
一九二五年	一、〇八六	一六〇	五〇〇	二二一	一四七	〇〇〇
一九二四年	九九六	五七〇	三三〇	二四八	二二五	四四五
一九二三年	二八〇	二七四	六〇〇	七九	九四一	六七九
一九二二年	六二四	五一一	〇三四	一二五	二六五	〇〇〇
一九二一年	五二七	五一七	〇〇〇	五〇	〇〇〇	〇〇〇
一九二〇年	三八三	四五〇	八八七	一三八	九九八	〇〇〇